

富里市市民意識調査
結果報告書

令和 2 年 3 月
富 里 市

目次

1. 調査の概要	1
(1)調査の目的	1
(2)調査の設計	1
(3)報告書の見方	1
2. 調査の結果	2
(1)属性	2
(2)富里市の住みやすさ	4
(3)富里市への思い	10
(4)生活環境に対する満足度と期待度	16
(5)協働への意識	24
(6)行政情報	29
(7)生活圏と移動手段	32
(8)高齢期の生活	46
(9)若い世代の定住と子育て	51
(10)生涯学習・国際化・男女共同参画	56
(11)富里市の発展の方向性	59
3. 結果概要	65
4. 関連調査	67
(1)調査の概要	67
(2)調査の設計	67
(3)調査の結果	68

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

本調査は、現在策定に取り組んでいる富里市総合計画の基礎調査として、市民の皆様からの率直なご意見等をお聞かせいただき、富里市総合計画の施策検討に活用するために実施するものです。

(2) 調査の設計

調査対象	市内在住の18歳以上の男女
調査方法	郵送配付・回収
有効対象者数	3,000名
抽出方法	住民基本台帳から無作為抽出
調査期間	令和元年8月
有効回収数	1,076票
有効回収率	35.9%

(3) 報告書の見方

- 配付された調査票の設問順と、本報告書の集計の順は一致していない。（調査票では属性に関する設問は最後に配していたが、本報告書では属性の集計をはじめに掲載している。）
- 「割合」は、各項目の回答数を回答総数で除し、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示。このため、割合の合計が100%にならないことがある。
- 複数回答の質問の「回答者数」は、回答総数ではなく回答者総数を表示。また、各選択肢の「割合」は、回答数を回答総数ではなく回答者総数で除しており、「割合」の「全体」は100%を超えるため斜線表示としている。
- 回答者を限定する設問（特定の設問において特定の選択肢を回答した方を対象としているため）は、回答者数が調査対象者数を下回る。
- クロス集計は、属性無回答者を除外して集計しているため、回答者総数と一致しない。

2. 調査の結果

(1) 属性

性別

	人数	割合(%)
男	456	42.4
女	563	52.3
無回答	57	5.3
全体	1,076	100.0

年齢層

	人数	割合(%)
18～29 歳	81	7.5
30～39 歳	102	9.5
40～49 歳	169	15.7
50～59 歳	155	14.4
60～64 歳	97	9.0
65～74 歳	282	26.2
75 歳以上	158	14.7
無回答	32	3.0
全体	1,076	100.0

居住年数

	人数	割合(%)
5年未満	88	8.2
5年以上 10 年未満	67	6.2
10 年以上 20 年未満	166	15.4
20 年以上	725	67.4
無回答	30	2.8
全体	1,076	100.0

職業

	人数	割合(%)
農業	52	4.8
商店・工場・サービス業などの自営業	57	5.3
会社または団体の役員	36	3.3
医師・弁護士などの自由業	5	0.5
会社・商店・工場・サービス業などの勤め人	263	24.4
官公庁・学校などの公務員	36	3.3
パート・内職などの臨時的な仕事	163	15.1
主婦	160	14.9
学生	28	2.6
無職	214	19.9
その他	25	2.3
無回答	37	3.4
全体	1,076	100.0

同居状況

	人数	割合(%)
単身	109	10.1
配偶者	709	65.9
小学校未就学の子	80	7.4
小・中学校の子	125	11.6
高校・大学・短大などの子	98	9.1
上記以外の子	189	17.6
子の配偶者	61	5.7
孫やひ孫	41	3.8
65 歳未満の親や祖父母	77	7.2
65 歳以上の親や祖父母	168	15.6
その他	42	3.9
無回答	28	2.6
全体	1,076	

住居形態

	人数	割合(%)
持ち家・分譲マンション	938	87.2
借家・アパート・賃貸マンション	106	9.9
社宅・寮	8	0.7
その他	5	0.5
無回答	19	1.8
全体	1,076	100.0

居住地区

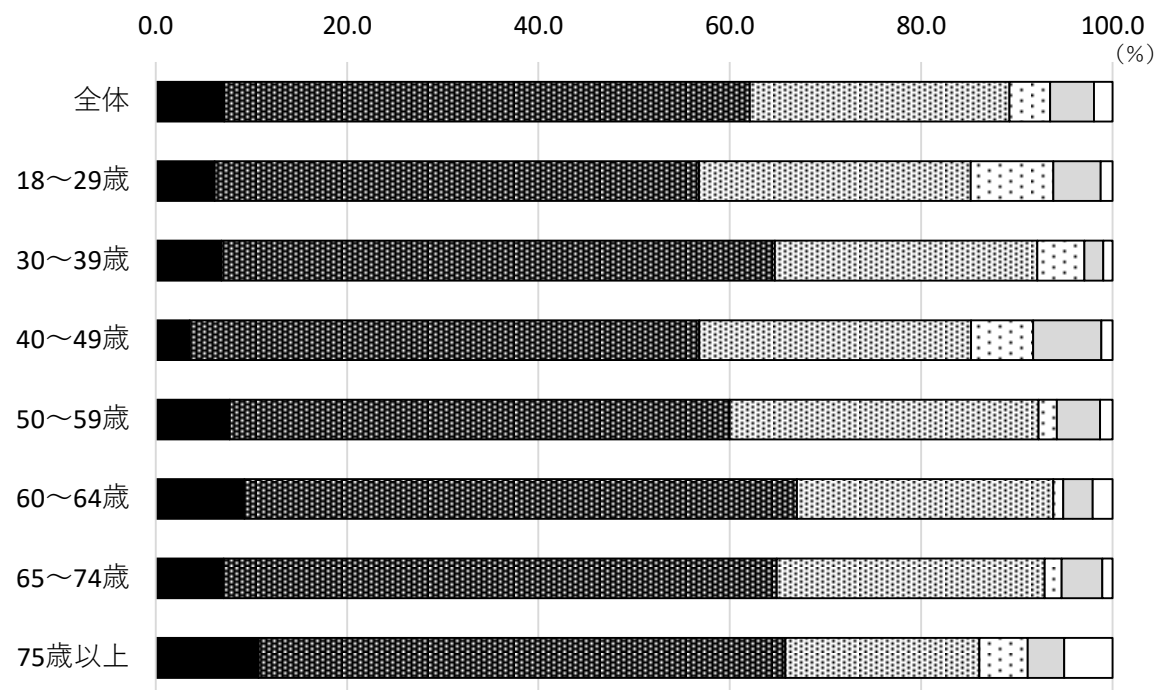
	人数	割合(%)
富里小学校区	216	20.1
富里第一小学校区	116	10.8
富里南小学校区	196	18.2
浩養小学校区	32	3.0
日吉台小学校区	236	21.9
根木名小学校区	106	9.9
七栄小学校区	116	10.8
無回答	58	5.4
全体	1,076	100.0

(2) 富里市の住みやすさ

問1 あなたは、富里市を住みやすいところだと思いますか。次の中から1つだけ○で囲んでください。

	人数(人)	割合(%)					
		非常に住みやすい	どちらかといえば住みやすい	どちらかといえば住みにくい	非常に住みにくい	わからない	無回答
全体	1,076	7.2	54.9	27.1	4.3	4.6	2.0
18～29 歳	81	6.2	50.6	28.4	8.6	4.9	1.2
30～39 歳	102	6.9	57.8	27.5	4.9	2.0	1.0
40～49 歳	169	3.6	53.3	28.4	6.5	7.1	1.2
50～59 歳	155	7.7	52.3	32.3	1.9	4.5	1.3
60～64 歳	97	9.3	57.7	26.8	1.0	3.1	2.1
65～74 歳	282	7.1	57.8	28.0	1.8	4.3	1.1
75 歳以上	158	10.8	55.1	20.3	5.1	3.8	5.1

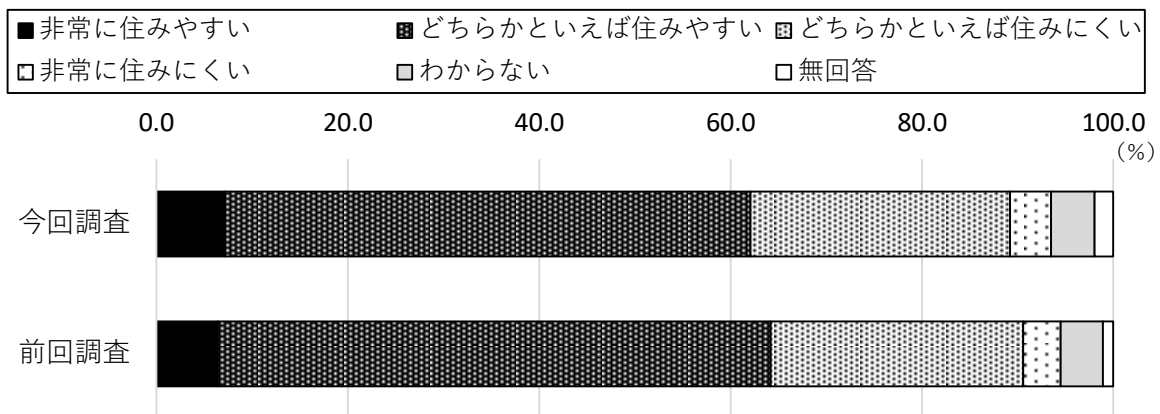
■ 非常に住みやすい ▨ どちらかといえば住みやすい ▩ どちらかといえば住みにくい
 □ 非常に住みにくい □ わからない □ 無回答



全体としては、住みやすいと回答した割合（「非常に住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」の合計）は62.1%となっています。年齢層別にみると、18歳～29歳と40歳～49歳が住みやすいと回答した割合が56.8%と、やや低くなっています。

【経年比較】

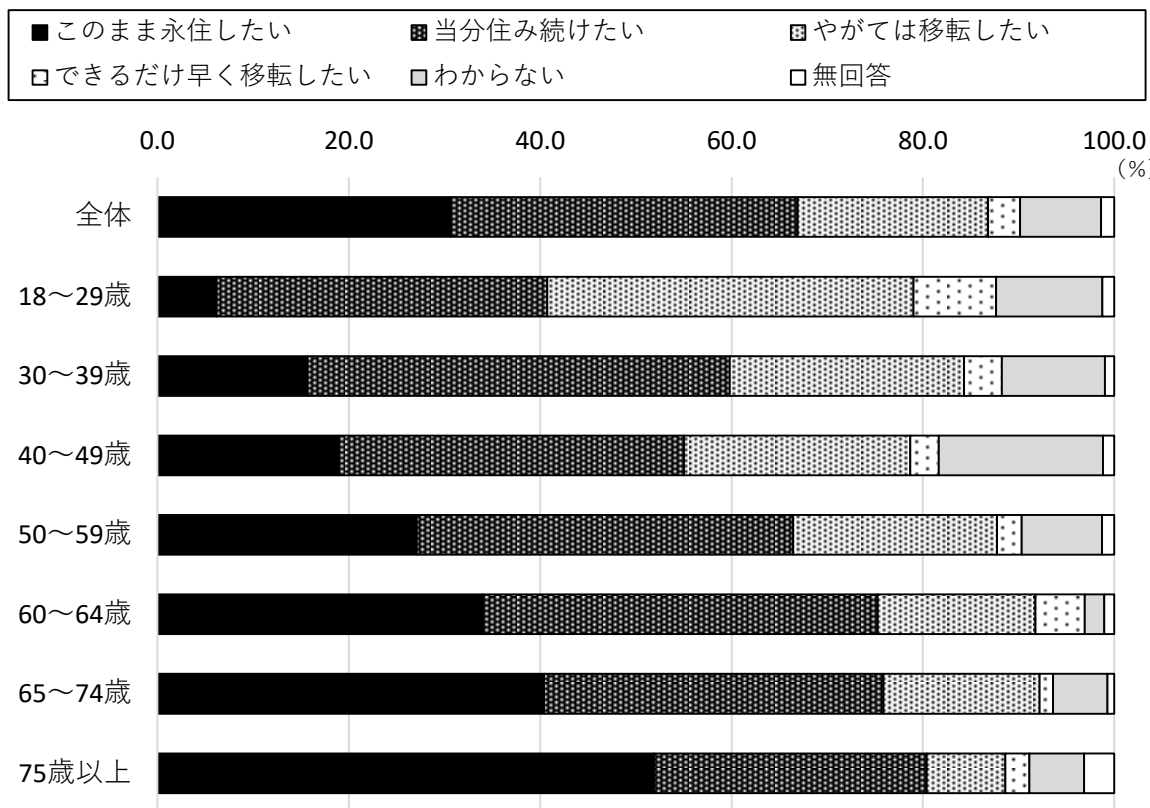
	人数(人)	割合(%)					
		非常に 住みやすい	どちらか といえば 住みやすい	どちらか といえば 住みにくい	非常に 住みにくい	わから ない	無回 答
今回調査	1,076	7.2	54.9	27.1	4.3	4.6	2.0
前回調査	1,988	6.4	57.8	26.4	3.9	4.4	1.1



前回調査（H20 調査）と比較すると、住みやすいと回答した割合が 64.2%から 62.1%とわずかに減少はしていますが、全体的な傾向に大きな変化はありません。

問2 あなたは、これからも富里市に住んでいたいと思いますか。次の中から1つだけ○で囲んでください。

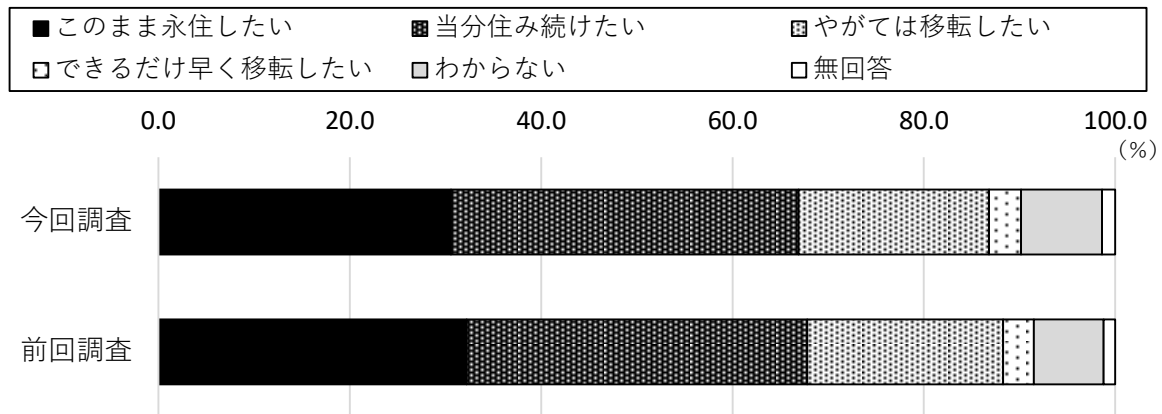
	人数(人)	割合(%)					
		このまま永住したい	当分住み続けたい	やがては移転したい	できるだけ早く移転したい	わからない	無回答
全体	1,076	30.6	36.3	19.9	3.3	8.5	1.4
18～29 歳	81	6.2	34.6	38.3	8.6	11.1	1.2
30～39 歳	102	15.7	44.1	24.5	3.9	10.8	1.0
40～49 歳	169	18.9	36.1	23.7	3.0	17.2	1.2
50～59 歳	155	27.1	39.4	21.3	2.6	8.4	1.3
60～64 歳	97	34.0	41.2	16.5	5.2	2.1	1.0
65～74 歳	282	40.4	35.5	16.3	1.4	5.7	0.7
75 歳以上	158	51.9	28.5	8.2	2.5	5.7	3.2



年齢層別にみると、このまま永住したいと回答した方は、年齢層が高くなるにつれ増加する傾向がみられます。

【経年比較】

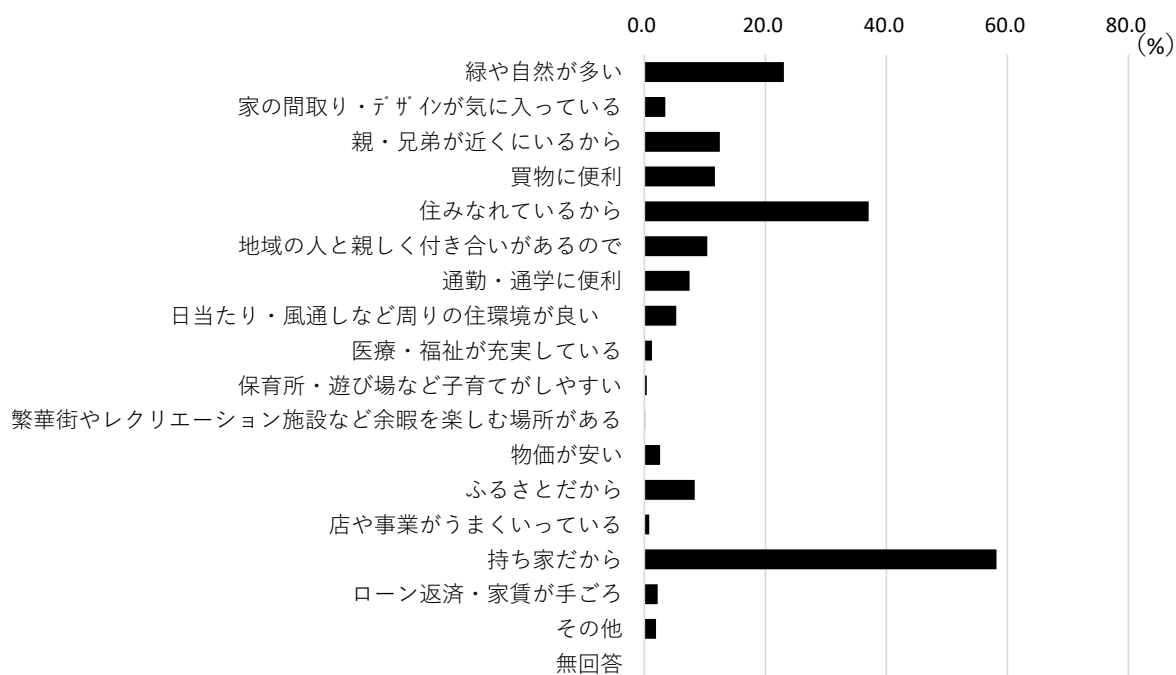
	人数(人)	割合(%)					
		このまま永住したい	当分住み続けたい	やがては移転したい	できるだけ早く移転したい	わからない	無回答
今回調査	1,076	30.6	36.3	19.9	3.3	8.5	1.4
前回調査	1,988	32.2	35.6	20.5	3.2	7.3	1.2



前回調査（H20 調査）と比較すると、このまま永住したいと回答した割合が 32.2%から 30.6%とわずかに減少はしていますが、全体的な傾向に大きな変化はありません。

問3 問2で、「1. このまま永住したい」、「2. 当分住み続けたい」と答えた方にうかがいます。
住み続けたいと思う理由を、次の中から2つ以内を○で囲んでください。

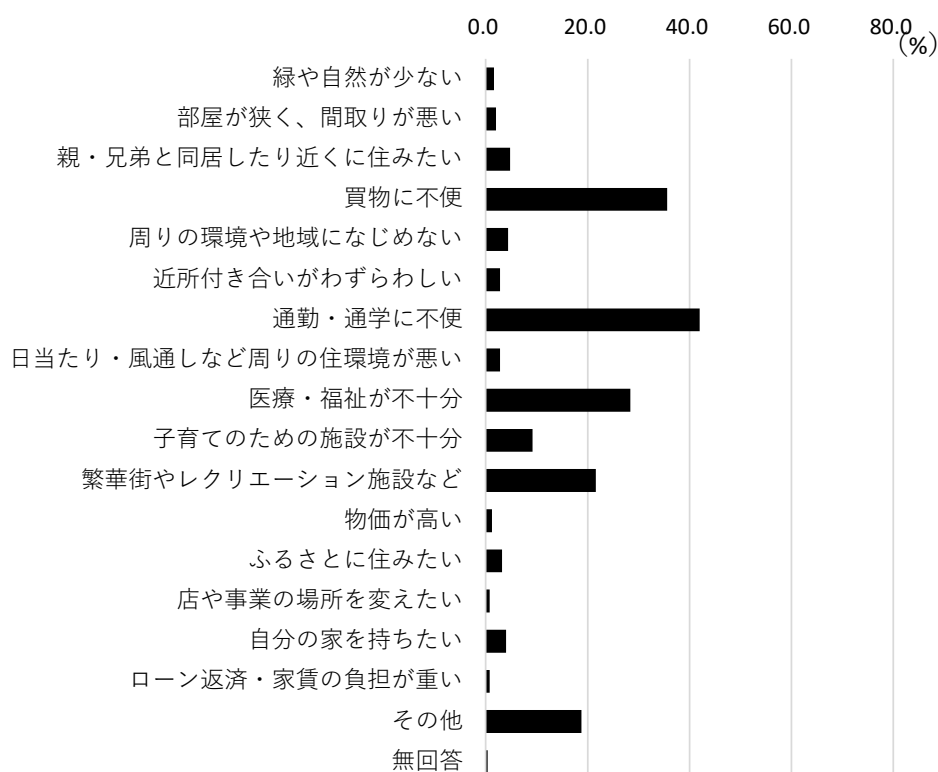
	人数	割合(%)
緑や自然が多い	166	23.1
家の間取り・デザインが気に入っている	25	3.5
親・兄弟が近くにいるから	90	12.5
買物に便利	84	11.7
住みなれているから	267	37.1
地域のひとと親しく付き合いがあるので	75	10.4
通勤・通学に便利	54	7.5
日当たり・風通しなど周りの住環境が良い	38	5.3
医療・福祉が充実している	9	1.3
保育所・遊び場など子育てがしやすい	3	0.4
繁華街やレクリエーション施設など余暇を楽しむ場所がある	1	0.1
物価が安い	19	2.6
ふるさとだから	60	8.3
店や事業がうまくいっている	6	0.8
持ち家だから	419	58.2
ローン返済・家賃が手ごろ	16	2.2
その他	14	1.9
無回答	0	0.0
全体	720	



居住継続意向の理由としては、持ち家に住んでいることや住みなれていることと回答した方の割合が高くなっています。

問4 問2で、「3. やがては移転したい」、「4. できるだけ早く移転したい」と答えた方にうかがいます。移転したいと思う理由を、次の中から2つ以内を○で囲んでください。

	人数	割合(%)
緑や自然が少ない	4	1.6
部屋が狭く、間取りが悪い	5	2.0
親・兄弟と同居したり近くに住みたい	12	4.8
買物に不便	89	35.6
周りの環境や地域になじめない	11	4.4
近所付き合いがわずらわしい	7	2.8
通勤・通学に不便	105	42.0
日当たり・風通しなど周りの住環境が悪い	7	2.8
医療・福祉が不十分	71	28.4
子育てのための施設が不十分	23	9.2
繁華街やレクリエーション施設など	54	21.6
物価が高い	3	1.2
ふるさとに住みたい	8	3.2
店や事業の場所を変えたい	2	0.8
自分の家を持ちたい	10	4.0
ローン返済・家賃の負担が重い	2	0.8
その他	47	18.8
無回答	1	0.4
全体	250	

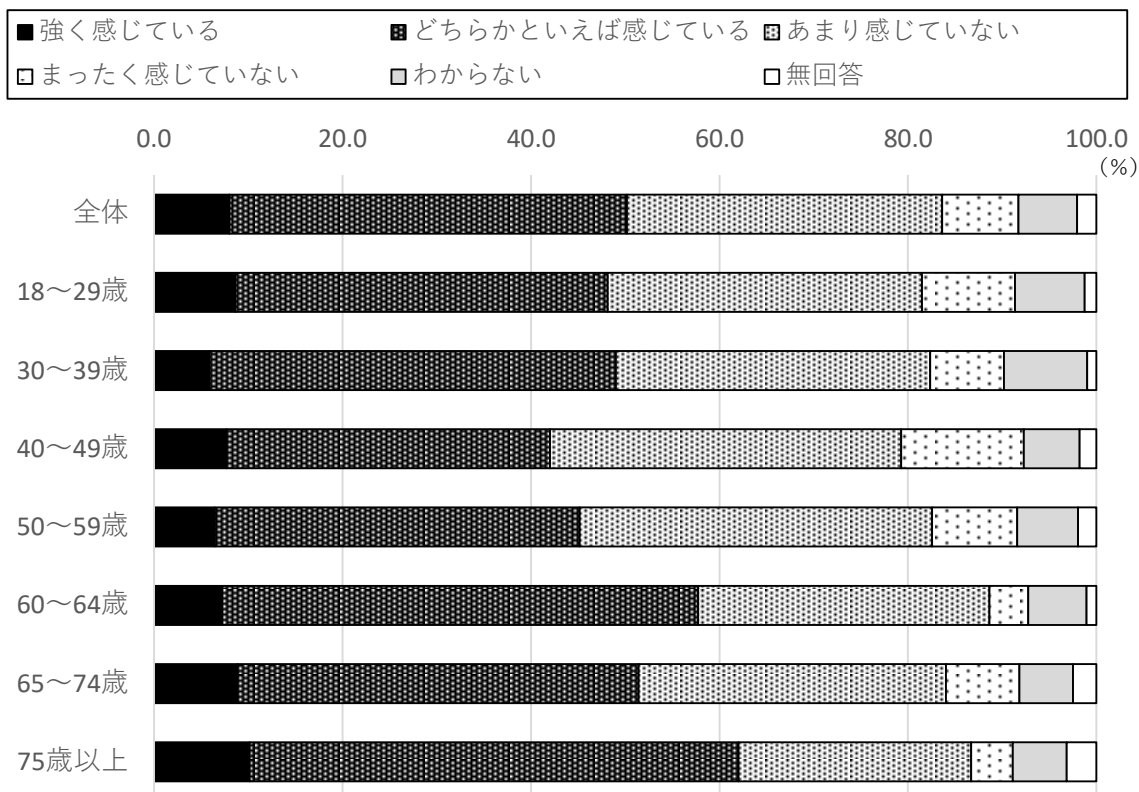


居住継続を希望しない理由としては、通勤・通学や買物が不便であることと回答した方の割合が高くなっています。

(3) 富里市への思い

問5 あなたは、富里市に「自分のまち」としての愛着、魅力を感じていますか。次の中から1つだけ○で囲んでください。

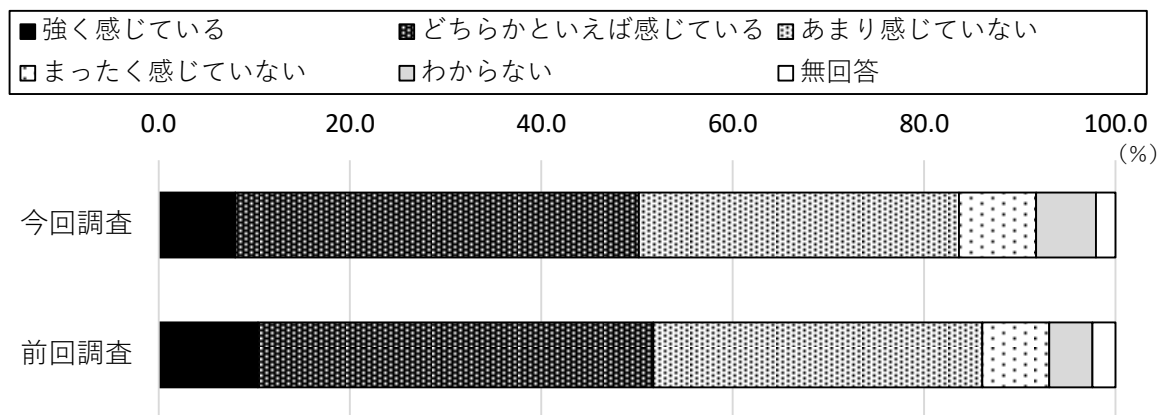
	人数(人)	割合(%)					
		強く感じている	どちらかといえば感じている	あまり感じていない	まったく感じていない	わからない	無回答
全体	1,076	8.0	42.2	33.5	8.1	6.2	2.0
18～29 歳	81	8.6	39.5	33.3	9.9	7.4	1.2
30～39 歳	102	5.9	43.1	33.3	7.8	8.8	1.0
40～49 歳	169	7.7	34.3	37.3	13.0	5.9	1.8
50～59 歳	155	6.5	38.7	37.4	9.0	6.5	1.9
60～64 歳	97	7.2	50.5	30.9	4.1	6.2	1.0
65～74 歳	282	8.9	42.6	32.6	7.8	5.7	2.5
75 歳以上	158	10.1	51.9	24.7	4.4	5.7	3.2



全体としては、愛着、魅力を感じていると回答した割合（「強く感じている」と「どちらかといえば感じている」の合計）が50.2%と、半数を超えています。年齢層別にみると、愛着、魅力を感じている割合は、40歳～49歳、50歳～59歳が特に低い年齢層となっており、40～50歳代よりも40歳未満の若年層のほうが地域への愛着をもっているという結果になっています。

【経年比較】

	人数(人)	割合(%)					
		強く感じている	どちらかといえば感じている	あまり感じていない	まったく感じていない	わからない	無回答
今回調査	1,076	8.0	42.2	33.5	8.1	6.2	2.0
前回調査	1,988	10.4	41.3	34.4	7.0	4.5	2.4



前回調査（H20 調査）と比較すると、愛着、魅力を感じていると回答した割合が 51.7% から 50.2% とわずかに減少はしています。全体的に、わずかに地域への愛着が減少しています。

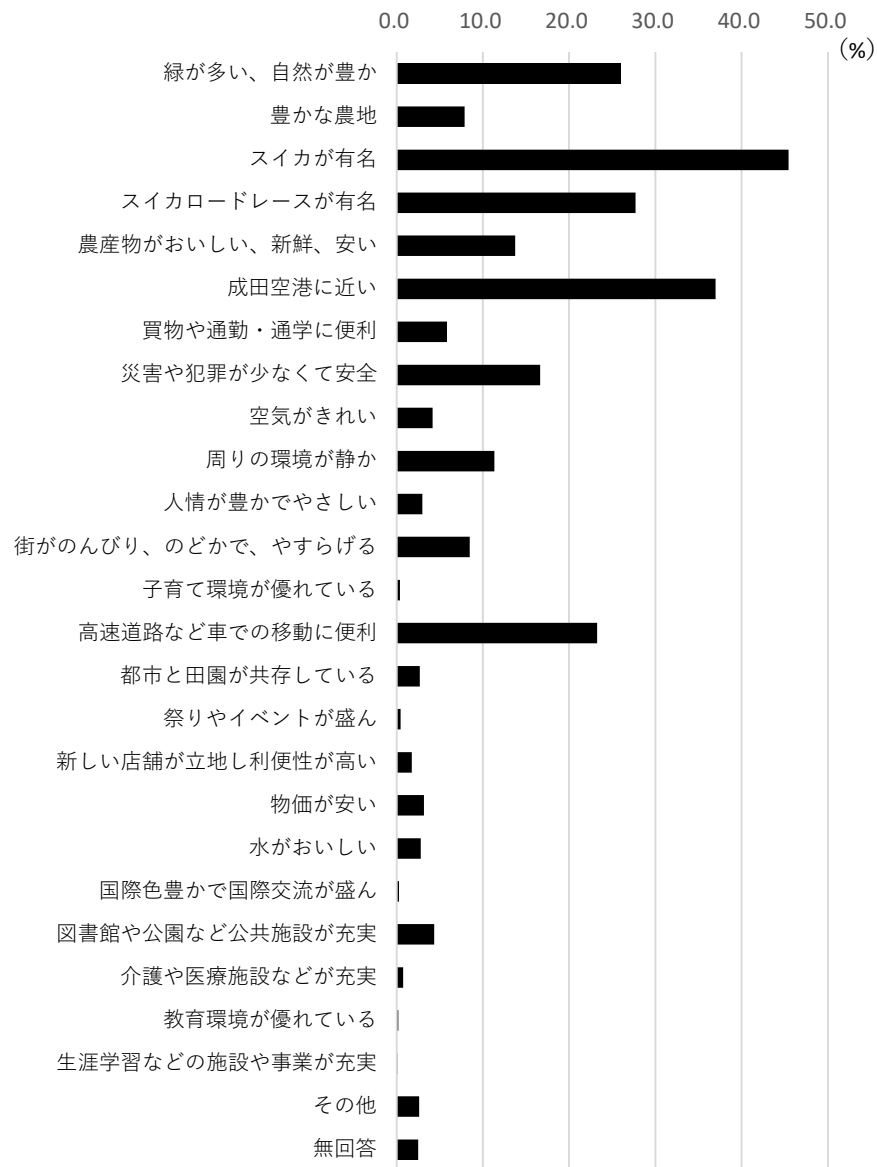
問6 富里市らしいもの、富里市で誇れるものはなんですか。次の中から3つ以内を○で囲んでください。

	人数	割合(%)
緑が多い、自然が豊か	280	26.0
豊かな農地	85	7.9
スイカが有名	489	45.4
スイカロードレースが有名	298	27.7
農産物がおいしい、新鮮、安い	148	13.8
成田空港に近い	398	37.0
買物や通勤・通学に便利	63	5.9
災害や犯罪が少なく安全	179	16.6
空気がきれい	45	4.2
周りの環境が静か	122	11.3
人情が豊かでやさしい	32	3.0
街がのんびり、のどかで、やすらげる	91	8.5
子育て環境が優れている	4	0.4
高速道路など車での移動に便利	250	23.2
都市と田園が共存している	29	2.7
祭りやイベントが盛ん	5	0.5
新しい店舗が立地し利便性が高い	19	1.8
物価が安い	34	3.2
水がおいしい	30	2.8
国際色豊かで国際交流が盛ん	3	0.3
図書館や公園など公共施設が充実	47	4.4
介護や医療施設などが充実	8	0.7
教育環境が優れている	2	0.2
生涯学習などの施設や事業が充実	1	0.1
その他	28	2.6
無回答	27	2.5
全体	1,076	

※グラフは次のページ

スイカが有名であることと回答した割合が最も高く、次いで成田空港に近いことの割合が高くなっています。

農業や自然環境に関すること、成田空港や高速道路に近い立地に関することを、富里市らしさと考える市民が多いと考えられます。



【年齢層別】

	人数(人)	割合(%)									
		緑が多い、自然が豊かな農地	豊かな農地	スイカが有名	スイカロードレ	農産物がいし、新鮮、安い	成田空港に近い	買物や通勤・通学に便利	災害や犯罪が少なく安全	空気がきれい	静かな環境が
全体	1,076	26.0	7.9	45.4	27.7	13.8	37.0	5.9	16.6	4.2	11.3
18～29 歳	81	25.9	6.2	55.6	40.7	6.2	43.2	4.9	14.8	3.7	6.2
30～39 歳	102	17.6	5.9	62.7	39.2	19.6	49.0	3.9	6.9	2.0	3.9
40～49 歳	169	22.5	5.9	48.5	28.4	13.6	42.0	0.6	10.1	4.1	7.1
50～59 歳	155	21.3	5.2	45.8	40.0	8.4	39.4	11.0	11.6	1.9	8.4
60～64 歳	97	25.8	6.2	47.4	21.6	15.5	46.4	5.2	15.5	2.1	10.3
65～74 歳	282	30.9	9.2	41.5	20.6	14.5	31.9	7.1	21.6	4.3	17.7
75 歳以上	158	29.1	11.4	29.1	15.8	16.5	22.8	6.3	29.1	9.5	17.7

	人数(人)	割合(%)									
		人情が豊かでやさしい	街のどかで、やすらげる	子育て環境が優れている	高速道路など車での移動に便利	都市と田園が共存している	祭りやイベントが盛ん	新しい店舗が立地し利便性が高い	物価が安い	水がおいしい	国際色豊かで国際交流が盛ん
全体	1,076	3.0	8.5	0.4	23.2	2.7	0.5	1.8	3.2	2.8	0.3
18～29 歳	81	1.2	14.8	1.2	13.6	0.0	0.0	0.0	2.5	1.2	0.0
30～39 歳	102	2.9	7.8	1.0	13.7	2.9	2.0	1.0	6.9	2.0	0.0
40～49 歳	169	1.8	9.5	0.0	26.6	0.6	0.0	0.0	4.1	0.6	0.6
50～59 歳	155	2.6	7.7	0.0	27.7	2.6	1.3	0.6	4.5	3.2	1.3
60～64 歳	97	1.0	5.2	1.0	28.9	3.1	0.0	4.1	1.0	2.1	0.0
65～74 歳	282	3.2	8.5	0.4	27.3	3.2	0.0	2.1	2.8	4.3	0.0
75 歳以上	158	7.0	8.2	0.0	16.5	5.7	0.6	3.8	1.3	3.2	0.0

	人数(人)	割合(%)					
		充実 など公共施設が	図書館や公園 などが充実	介護や医療施設 などが充実	優れている 教育環境が	生涯学習などの 施設や事業が 充実	その他
全体	1,076	4.4	0.7	0.2	0.1	2.6	2.5
18～29 歳	81	4.9	0.0	0.0	0.0	2.5	1.2
30～39 歳	102	1.0	0.0	0.0	0.0	1.0	1.0
40～49 歳	169	3.6	0.6	0.0	0.0	5.3	1.8
50～59 歳	155	3.2	0.6	0.0	0.0	1.3	3.2
60～64 歳	97	3.1	1.0	1.0	1.0	2.1	2.1
65～74 歳	282	5.3	0.0	0.4	0.0	1.8	1.8
75 歳以上	158	7.6	2.5	0.0	0.0	4.4	5.7

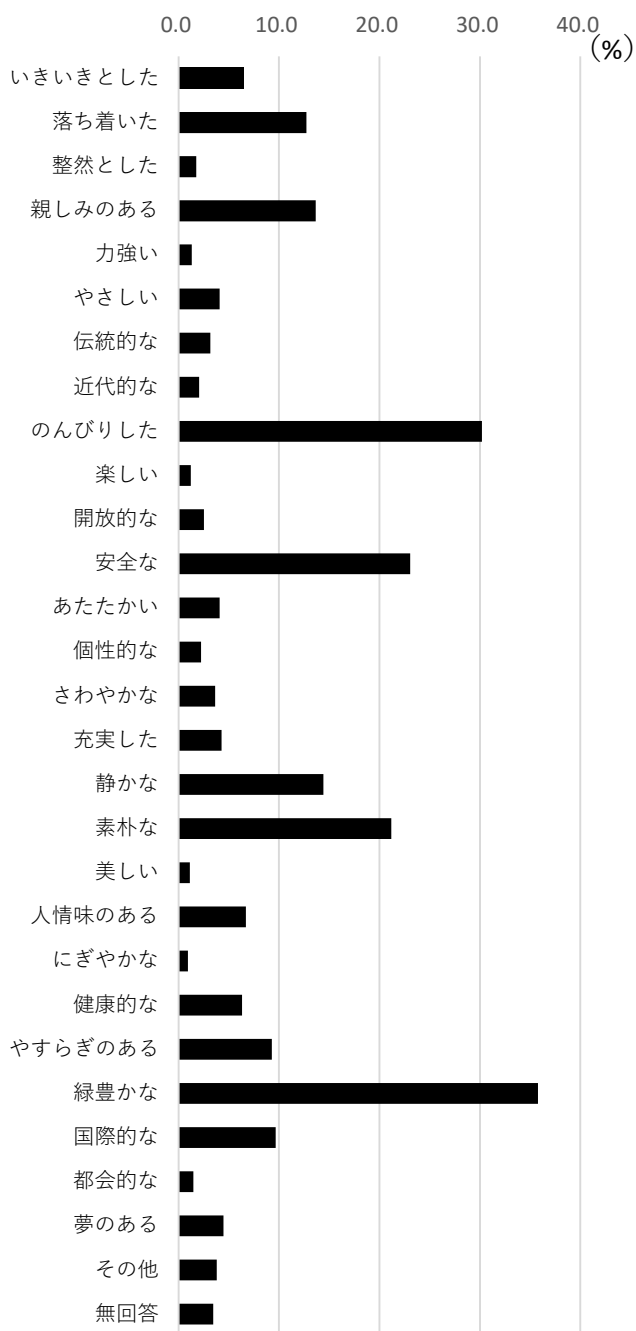
スイカが有名であることと回答した割合は、40 歳未満の年齢層が特に顕著です。

周りの環境が静かと回答した割合は、若年層よりも 65 歳以上で特に高くなっています。

※年齢層ごとの傾向が顕著な項目に網かけしています。

問7 将来の富里市のイメージとして次のどの言葉がふさわしいと思いますか。次の中から3つ以内を○で囲んでください。

	人数	割合(%)
いきいきとした	70	6.5
落ち着いた	137	12.7
整然とした	19	1.8
親しみのある	147	13.7
力強い	14	1.3
やさしい	44	4.1
伝統的な	34	3.2
近代的な	22	2.0
のんびりした	325	30.2
楽しい	13	1.2
開放的な	27	2.5
安全な	248	23.0
あたたかい	44	4.1
個性的な	24	2.2
さわやかな	39	3.6
充実した	46	4.3
静かな	155	14.4
素朴な	228	21.2
美しい	12	1.1
人情味のある	72	6.7
にぎやかな	10	0.9
健康的な	68	6.3
やすらぎのある	100	9.3
緑豊かな	385	35.8
国際的な	104	9.7
都会的な	16	1.5
夢のある	48	4.5
その他	41	3.8
無回答	37	3.4
全体	1,076	



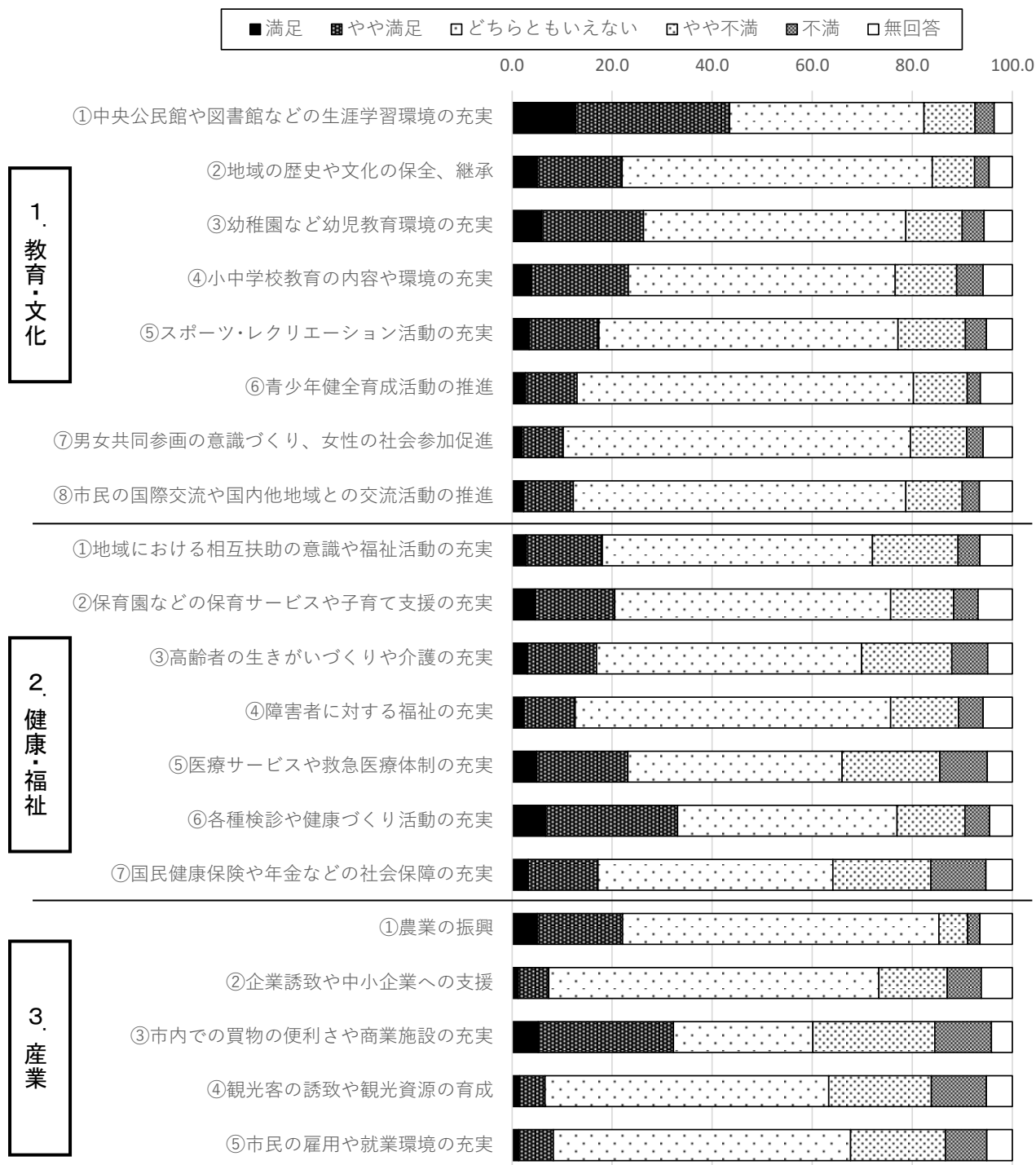
「緑豊かな」と回答した割合が最も高く、次いで「のんびりとした」、「安全な」、「素朴な」の割合が高くなっています。

全体として、富里市に対して自然豊かでのどかな都市というイメージを持っている市民が多いと考えられます。

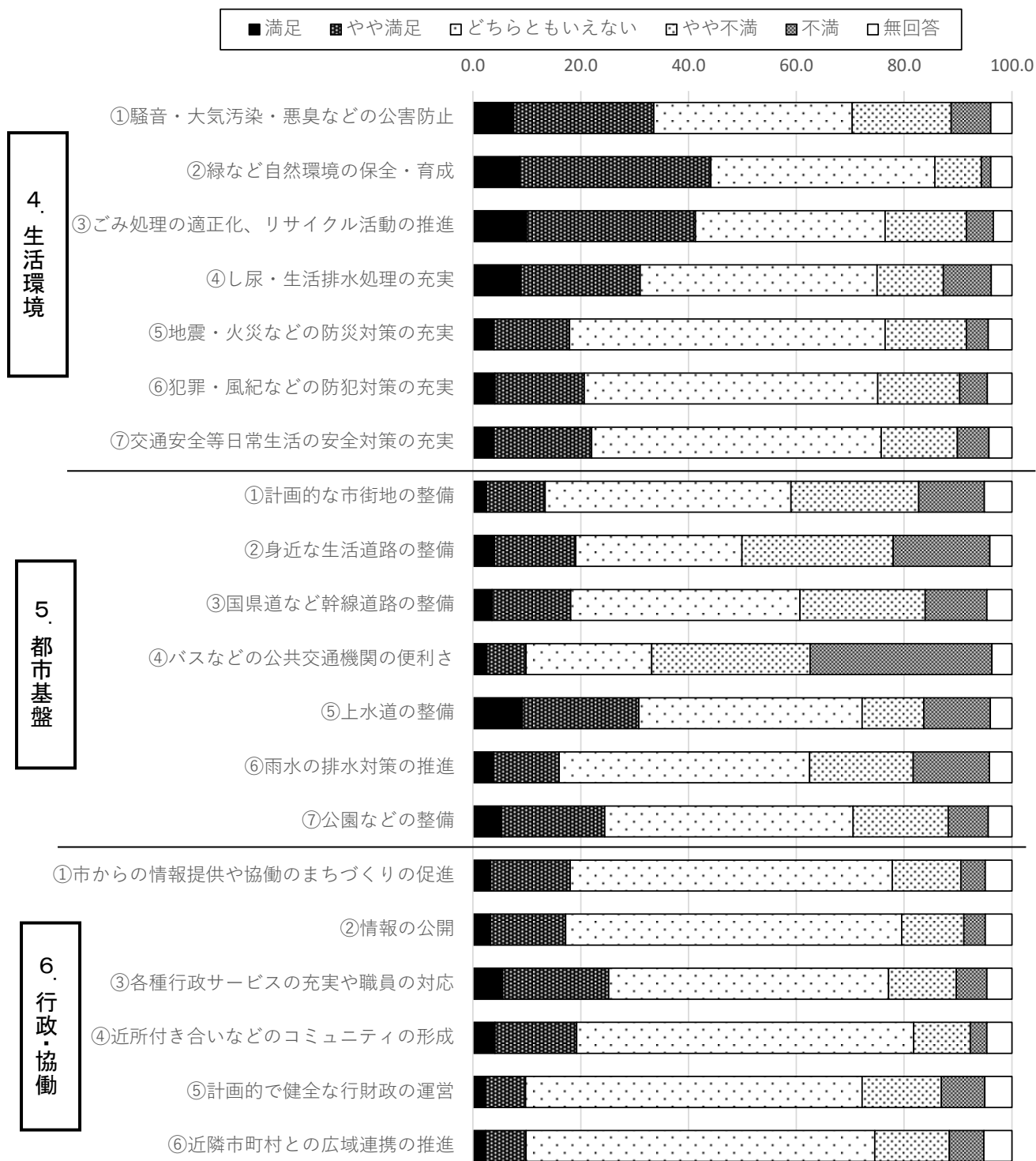
(4) 生活環境に対する満足度と期待度

問 8 地域の生活環境に対する満足度と今後の期待について、どのように感じていますか。満足度と今後の期待のそれぞれについて各項目に、1から5の数字を1つずつ○で囲んでください。

満足度		割合(%)					
		満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	無回答
1 教育・文化	①中央公民館や図書館などの生涯学習環境の充実	12.7	30.8	38.8	10.2	3.8	3.6
	②地域の歴史や文化の保全、継承	5.0	17.0	62.0	8.5	2.9	4.6
	③幼稚園など幼児教育環境の充実	5.9	20.4	52.4	11.2	4.4	5.7
	④小中学校教育の内容や環境の充実	3.9	19.3	53.3	12.3	5.3	5.9
	⑤スポーツ・レクリエーション活動の充実	3.4	13.9	59.8	13.5	4.2	5.2
	⑥青少年健全育成活動の推進	2.7	10.3	67.2	10.8	2.6	6.4
	⑦男女共同参画の意識づくり、女性の社会参加促進	2.0	8.3	69.4	11.2	3.3	5.9
	⑧市民の国際交流や国内他地域との交流活動の推進	2.3	9.9	66.4	11.2	3.4	6.6
2 健康・福祉	①地域における相互扶助の意識や福祉活動の充実	2.8	15.2	54.0	17.1	4.4	6.5
	②保育園などの保育サービスや子育て支援の充実	4.6	16.0	55.1	12.6	4.8	6.9
	③高齢者の生きがいづくりや介護の充実	3.1	13.8	53.0	18.0	7.2	4.9
	④障害者に対する福祉の充実	2.4	10.2	63.0	13.6	4.9	5.9
	⑤医療サービスや救急医療体制の充実	4.9	18.2	42.8	19.5	9.5	5.0
	⑥各種検診や健康づくり活動の充実	6.7	26.4	43.9	13.6	4.9	4.6
	⑦国民健康保険や年金などの社会保障の充実	3.3	13.9	46.9	19.6	11.0	5.3
3 産業	①農業の振興	5.0	17.1	63.2	5.8	2.4	6.5
	②企業誘致や中小企業への支援	1.2	6.1	66.0	13.7	6.8	6.2
	③市内での買物の便利さや商業施設の充実	5.2	27.0	27.9	24.3	11.3	4.2
	④観光客の誘致や観光資源の育成	1.5	5.1	56.7	20.5	11.0	5.2
	⑤市民の雇用や就業環境の充実	1.3	7.0	59.4	19.0	8.3	5.1
4 生活環境	①騒音・大気汚染・悪臭などの公害防止	7.5	26.0	36.8	18.4	7.3	3.9
	②緑など自然環境の保全・育成	8.6	35.5	41.5	8.6	1.8	3.9
	③ごみ処理の適正化、リサイクル活動の推進	9.9	31.3	35.2	15.1	5.0	3.4
	④し尿・生活排水処理の充実	8.9	22.1	44.0	12.3	8.9	3.8
	⑤地震・火災などの防災対策の充実	3.9	14.0	58.6	15.1	4.1	4.4
	⑥犯罪・風紀などの防犯対策の充実	4.1	16.5	54.5	15.2	5.1	4.6
	⑦交通安全等日常生活の安全対策の充実	3.9	18.1	53.7	14.1	5.9	4.3
5 都市基盤	①計画的な市街地の整備	2.5	10.9	45.6	23.7	12.2	5.1
	②身近な生活道路の整備	4.0	15.1	30.9	28.1	17.9	4.1
	③国道など幹線道路の整備	3.5	14.6	42.6	23.2	11.4	4.6
	④バスなどの公共交通機関の便利さ	2.6	7.2	23.3	29.4	33.7	3.7
	⑤上水道の整備	9.1	21.7	41.4	11.4	12.4	4.0
	⑥雨水の排水対策の推進	3.8	12.2	46.5	19.2	14.1	4.2
	⑦公園などの整備	5.3	19.1	46.1	17.7	7.4	4.4
6 行政・協働	①市からの情報提供や協働のまちづくりの促進	3.3	14.8	59.8	12.7	4.6	4.9
	②情報の公開	3.3	13.9	62.4	11.5	4.0	4.9
	③各種行政サービスの充実や職員の対応	5.5	19.7	52.0	12.5	5.7	4.6
	④近所付き合いなどのコミュニティの形成	4.1	15.1	62.5	10.5	3.1	4.6
	⑤計画的で健全な行財政の運営	2.2	7.5	62.5	14.7	8.1	5.0
	⑥近隣市町村との広域連携の推進	2.3	7.5	64.7	13.8	6.4	5.2

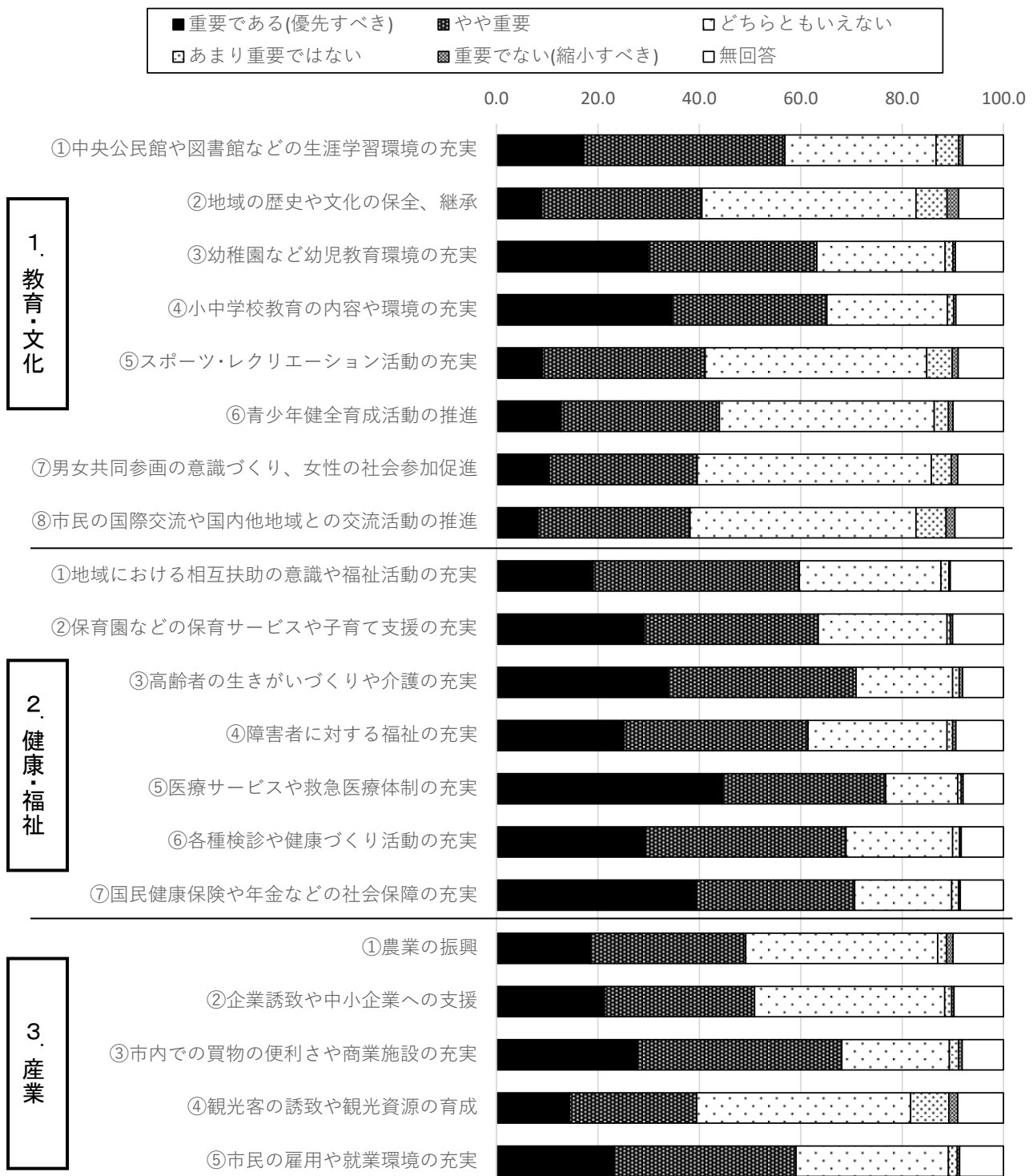


教育・文化分野では、生涯学習環境への施策の満足度（「満足」と「やや満足」の合計）が最も高くなっています。健康・福祉分野では健康づくりへの施策の満足度が最も高くなっています。産業分野では、買い物利便等への施策の満足度が最も高くなっています。

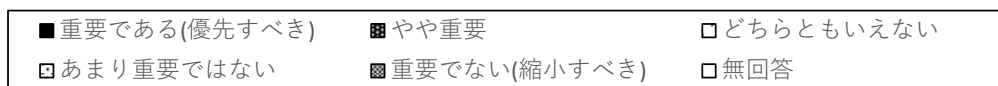


生活環境分野では、自然環境への施策の満足度が最も高くなっています。都市基盤分野では上水道への施策の満足度が最も高くなっています。行政・協働分野では、行政サービスや職員対応への満足度が最も高くなっています。

期待度		割合(%)					
		重要である (優先すべき)	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要でない (縮小すべき)	無回答
1 教育・文化	①中央公民館や図書館などの生涯学習環境の充実	17.2	39.7	29.8	4.5	0.8	8.0
	②地域の歴史や文化の保全、継承	8.9	31.6	42.2	6.1	2.3	8.8
	③幼稚園など幼児教育環境の充実	29.9	33.3	25.3	1.6	0.5	9.5
	④小中学校教育の内容や環境の充実	34.6	30.6	23.8	1.2	0.5	9.4
	⑤スポーツ・レクリエーション活動の充実	9.0	32.2	43.7	5.0	1.2	8.9
	⑥青少年健全育成活動の推進	12.7	31.2	42.4	2.8	0.9	9.9
	⑦男女共同参画の意識づくり、女性の社会参加促進	10.4	29.2	46.2	3.9	1.3	9.0
	⑧市民の国際交流や国内他地域との交流活動の推進	8.2	30.0	44.5	5.9	1.8	9.6
2 健康・福祉	①地域における相互扶助の意識や福祉活動の充実	19.1	40.7	27.9	1.6	0.3	10.5
	②保育園などの保育サービスや子育て支援の充実	29.1	34.4	25.4	0.7	0.5	10.0
	③高齢者の生きがいづくりや介護の充実	33.8	37.1	19.1	1.3	0.7	8.1
	④障害者に対する福祉の充実	25.1	36.3	27.4	1.1	0.7	9.4
	⑤医療サービスや救急医療体制の充実	44.6	32.2	14.2	0.7	0.4	8.0
	⑥各種検診や健康づくり活動の充実	29.4	39.6	21.0	1.4	0.3	8.4
	⑦国民健康保険や年金などの社会保障の充実	39.4	31.2	19.1	1.4	0.3	8.6
3 産業	①農業の振興	18.5	30.7	37.8	1.8	1.3	9.9
	②企業誘致や中小企業への支援	21.3	29.6	37.5	1.4	0.5	9.8
	③市内での買物の便利さや商業施設の充実	27.8	40.3	21.2	1.9	0.7	8.2
	④観光客の誘致や観光資源の育成	14.4	25.1	42.2	7.5	1.8	9.0
	⑤市民の雇用や就業環境の充実	23.2	35.9	30.0	1.8	0.5	8.6
4 生活環境	①騒音・大気汚染・悪臭などの公害防止	23.8	43.7	23.1	1.9	0.1	7.4
	②緑など自然環境の保全・育成	19.0	42.3	28.4	2.2	0.5	7.6
	③ごみ処理の適正化、リサイクル活動の推進	29.5	43.0	19.3	1.0	0.2	7.0
	④し尿・生活排水処理の充実	28.8	36.7	26.1	1.0	0.4	7.0
	⑤地震・火災などの防災対策の充実	36.8	32.1	22.8	0.9	0.0	7.4
	⑥犯罪・風紀などの防犯対策の充実	37.7	32.8	20.9	1.1	0.1	7.3
	⑦交通安全等日常生活の安全対策の充実	32.7	34.6	24.3	1.0	0.2	7.2
5 都市基盤	①計画的な市街地の整備	27.6	37.8	25.1	1.5	0.3	7.7
	②身近な生活道路の整備	33.6	40.0	17.8	1.0	0.4	7.3
	③国県道など幹線道路の整備	26.2	38.4	26.0	1.8	0.4	7.2
	④バスなどの公共交通機関の便利さ	41.4	33.4	16.4	2.0	0.3	6.7
	⑤上水道の整備	27.0	31.3	32.4	1.5	0.7	7.2
	⑥雨水の排水対策の推進	26.9	32.8	31.6	1.2	0.5	7.1
	⑦公園などの整備	15.1	34.9	38.5	3.3	0.9	7.2
6 行政・協働	①市からの情報提供や協働のまちづくりの促進	12.5	33.8	43.7	1.9	0.5	7.7
	②情報の公開	14.8	31.6	44.1	1.6	0.3	7.7
	③各種行政サービスの充実や職員の対応	17.7	36.0	37.9	0.9	0.3	7.2
	④近所付き合いなどのコミュニティの形成	8.8	29.2	50.2	3.5	0.7	7.5
	⑤計画的で健全な行財政の運営	26.1	30.2	35.2	0.6	0.5	7.4
	⑥近隣市町村との広域連携の推進	18.1	28.7	43.4	1.6	0.7	7.5

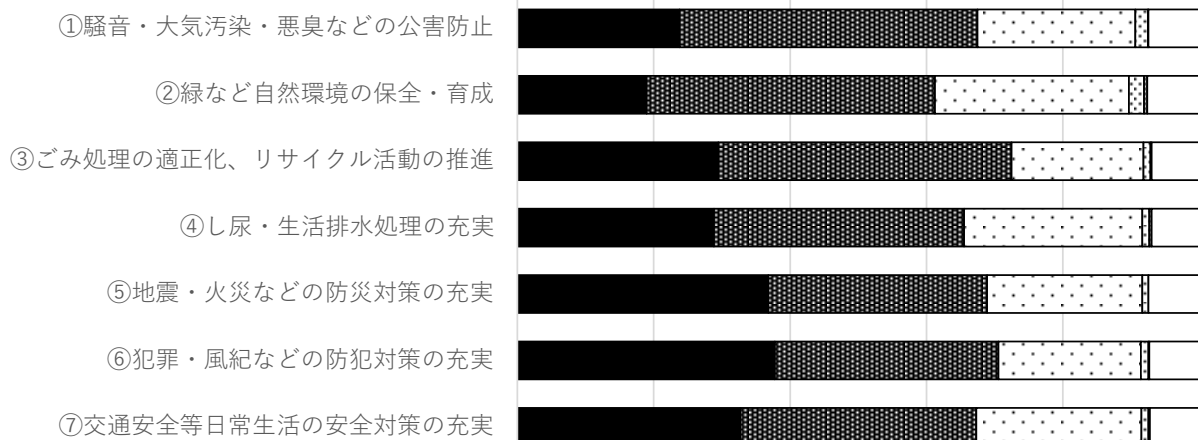


教育・文化分野では、小中学校教育への施策の期待度（「重要である（優先すべき）」と「やや重要」の合計）が最も高くなっています。健康・福祉分野では医療への施策の期待度が最も高くなっています。産業分野では、買い物利便等への施策の期待度が最も高くなっています。

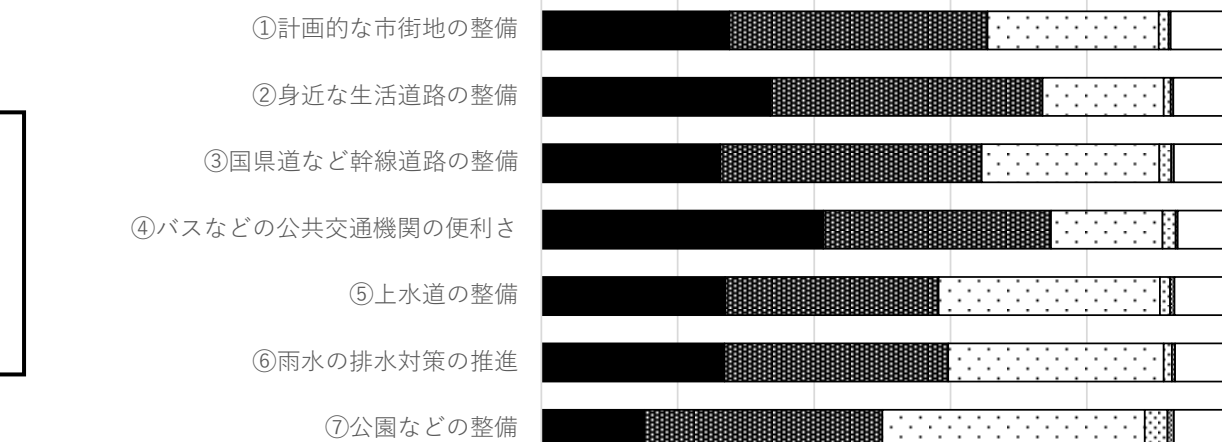


0.0 20.0 40.0 60.0 80.0 100.0

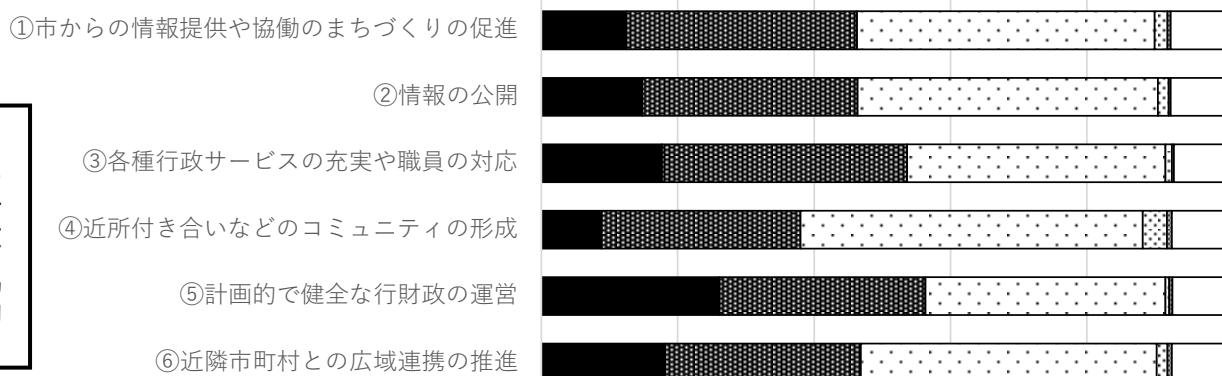
4. 生活環境



5. 都市基盤

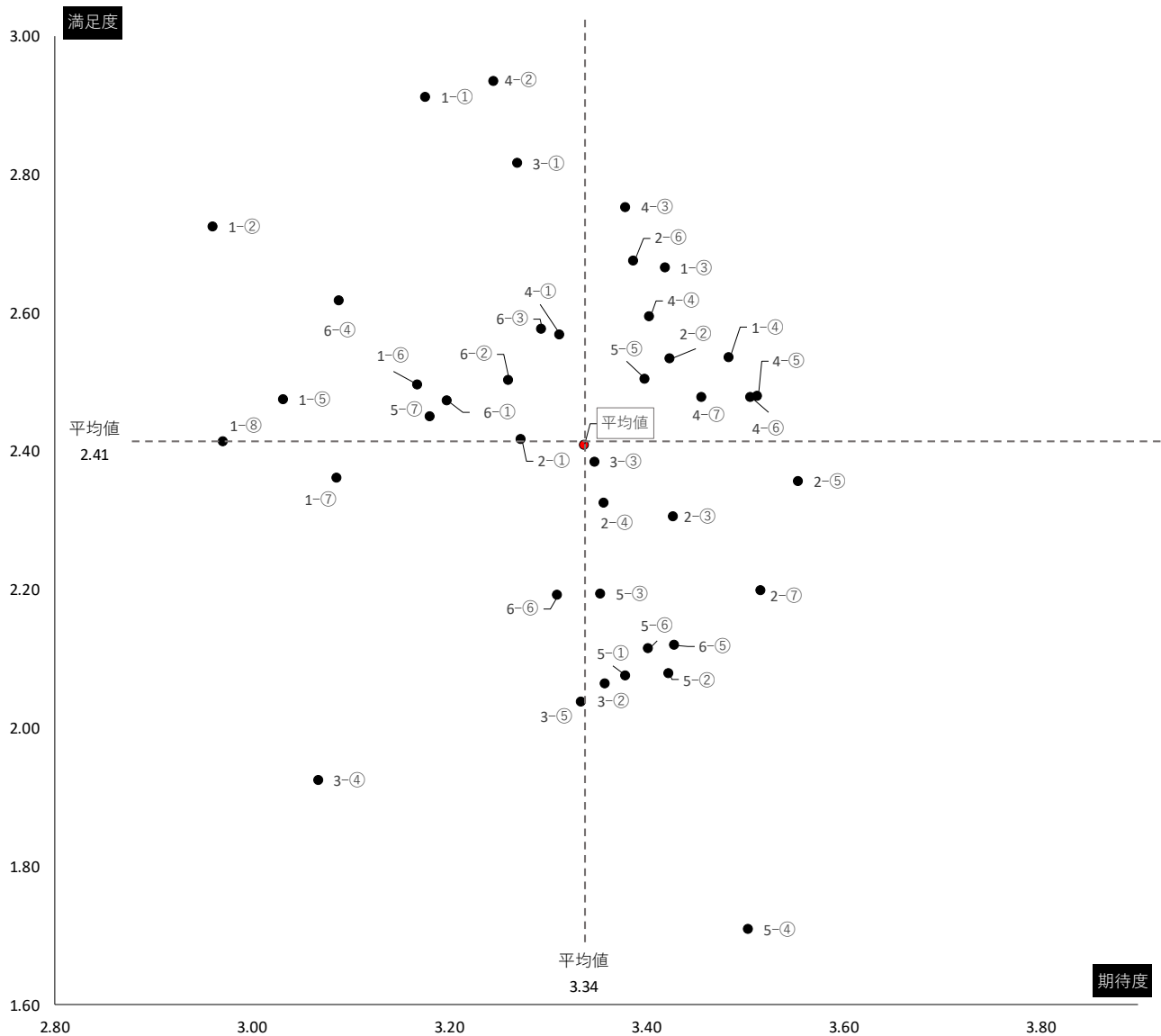


6. 行政・協働



生活環境分野では、ごみ処理、リサイクルへの施策の期待度が最も高くなっています。都市基盤分野では公共交通への施策の期待度が最も高くなっています。行政・協働分野では、行財政運営への期待度が最も高くなっています。

【CS分析】



★グラフの見方

期待度は平均より低く 満足度は平均より高い	期待度が平均より高く 満足度も平均より高い
期待度は平均より低く 満足度も平均より低い	期待度は平均より高く 満足度は平均より低い 【重要改善項目】

点数について

満足(重要):4点

やや満足(やや重要):3点

やや不満(やや重要でない):2点

不満(重要でない):1点

として、各選択肢の点数を、それを回答した人数で乗じ、その合計を回答者総数(無回答者を除く)で除したものを各施策の得点としている。

【重要改善項目の経年比較】

	前回調査	今回調査
2 健康・福祉	②保育園などの保育サービスや子育て支援の充実	
	③高齢者の生きがいづくりや介護の充実	③高齢者の生きがいづくりや介護の充実
		④障害者に対する福祉の充実
	⑤医療サービスや救急医療体制の充実	⑤医療サービスや救急医療体制の充実
	⑦国民健康保険や年金などの社会保障の充実	⑦国民健康保険や年金などの社会保障の充実
3 産業		②企業誘致や中小企業への支援
		③市内での買物の便利さや商業施設の充実
	⑤市民の雇用や就業環境の充実	
4 生活環境	⑥犯罪・風紀などの防犯対策の充実	
5 都市基盤		①計画的な市街地の整備
	②身近な生活道路の整備	②身近な生活道路の整備
		③国県道など幹線道路の整備
	④バスなどの公共交通機関の便利さ	④バスなどの公共交通機関の便利さ
		⑥雨水の排水対策の推進
6 行政・協働		⑤計画的で健全な行財政の運営

全体として、「1 教育・文化」、「4 生活環境」の中で、重要改善項目に該当したものはなく、「2 健康・福祉」や「5 都市基盤」に該当したものが多い結果となっています。

前回調査と比較すると、「2 健康・福祉」では、今回調査では子育て支援は該当せず、障害者福祉が新たに該当しています。

「3 産業」では、今回調査では雇用は該当せず、企業誘致・支援や買物利便が新たに該当しています。

「4 生活環境」では、今回調査では該当はありませんでした。

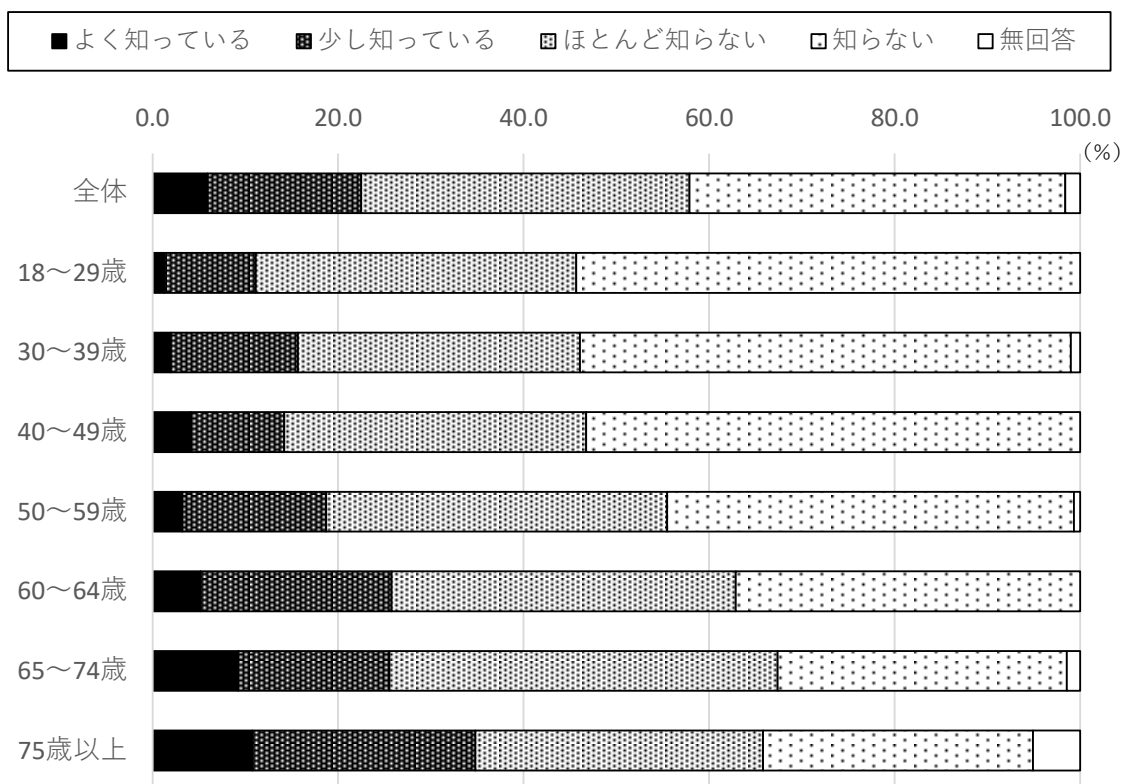
「5 都市基盤」では、前回調査の項目に加え、今回、市街地整備、幹線道路整備、排水対策が新たに該当しています。

「6 行政・協働」では、行財政運営が新たに該当しています。

(5) 協働への意識

問9 市では市民協働によるまちづくりを推進しています。「市民協働」や「協働」という言葉を知っていますか。次の中から1つだけ○で囲んでください。

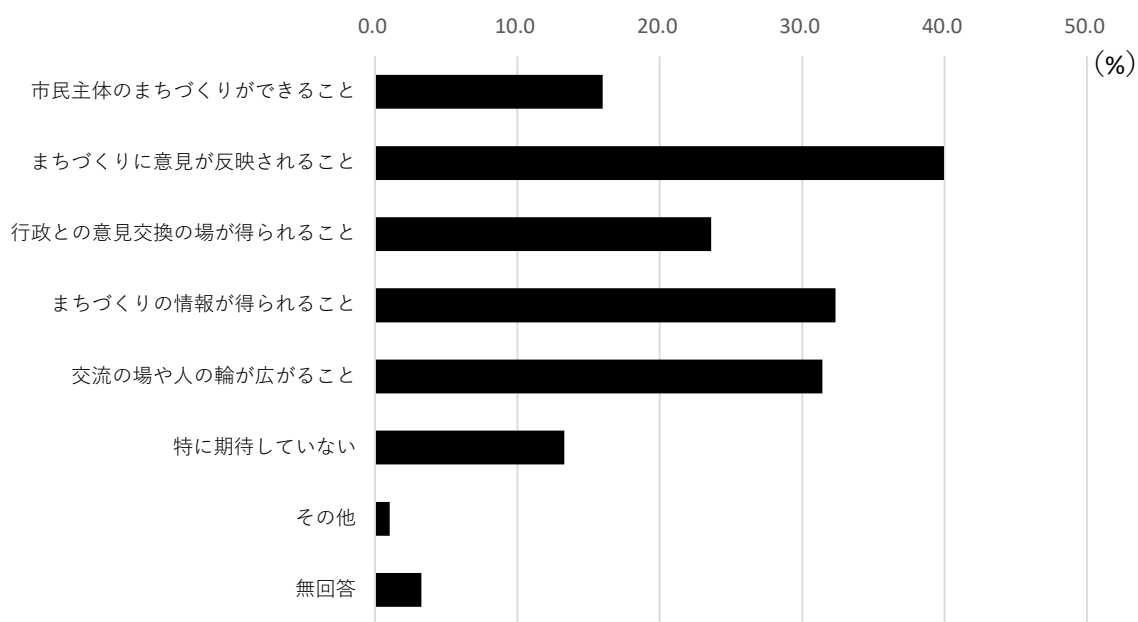
	人数(人)	割合(%)				
		よく知っている	少し知っている	ほとんど知らない	知らない	無回答
全体	1,076	5.9	16.5	35.4	40.5	1.6
18～29 歳	81	1.2	9.9	34.6	54.3	0.0
30～39 歳	102	2.0	13.7	30.4	52.9	1.0
40～49 歳	169	4.1	10.1	32.5	53.3	0.0
50～59 歳	155	3.2	15.5	36.8	43.9	0.6
60～64 歳	97	5.2	20.6	37.1	37.1	0.0
65～74 歳	282	9.2	16.3	41.8	31.2	1.4
75 歳以上	158	10.8	24.1	31.0	29.1	5.1



全体としては、よく知っていると回答した割合は 5.9%で、知らないと回答した割合は 40.5%となっています。年齢層別にみると、50 歳未満の年齢層が知らないと回答した割合は同程度となっています。

問 10 あなたがまちづくりに参加するとしたら何に期待しますか。次の中から2つ以内を○で囲んでください。

	人数	割合(%)
市民主体のまちづくりができること	172	16.0
まちづくりに意見が反映されること	430	40.0
行政との意見交換の場が得られること	254	23.6
まちづくりの情報が得られること	348	32.3
交流の場や人の輪が広がること	338	31.4
特に期待していない	143	13.3
その他	11	1.0
無回答	35	3.3
全体	1,076	

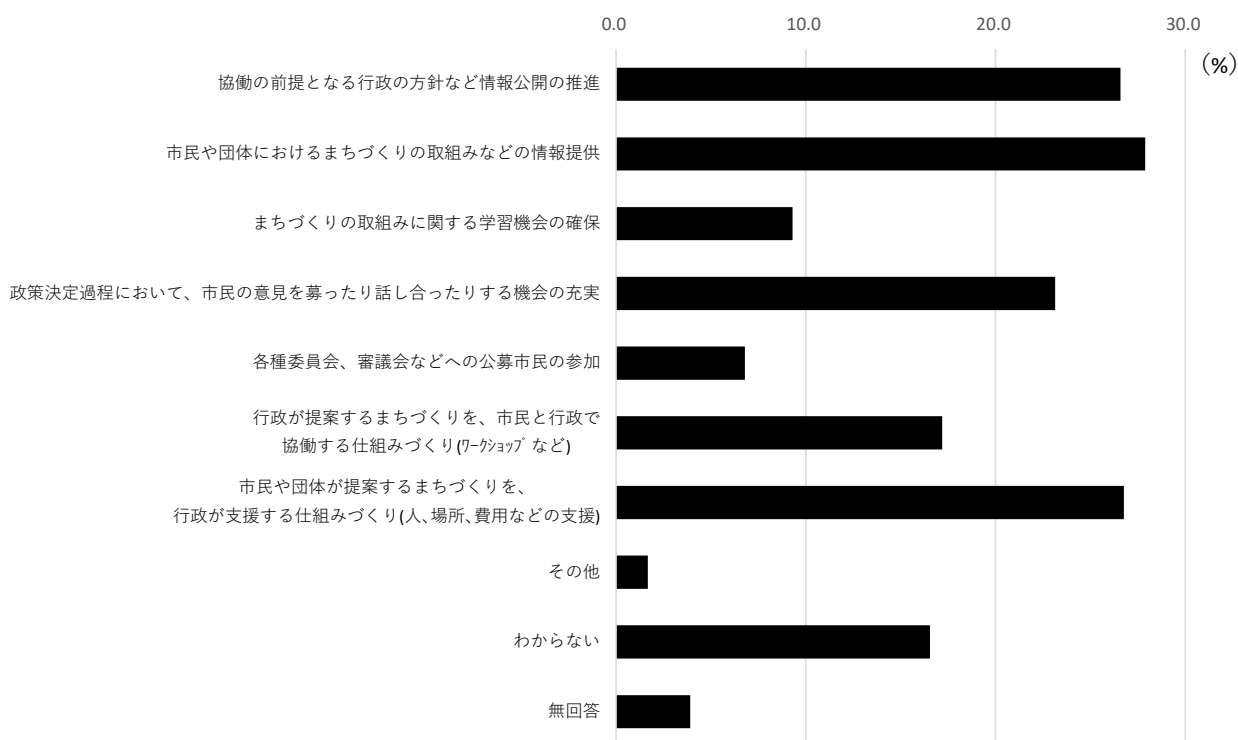


まちづくりに意見が反映されることと回答した割合が最も高く、次いでまちづくりの情報が得られることが高くなっています。

特に期待していないと回答した割合は、13.3%でした。

問 11 協働のまちづくりの推進にあたって、どのような取り組みが必要だと思いますか。次の中から2つ以内を○で囲んでください。

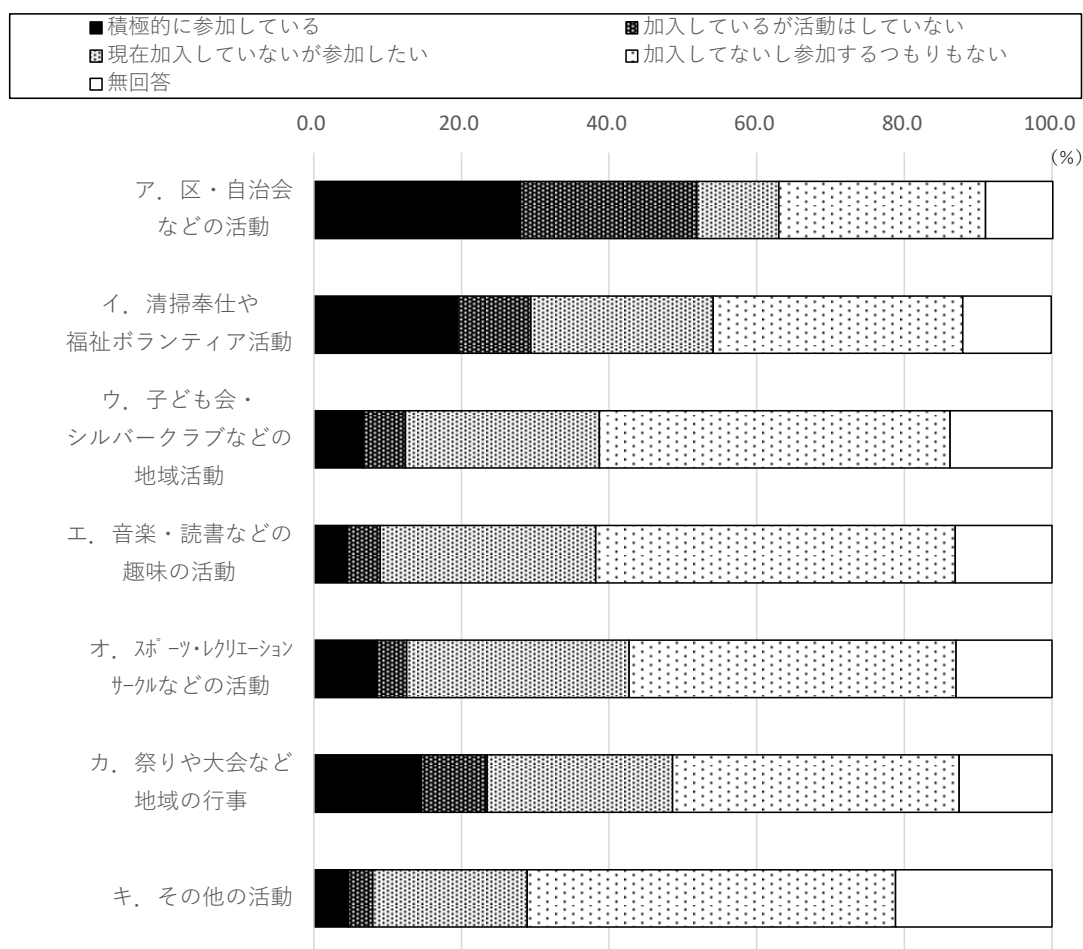
	人数	割合(%)
協働の前提となる行政の方針など情報公開の推進	286	26.6
市民や団体におけるまちづくりの取り組みなどの情報提供	300	27.9
まちづくりの取り組みに関する学習機会の確保	100	9.3
政策決定過程において、市民の意見を募ったり話し合ったりする機会の充実	249	23.1
各種委員会、審議会などへの公募市民の参加	73	6.8
行政が提案するまちづくりを、市民と行政で協働する仕組みづくり(ワークショップなど)	185	17.2
市民や団体が提案するまちづくりを、行政が支援する仕組みづくり(人、場所、費用などの支援)	288	26.8
その他	18	1.7
わからない	178	16.5
無回答	42	3.9
全体	1,076	



市民や団体におけるまちづくりの取り組みなどの情報提供と回答した割合が最も高く、次いで市民や団体が提案するまちづくりを、行政が支援する仕組みづくりが高くなっています。

問 12 あなたは、地域などのまちづくり活動に参加されていますか。ア～キそれぞれに、あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

	割合(%)				
	積極的に参加している	加入しているが活動はしていない	現在加入していないが参加したい	加入していないし参加するつもりもない	無回答
n=1,076					
ア. 区・自治会などの活動	28.0	23.9	11.1	28.0	9.1
イ. 清掃奉仕や福祉ボランティア活動	19.5	9.9	24.7	33.8	12.0
ウ. 子ども会・シルバークラブなどの地域活動	6.7	5.7	26.3	47.5	13.8
エ. 音楽・読書などの趣味の活動	4.6	4.4	29.2	48.7	13.1
オ. スポーツ・レクリエーションサークルなどの活動	8.6	4.0	30.1	44.3	13.0
カ. 祭りや大会など地域の行事	14.6	8.9	25.1	38.8	12.6
キ. その他の活動	4.7	3.3	20.9	49.9	21.2



積極的に参加している割合が最も高かったのは、区・自治会などの活動となっています。潜在的な加入希望者（現在加入していないが参加したい）の割合が最も高かったのは、スポーツ・レクリエーションサークルなどの活動となっています。

【年齢層別：「積極的に参加している」割合】

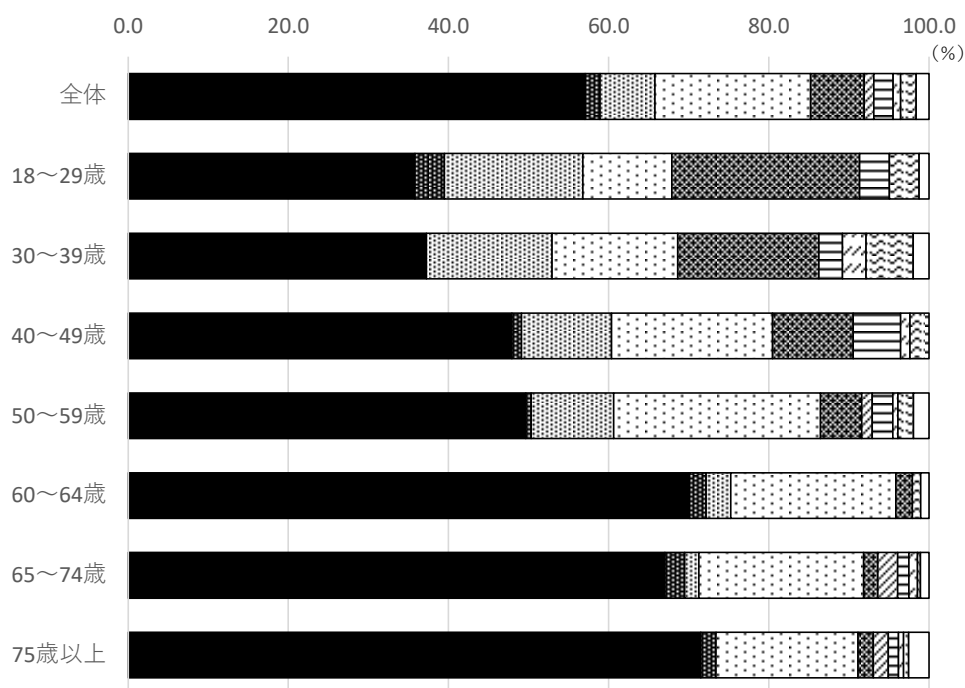
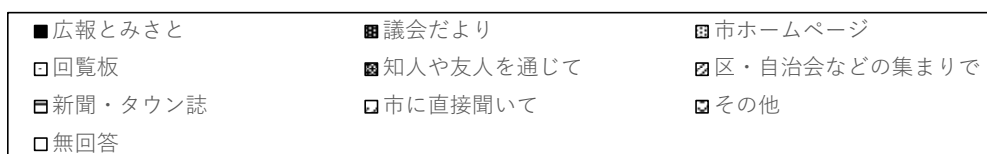
	人数(人)	割合(%)						
		ア・区・自治会などの活動	イ・清掃奉仕や福祉ボランティア活動	ウ・子ども会・シルバークラブなどの地域活動	エ・音楽・読書などの趣味の活動	オ・スポーツ・レクリエーションサークルなどの活動	カ・祭りや大会など地域の行事	キ・その他の活動
全体	1,076	28.0	19.5	6.7	4.6	8.6	14.6	4.7
18～29 歳	81	7.4	6.2	1.2	2.5	2.5	8.6	1.2
30～39 歳	102	11.8	3.9	5.9	2.0	3.9	12.7	2.0
40～49 歳	169	20.1	11.2	5.3	0.6	6.5	10.7	5.3
50～59 歳	155	27.7	16.8	7.1	2.6	5.2	8.4	2.6
60～64 歳	97	41.2	26.8	4.1	1.0	6.2	17.5	5.2
65～74 歳	282	41.1	31.2	8.2	7.4	11.3	20.2	5.3
75 歳以上	158	25.3	22.8	11.4	11.4	16.5	16.5	7.0

積極的に参加している割合を年齢層別にみると、全体的に 60 歳以上の参加率が高くなっています。

(6) 行政情報

問 13 あなたは、富里市の行政に関する情報を主に何によって知りますか。次の中から 1 つだけ○で囲んでください。

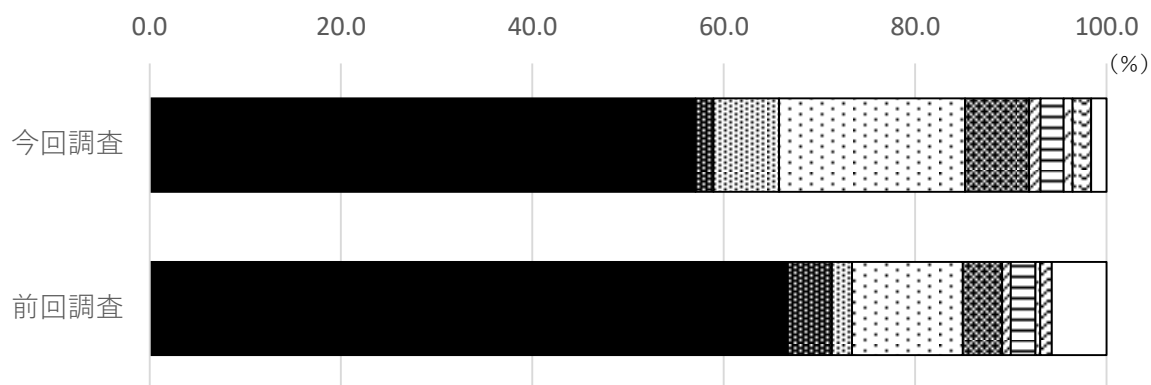
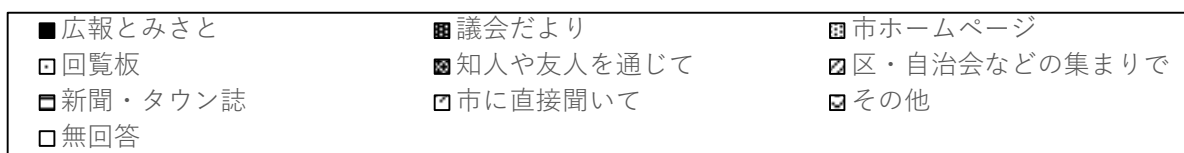
	人数(人)	割合(%)									
		広報とみさと	議会だより	市ホームページ	回覧板	知人や友人を通じて	区・自治会などの集まりで	新聞・タウン誌	市に直接聞いて	その他	無回答
全体	1,076	57.1	1.9	6.9	19.4	6.7	1.2	2.4	0.9	2.0	1.6
18～29 歳	81	35.8	3.7	17.3	11.1	23.5	0.0	3.7	0.0	3.7	1.2
30～39 歳	102	37.3	0.0	15.7	15.7	17.6	0.0	2.9	2.9	5.9	2.0
40～49 歳	169	47.9	1.2	11.2	20.1	10.1	0.0	5.9	1.2	2.4	0.0
50～59 歳	155	49.7	0.6	10.3	25.8	5.2	1.3	2.6	0.6	1.9	1.9
60～64 歳	97	70.1	2.1	3.1	20.6	2.1	0.0	0.0	0.0	1.0	1.0
65～74 歳	282	67.0	2.5	1.8	20.6	1.8	2.5	1.4	1.1	0.4	1.1
75 歳以上	158	71.5	1.9	0.0	17.7	1.9	1.9	1.3	0.6	0.6	2.5



全体としては、広報とみさとと回答した割合が最も高く、57.1%となっています。年齢層別にみると、いずれの年代も広報とみさとの割合が最も高くなっています。しかし、60歳以上の年齢層が、広報とみさとと回覧板で、ほぼすべてに情報が届くのに対し、18～29歳は、広報とみさとと回覧板では、半数にも情報が届かない結果になっています。

【経年比較】

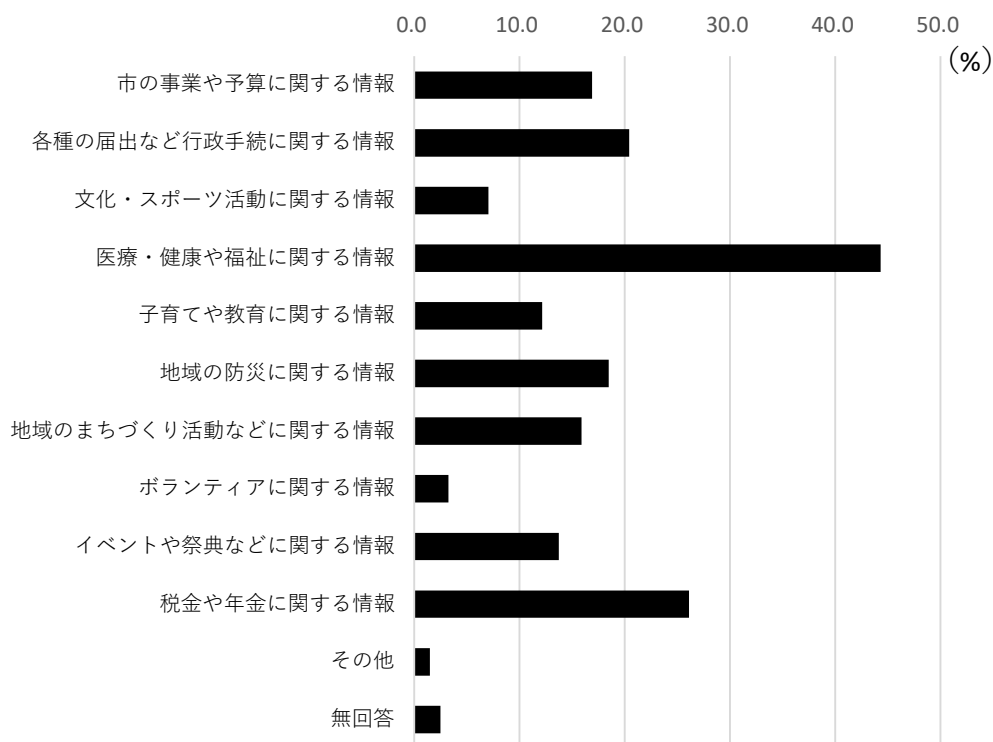
	人数(人)	割合(%)									
		広報とみさと	議会だより	市ホームページ	回覧板	知人や友人を通じて	区・自治会などの集まりで	新聞・タウン誌	市に直接聞いて	その他	無回答
今回調査	1,076	57.1	1.9	6.9	19.4	6.7	1.2	2.4	0.9	2.0	1.6
前回調査	1,988	66.7	4.6	2.1	11.6	4.1	0.9	2.6	0.5	1.2	5.7



前回調査（H20 調査）と比較すると、広報とみさとと回答した割合は低下しており、一方で、回覧板と回答した割合が増加しています。

問 14 あなたは、市からどんな情報が欲しいと考えていますか。次の中から2つ以内を○で囲んでください。

	人数	割合(%)
市の事業や予算に関する情報	182	16.9
各種の届出など行政手続に関する情報	220	20.4
文化・スポーツ活動に関する情報	76	7.1
医療・健康や福祉に関する情報	477	44.3
子育てや教育に関する情報	131	12.2
地域の防災に関する情報	199	18.5
地域のまちづくり活動などに関する情報	171	15.9
ボランティアに関する情報	35	3.3
イベントや祭典などに関する情報	148	13.8
税金や年金に関する情報	281	26.1
その他	16	1.5
無回答	27	2.5
全体	1,076	



医療・健康や福祉に関する情報と回答した割合が、突出して高く、次いで税金や年金に関する情報と回答した割合が高くなっています。

(7) 生活圏と移動手段

問 15 あなたは、日常生活における以下の活動について、主にどの市町村を利用していますか。

	富里市内	富 里 市 外								行わない	無回答
		成田市	八街市	山武市	佐倉市	酒々井町	芝山町	その他県内	県外		
①食料品など日用品の買物	83.3	47.1	17.4	0.9	0.7	4.1	5.9	2.0	0.6	0.2	2.6
②外食などの飲食	62.8	68.6	9.5	0.3	1.3	1.7	0.0	7.2	3.1	1.8	4.8
③衣料品などの買物	46.7	68.4	7.6	0.1	0.9	7.6	0.4	13.5	8.8	1.0	5.2
④家電製品、家具などの買物	60.9	63.6	4.2	0.1	0.7	0.4	0.1	8.4	4.6	2.0	5.3
⑤娯楽など	20.2	53.5	2.9	0.4	1.4	0.7	0.7	20.4	20.4	10.7	9.0
⑥スポーツ、サークル活動	26.8	22.9	0.8	0.3	1.1	1.1	0.5	7.6	5.0	41.4	11.0
⑦病院・診療所など	70.3	60.6	3.7	0.6	4.0	1.8	2.2	8.7	1.8	0.5	4.1
⑧子どもの塾や習い事など	21.9	13.7	1.2	0.1	0.4	0.2	0.0	1.0	0.5	52.7	18.4

日用品の買物や医療については市内での利用の割合が高くなっていますが、外食や衣料品・家電製品、娯楽については成田市での利用の割合が高くなっています。

【小学校区別】

①食料品など日用品の買物

	人数（人）	割合（％）										
		富里市内	富 里 市 外								行わない	無回答
			成田市	八街市	山武市	佐倉市	酒々井町	芝山町	その他県内	県外		
全体	1,076	83.3	47.1	17.4	0.9	0.7	4.1	5.9	2.0	0.6	0.2	2.6
富里小学校区	216	91.2	47.2	11.1	0.9	0.9	2.8	2.8	2.8	0.5	0.0	1.9
富里第一小学校区	116	84.5	19.0	42.2	0.0	1.7	16.4	1.7	1.7	0.9	0.9	2.6
富里南小学校区	196	68.9	39.8	33.2	3.6	0.0	2.0	20.4	0.5	0.5	0.5	1.0
浩養小学校区	32	59.4	6.3	81.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5
日吉台小学校区	236	88.6	71.6	0.4	0.0	0.0	0.4	0.0	2.5	0.4	0.0	2.1
根木名小学校区	106	82.1	56.6	6.6	0.9	1.9	1.9	6.6	1.9	0.9	0.0	5.7
七栄小学校区	116	95.7	37.1	9.5	0.0	0.9	8.6	2.6	1.7	0.0	0.0	0.9

食料品などの日用品については、浩養小学校区のみ、八街市での利用の割合が最も高くなっています。

②外食などの飲食

	人数(人)	割合(%)										
		富里市内	富里市外								行わない	無回答
			成田市	八街市	山武市	佐倉市	酒々井町	芝山町	その他県内	県外		
全体	1,076	62.8	68.6	9.5	0.3	1.3	1.7	0.0	7.2	3.1	1.8	4.8
富里小学校区	216	72.7	66.7	8.8	0.0	0.9	1.4	0.0	8.8	0.5	0.5	3.2
富里第一小学校区	116	67.2	55.2	20.7	1.7	1.7	7.8	0.0	5.2	1.7	0.9	6.0
富里南小学校区	196	58.2	60.7	17.3	0.5	2.0	1.0	0.0	8.7	5.6	3.1	2.6
浩養小学校区	32	40.6	43.8	46.9	0.0	0.0	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	18.8
日吉台小学校区	236	53.4	85.2	0.0	0.0	0.4	0.4	0.0	5.5	5.5	1.7	4.2
根木名小学校区	106	62.3	69.8	4.7	0.0	1.9	0.0	0.0	9.4	2.8	1.9	9.4
七栄小学校区	116	75.0	69.8	1.7	0.0	1.7	1.7	0.0	7.8	0.9	2.6	3.4

外食などの飲食については、小学校区によりばらつきがあります。

③衣料品などの買物

	人数(人)	割合(%)										
		富里市内	富里市外								行わない	無回答
			成田市	八街市	山武市	佐倉市	酒々井町	芝山町	その他県内	県外		
全体	1,076	46.7	68.4	7.6	0.1	0.9	7.6	0.4	13.5	8.8	1.0	5.2
富里小学校区	216	50.9	68.5	3.7	0.0	1.4	9.3	0.0	14.8	7.9	0.5	4.2
富里第一小学校区	116	50.9	58.6	16.4	0.0	1.7	11.2	0.0	11.2	4.3	1.7	6.0
富里南小学校区	196	42.3	64.3	14.8	0.5	1.0	5.1	1.5	14.3	10.2	1.5	4.6
浩養小学校区	32	28.1	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	3.1	9.4	3.1	0.0	18.8
日吉台小学校区	236	43.2	82.6	0.0	0.0	0.4	7.2	0.0	11.9	12.3	0.4	2.5
根木名小学校区	106	55.7	67.0	3.8	0.0	0.0	3.8	0.0	11.3	8.5	0.9	9.4
七栄小学校区	116	54.3	66.4	2.6	0.0	0.9	7.8	0.0	16.4	6.0	1.7	5.2

衣料品については、市内すべての小学校区で、成田市を利用する割合が高くなっています。

④家電製品、家具などの買物

	人数(人)	割合(%)										
		富里市内	富里市外								行わない	無回答
			成田市	八街市	山武市	佐倉市	酒々井町	芝山町	その他県内	県外		
全体	1,076	60.9	63.6	4.2	0.1	0.7	0.4	0.1	8.4	4.6	2.0	5.3
富里小学校区	216	63.9	62.0	2.8	0.0	0.9	0.5	0.0	12.0	6.0	0.9	3.7
富里第一小学校区	116	70.7	42.2	12.1	0.0	0.0	1.7	0.0	9.5	1.7	1.7	6.9
富里南小学校区	196	53.1	65.8	7.1	0.5	1.0	0.5	0.5	9.2	3.6	2.6	4.1
浩養小学校区	32	53.1	28.1	18.8	0.0	3.1	0.0	0.0	15.6	0.0	3.1	15.6
日吉台小学校区	236	56.8	80.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.7	5.9	3.0	3.4
根木名小学校区	106	56.6	69.8	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	5.7	5.7	1.9	8.5
七栄小学校区	116	75.9	57.8	0.9	0.0	1.7	0.0	0.0	6.0	3.4	2.6	5.2

家電製品、家具などについては、市内を利用する小学校区が多いのですが、小学校区により成田市の利用が高くなっています。

⑤娯楽など

	人数(人)	割合(%)										
		富里市内	富里市外								行わない	無回答
			成田市	八街市	山武市	佐倉市	酒々井町	芝山町	その他県内	県外		
全体	1,076	20.2	53.5	2.9	0.4	1.4	0.7	0.7	20.4	20.4	10.7	9.0
富里小学校区	216	23.1	55.1	1.9	0.0	1.4	0.0	0.0	26.9	20.8	7.4	8.3
富里第一小学校区	116	20.7	43.1	5.2	0.9	3.4	0.9	1.7	14.7	19.0	8.6	17.2
富里南小学校区	196	12.8	52.0	7.1	0.5	1.0	0.5	0.5	21.4	17.3	12.8	8.2
浩養小学校区	32	12.5	37.5	9.4	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	15.6	12.5	21.9
日吉台小学校区	236	22.0	66.5	0.0	0.4	0.8	0.8	0.0	16.1	24.2	9.3	5.5
根木名小学校区	106	25.5	48.1	1.9	0.0	2.8	1.9	2.8	16.0	17.9	12.3	12.3
七栄小学校区	116	25.0	51.7	0.9	0.0	0.9	0.9	0.0	31.0	22.4	11.2	5.2

娯楽などについては、市内すべての小学校区で、成田市を利用する割合が高くなっています。

⑥スポーツ、サークル活動

	人数(人)	割合(%)										
		富里市内	富里市外								行わない	無回答
			成田市	八街市	山武市	佐倉市	酒々井町	芝山町	その他県内	県外		
全体	1,076	26.8	22.9	0.8	0.3	1.1	1.1	0.5	7.6	5.0	41.4	11.0
富里小学校区	216	25.5	20.4	0.0	0.0	2.3	0.9	0.0	9.7	5.6	44.0	9.7
富里第一小学校区	116	32.8	10.3	5.2	0.9	0.9	5.2	0.9	6.0	2.6	34.5	16.4
富里南小学校区	196	21.9	18.4	1.0	0.5	1.5	0.5	0.5	8.2	5.1	44.9	11.7
浩養小学校区	32	25.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	43.8	28.1
日吉台小学校区	236	32.6	36.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.4	8.9	7.6	31.8	7.6
根木名小学校区	106	25.5	29.2	0.0	0.9	0.0	1.9	0.9	2.8	3.8	41.5	16.0
七栄小学校区	116	27.6	16.4	0.9	0.0	1.7	0.9	0.9	8.6	4.3	49.1	6.0

スポーツ、サークル活動については、行わないと回答する割合が高い小学校区がほとんどですが、日吉台小学校区のみ、成田市を利用する割合が高くなっています。

⑦病院・診療所など

	人数(人)	割合(%)										
		富里市内	富里市外								行わない	無回答
			成田市	八街市	山武市	佐倉市	酒々井町	芝山町	その他県内	県外		
全体	1,076	70.3	60.6	3.7	0.6	4.0	1.8	2.2	8.7	1.8	0.5	4.1
富里小学校区	216	76.9	61.1	0.9	0.0	2.8	0.9	2.3	8.8	1.4	0.0	2.8
富里第一小学校区	116	66.4	50.9	8.6	0.9	10.3	6.0	0.0	11.2	0.0	0.0	4.3
富里南小学校区	196	67.9	53.1	8.2	1.5	4.1	2.6	6.6	9.2	0.5	0.5	3.1
浩養小学校区	32	65.6	34.4	25.0	0.0	6.3	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	18.8
日吉台小学校区	236	69.9	70.3	0.0	0.0	1.3	0.4	0.0	8.5	4.2	1.3	3.4
根木名小学校区	106	66.0	67.9	0.0	0.0	1.9	0.0	4.7	10.4	0.9	0.0	7.5
七栄小学校区	116	81.0	62.9	0.9	0.0	6.0	3.4	0.0	6.9	0.9	0.9	0.9

病院・診療所などについては、日吉台小学校区、根木名小学校区において、成田市を利用する割合が高くなっています。

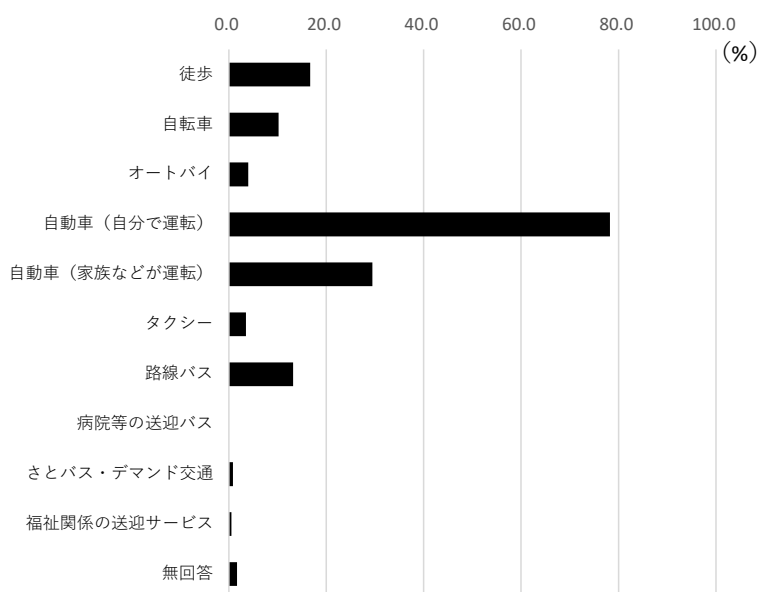
⑧子どもの塾や習い事など

	人数(人)	割合(%)										
		富里市内	富里市外								行わない	無回答
			成田市	八街市	山武市	佐倉市	酒々井町	芝山町	その他県内	県外		
全体	1,076	21.9	13.7	1.2	0.1	0.4	0.2	0.0	1.0	0.5	52.7	18.4
富里小学校区	216	27.8	13.0	0.0	0.5	0.5	0.0	0.0	0.9	0.5	50.9	16.7
富里第一小学校区	116	20.7	6.9	1.7	0.0	0.0	0.9	0.0	0.9	0.0	45.7	28.4
富里南小学校区	196	22.4	8.7	4.6	0.0	0.5	0.0	0.0	1.0	0.0	54.6	15.8
浩養小学校区	32	12.5	3.1	6.3	0.0	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	46.9	37.5
日吉台小学校区	236	20.3	24.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	1.7	52.1	16.5
根本名小学校区	106	21.7	16.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0	48.1	22.6
七栄小学校区	116	25.0	11.2	0.0	0.0	0.9	0.9	0.0	0.9	0.0	58.6	12.1

いずれの小学校区も行わないと回答した割合が最も高くなっています。行わない以外では、日吉台小学校区のみ、成田市を利用する割合が高くなっています。

問 16 あなたの、市内の主な移動手段は何ですか。次の中から2つ以内を○で囲んでください。

	人数	割合(%)
徒歩	180	16.7
自転車	110	10.2
オートバイ	43	4.0
自動車(自分で運転)	842	78.3
自動車(家族などが運転)	317	29.5
タクシー	38	3.5
路線バス	142	13.2
病院等の送迎バス	0	0.0
さとバス・デマンド交通	9	0.8
福祉関係の送迎サービス	6	0.6
無回答	18	1.7
全体	1,076	



自動車(自分で運転)と回答した割合が78.3%となっています。

【小学校区別】

	人数(人)	割合(%)									
		徒歩	自転車	オートバイ	自動車 (自分で運転)	自動車 (家族などが運転)	タクシー	路線バス	病院等の送迎バス	さとバス・ デマンド交通	福祉関係の 送迎サービス
全体	1,076	16.7	10.2	4.0	78.3	29.5	3.5	13.2	0.0	0.8	0.6
富里小学校区	216	17.1	9.3	5.1	77.8	31.5	1.9	9.7	0.0	0.9	0.0
富里第一小学校	116	7.8	6.9	1.7	79.3	33.6	5.2	11.2	0.0	3.4	0.0
富里南小学校区	196	7.7	8.2	5.6	85.2	35.7	2.0	9.2	0.0	1.0	0.5
浩養小学校区	32	0.0	6.3	3.1	81.3	40.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
日吉台小学校区	236	35.2	11.0	3.0	68.2	24.6	3.8	23.7	0.0	0.0	0.8
根木名小学校区	106	8.5	12.3	3.8	80.2	24.5	4.7	14.2	0.0	0.9	0.9
七栄小学校区	116	14.7	15.5	2.6	87.1	22.4	5.2	13.8	0.0	0.0	0.9

小学校区別にみると、いずれの小学校区も自動車移動が主ですが、日吉台小学校区のみ、他の小学校区よりも徒歩や路線バスでの移動の割合が高い傾向があります。

問 17 あなたは、市で運営している「さとバス・デマンド交通」を利用したことはありますか。
それぞれについて、次の中から1つずつ○で囲んでください。

さとバス

	人数	割合(%)
よく利用する	3	0.3
週1回程度利用する	2	0.2
月1回程度利用する	10	0.9
過去に利用したことはある	62	5.8
全く利用しない	975	90.6
無回答	24	2.2
全体	1,076	100.0

デマンド交通

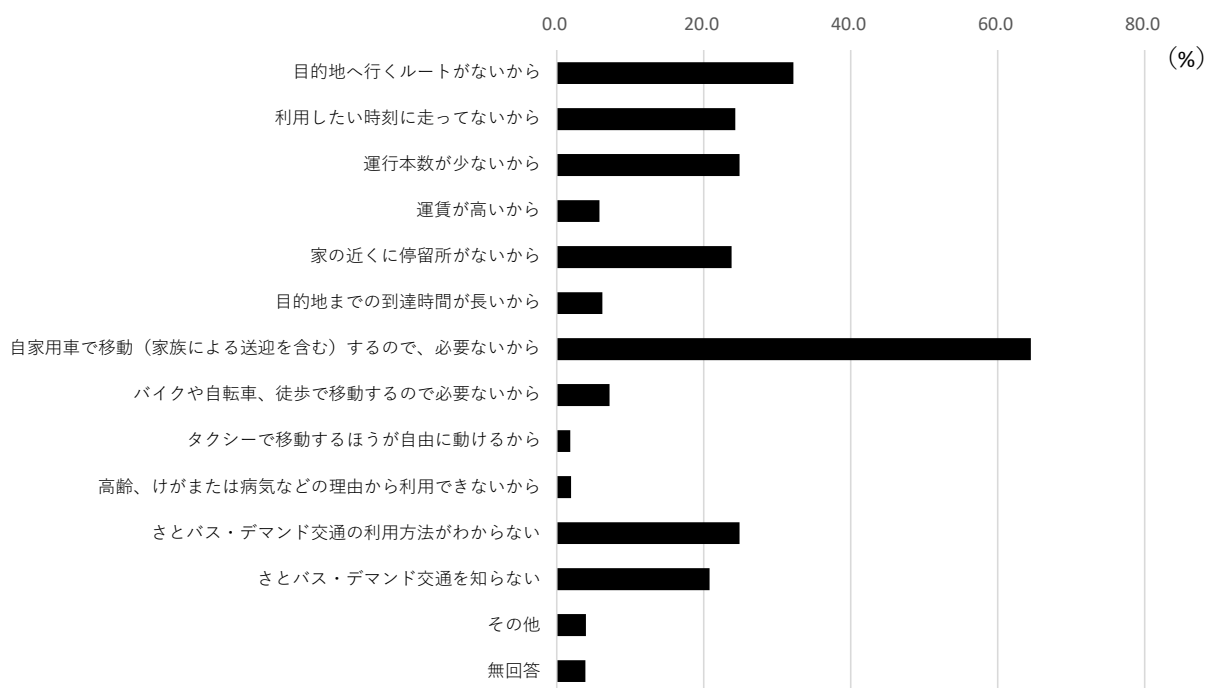
	人数	割合(%)
よく利用する	6	0.6
週1回程度利用する	1	0.1
月1回程度利用する	5	0.5
過去に利用したことはある	21	2.0
全く利用しない	1013	94.1
無回答	30	2.8
全体	1,076	100.0

週1回以上利用している割合（「よく利用する」と「週1回程度利用する」の合計）は、さとバスが0.5%、デマンド交通が0.7%と、低水準になっています。

※問 17 で、「4. 過去に利用したことはある」、「5. 全く利用しない」と回答した方にうかがいます。

問 17-1 利用しない理由は何ですか。次の中からあてはまるものすべてを○で囲んでください。

	人数	割合(%)
目的地へ行くルートがないから	336	32.1
利用したい時刻に走ってないから	253	24.1
運行本数が少ないから	259	24.7
運賃が高いから	60	5.7
家の近くに停留所がないから	247	23.6
目的地までの到達時間が長いから	64	6.1
自家用車で移動(家族による送迎を含む)するので、必要ないから	672	64.1
バイクや自転車、徒歩で移動するので必要ないから	76	7.3
タクシーで移動するほうが自由に動けるから	19	1.8
高齢、けがまたは病気などの理由から利用できないから	20	1.9
さとバス・デマンド交通の利用方法がわからない	257	24.5
さとバス・デマンド交通を知らない	215	20.5
その他	41	3.9
無回答	44	4.2
全体	1,048	



自家用車で移動するために必要ないと回答した割合が、突出して高くなっています。次いで、目的地へ行くルートがないからと回答した割合が高くなっています。

【小学校区別】

	人数(人)	割合(%)								
		ないから 目的地へ行くルートが	ないから 利用したい時刻に走って	運行本数が少ないから	運賃が高いから	家の近くに停留所がないから	長いから 目的地までの到達時間が	で、必要ないから 自家用車で移動(家族による送迎を含む)するの	移動するの バイクや自転車、徒歩で	タクシーで移動する が自由に動けるから
富里小学校区	216	34.9	22.0	24.9	5.3	17.2	8.1	65.1	9.1	1.4
富里第一小学校	116	26.8	27.7	26.8	6.3	16.1	6.3	67.9	4.5	4.5
富里南小学校区	196	33.0	27.7	29.8	7.4	31.4	6.4	67.6	7.4	2.1
浩養小学校区	32	29.6	14.8	22.2	14.8	33.3	11.1	85.2	0.0	0.0
日吉台小学校区	236	33.5	17.0	15.2	1.7	23.5	4.3	54.3	6.5	1.7
根木名小学校区	106	42.6	31.7	34.7	6.9	25.7	5.9	70.3	6.9	0.0
七栄小学校区	116	19.5	27.4	24.8	8.8	25.7	6.2	69.9	10.6	0.9

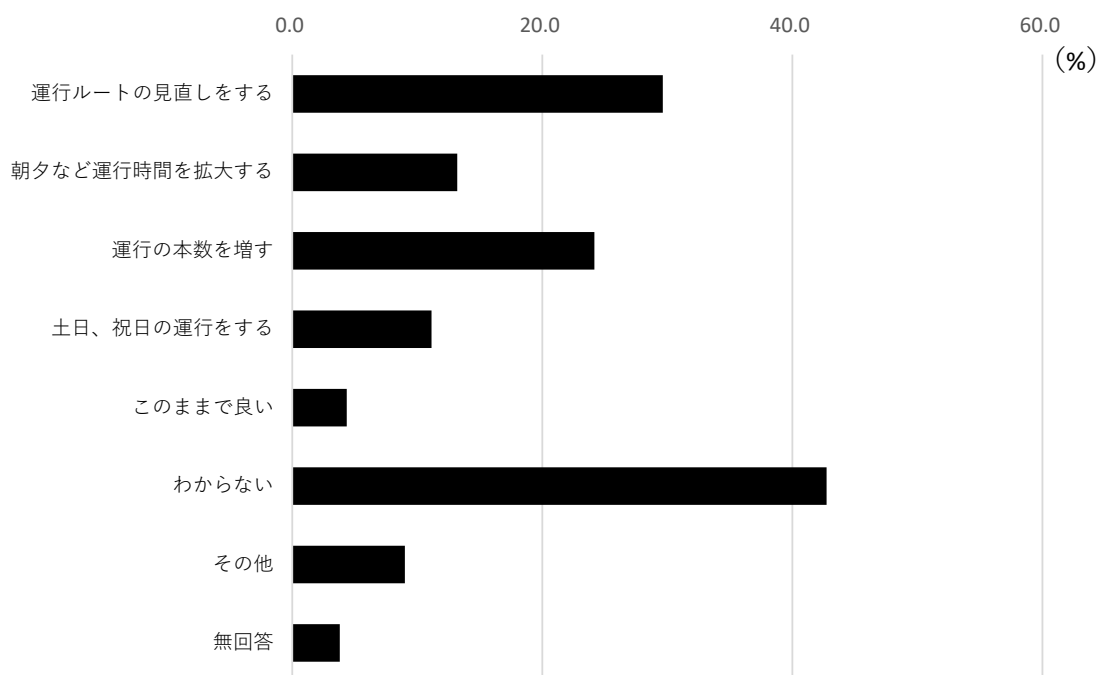
	人数(人)	割合(%)			
		利用方法がわからない とバス・デマンド交通の	知らない とバス・デマンド交通を	その他	無回答
富里小学校区	216	26.8	13.9	5.7	5.7
富里第一小学校	116	12.5	10.7	2.7	6.3
富里南小学校区	196	24.5	11.2	2.1	6.4
浩養小学校区	32	33.3	22.2	0.0	0.0
日吉台小学校区	236	29.6	39.1	3.9	0.9
根木名小学校区	106	24.8	13.9	6.9	1.0
七栄小学校区	116	24.8	23.0	2.7	4.4

小学校区別にみると、浩養小学校区は自動車移動者の割合が高く、家の近くに停留所がないことや運賃、目的地への到達時間を課題と考える割合が、他の小学校区よりも高い傾向があります。

日吉台小学校区は、自動車移動者の割合が低いのですが、特に目的地へのルートがないことを、利用しない理由にあげる割合が高くなっています。

問 18 あなたは、市で運営している「さとバス・デマンド交通」についてどのような取組みにしたらよいと思いますか。次の中から2つ以内を○で囲んでください。

	人数	割合(%)
運行ルートの見直しをする	319	29.6
朝夕など運行時間を拡大する	142	13.2
運行の本数を増す	260	24.2
土日、祝日の運行をする	120	11.2
このままで良い	47	4.4
わからない	460	42.8
その他	97	9.0
無回答	41	3.8
全体	1,076	



わからないと回答した割合が最も高くなっています。次いで、運行ルートの見直しをすると回答した割合が高くなっています。

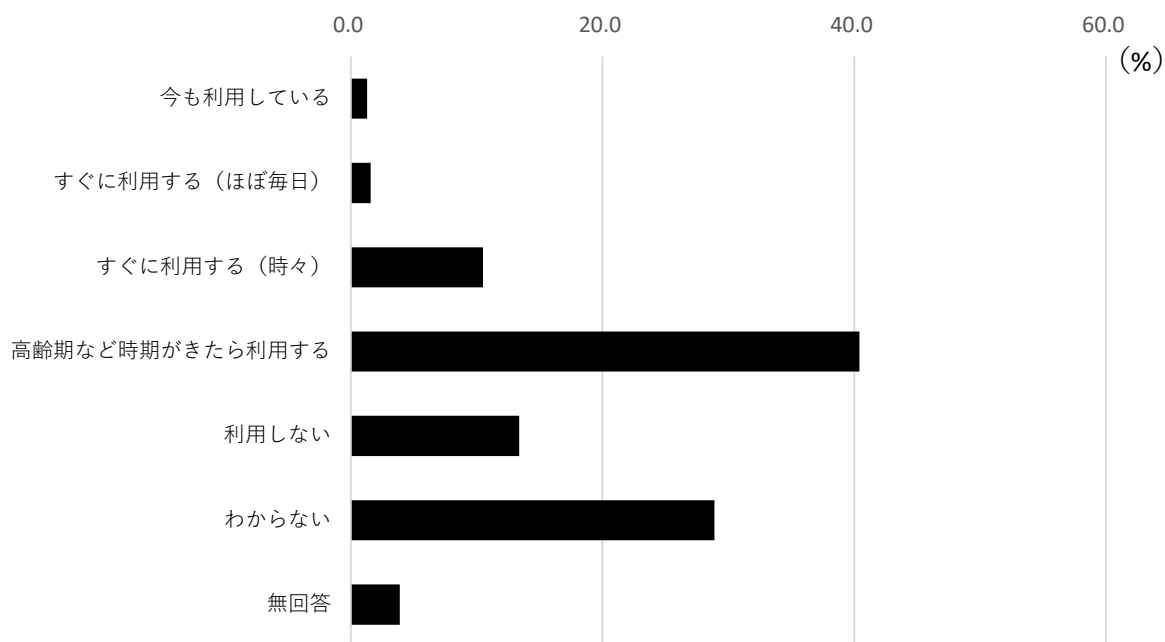
【小学校区別】

	人数(人)	割合(%)							
		運行ルートの見直しをする	朝夕など運行時間を拡大する	運行の本数を増す	土日、祝日の運行をする	このままで良い	わからない	その他	無回答
全体	1,076	29.6	13.2	24.2	11.2	4.4	42.8	9.0	3.8
富里小学校区	216	27.8	14.4	21.3	13.4	3.2	44.0	7.9	4.6
富里第一小学校	116	35.3	18.1	30.2	13.8	5.2	31.0	7.8	4.3
富里南小学校区	196	37.2	13.3	26.5	13.3	6.1	37.2	6.6	2.0
浩養小学校区	32	21.9	25.0	15.6	6.3	9.4	34.4	3.1	18.8
日吉台小学校区	236	25.4	6.8	21.6	6.8	4.7	50.8	11.0	3.8
根木名小学校区	106	36.8	17.9	29.2	12.3	0.9	35.8	11.3	4.7
七栄小学校区	116	20.7	12.9	25.0	13.8	5.2	45.7	11.2	0.9

小学校区別にみると、日吉台小学校区では運行時間の拡大と回答した割合が、他の小学校区よりも高く、浩養小学校区では低くなっています。

問 19 問 18 のような取組みをした場合、あなた自身は「さとバス・デマンド交通」を利用しますか。次の中から 1 つだけ○で囲んでください。

	人数	割合(%)
今も利用している	14	1.3
すぐに利用する(ほぼ毎日)	17	1.6
すぐに利用する(時々)	113	10.5
高齢期など時期がきたら利用する	435	40.4
利用しない	144	13.4
わからない	311	28.9
無回答	42	3.9
全体	1,076	100.0

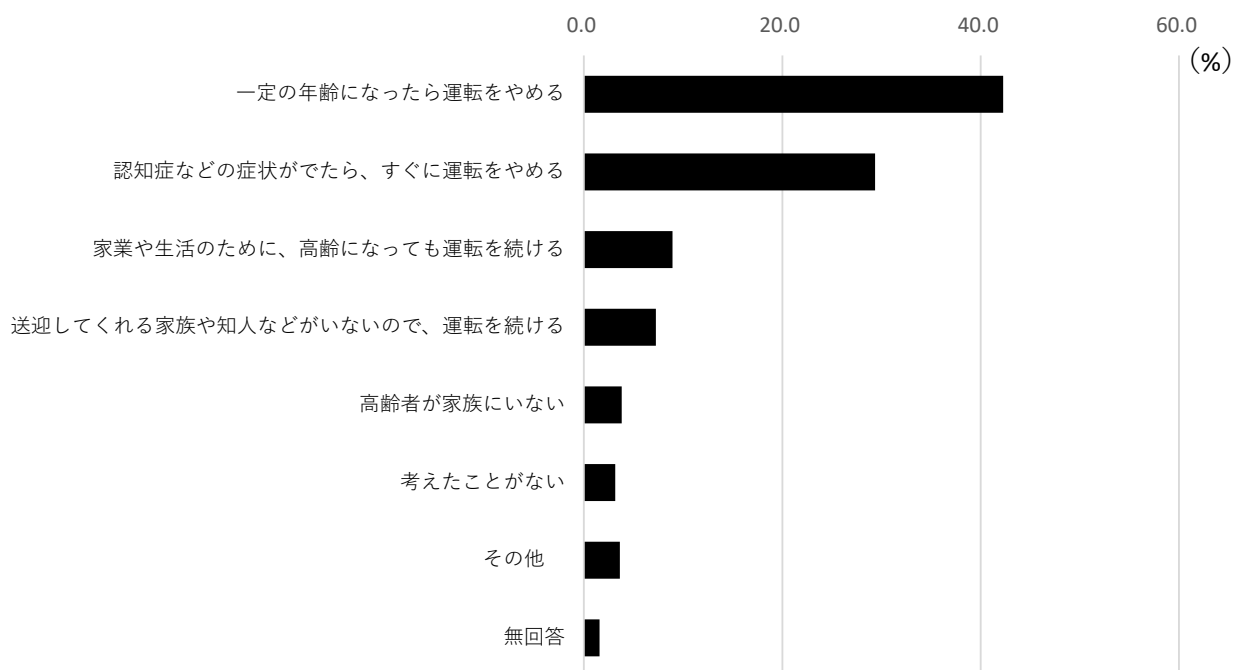


高齢期など時期がきたら利用すると回答した割合が最も高く、次いでわからないと回答した割合が高くなっています。

問 18 のような取組みによる利用増（「すぐに利用する（ほぼ毎日）」と「すぐに利用する（時々）」の合計）が見込めるのは、12.1%となっています。

問 20 高齢者の自動車運転による事故が社会問題になっていますが、あなたやあなたのご家族について考えた場合、高齢になった際の運転について最も近い考えはどれですか。次の中から1つだけ○で囲んでください。

	人数	割合(%)
一定の年齢になったら運転をやめる	455	42.3
認知症などの症状がでたら、すぐに運転をやめる	316	29.4
家業や生活のために、高齢になっても運転を続ける	96	8.9
送迎してくれる家族や知人などがいないので、運転を続ける	78	7.2
高齢者が家族にいない	41	3.8
考えたことがない	34	3.2
その他	39	3.6
無回答	17	1.6
全体	1,076	100.0



一定の年齢になったら運転をやめると回答した割合が最も高く、次いで認知症などの症状がでたら、すぐに運転をやめると回答した割合が高くなっています。

その一方で、高齢になっても運転を続ける（「家業や生活のために～」と「送迎してくれる家族や知人がいない～」の合計）と回答した割合が 16.1%となっています。

【年齢層別】

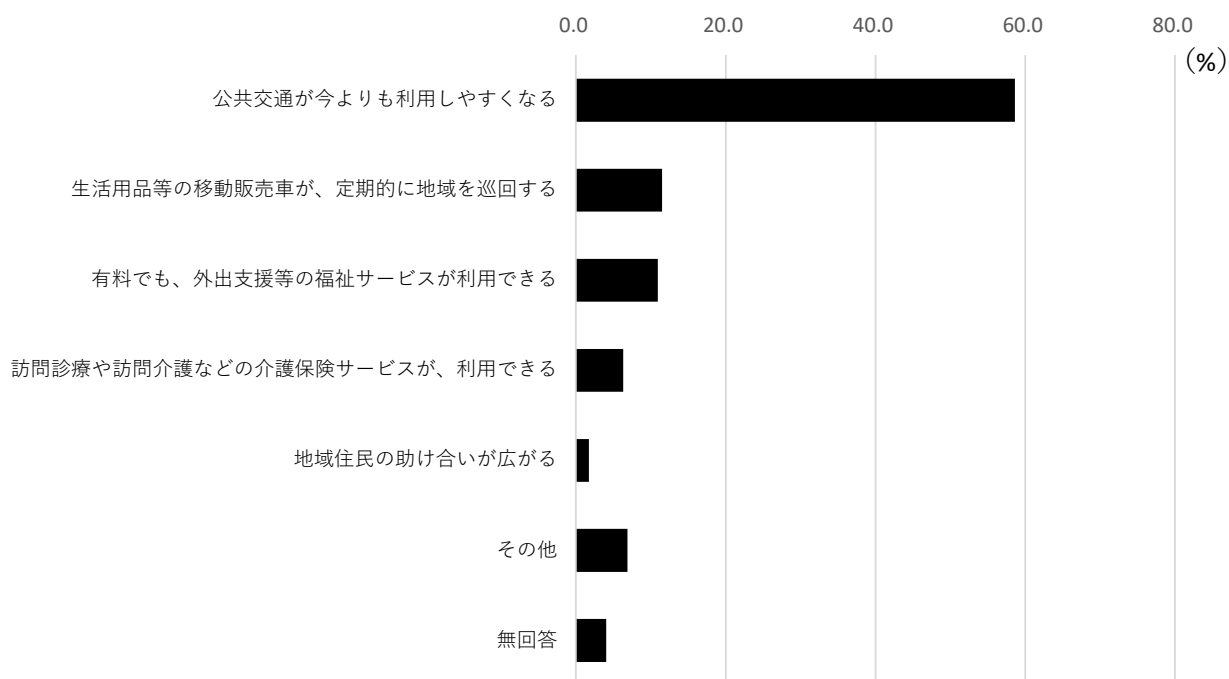
	人数(人)	割合(%)							
		一定の年齢になったら 運転をやめる	認知症などの症状が でたら、すぐに運転を やめる	続ける 高齢になっても運転を 続ける	家業や生活のために、 高齢になっても運転を 続ける	送迎してくれる家族 や知人などがいないの で、運転を続ける	高齢者が家族にいない	考えたことがない	その他
全体	1,076	42.3	29.4	8.9	7.2	3.8	3.2	3.6	1.6
18～29 歳	81	46.9	28.4	2.5	0.0	9.9	7.4	4.9	0.0
30～39 歳	102	43.1	26.5	9.8	8.8	5.9	3.9	2.0	0.0
40～49 歳	169	44.4	25.4	5.9	10.7	5.3	4.7	3.0	0.6
50～59 歳	155	39.4	30.3	7.1	7.1	7.7	1.9	5.2	1.3
60～64 歳	97	40.2	34.0	10.3	7.2	2.1	1.0	3.1	2.1
65～74 歳	282	42.6	29.4	12.1	7.8	0.7	2.1	3.5	1.8
75 歳以上	158	42.4	32.3	8.9	6.3	0.6	3.2	3.8	2.5

年齢層ごとの顕著な傾向の差はなく、全年齢層を通して同様の意識を持っている傾向があります。

※問 20 で「3. 家業や生活のために、高齢になっても運転を続ける」または「4. 送迎してくれる家族や知人などがないので、運転を続ける」と回答した方にうかがいます。

問 20-1 どのような条件があれば、運転を控えることができますか。次の中から 1 つだけ○で囲んでください。

	人数	割合(%)
公共交通が今よりも利用しやすくなる	102	58.6
生活用品等の移動販売車が、定期的に地域を巡回する	20	11.5
訪問診療や訪問介護などの介護保険サービスが、利用できる	11	6.3
地域住民の助け合いが広がる	3	1.7
有料でも、外出支援等の福祉サービスが利用できる	19	10.9
その他	12	6.9
無回答	7	4.0
全体	174	100.0

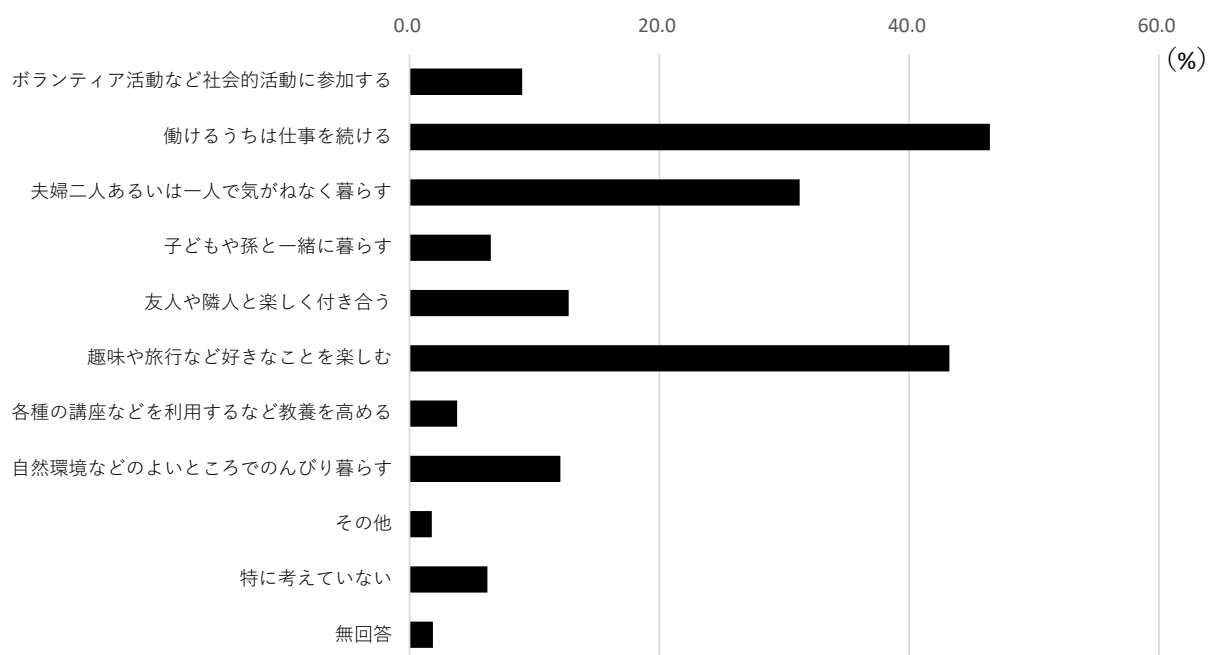


公共交通が今よりも利用しやすくなると回答した割合が、最も高くなっています。
一方で、公共交通の充実以外の選択肢も、合計で 37.4%となっており、交通代替的な施策もある程度の効果が期待できます。

(8) 高齢期の生活

問 21 あなたは、高齢期にどのような生活を送りたいと考えていますか。次の中から2つ以内を○で囲んでください。

	人数	割合(%)
ボランティア活動など社会的活動に参加する	97	9.0
働けるうちは仕事を続ける	500	46.5
夫婦二人あるいは一人で気がねなく暮らす	336	31.2
子どもや孫と一緒に暮らす	70	6.5
友人や隣人と楽しく付き合う	137	12.7
趣味や旅行など好きなことを楽しむ	465	43.2
各種の講座などを利用するなど教養を高める	41	3.8
自然環境などのよいところでのんびり暮らす	130	12.1
その他	19	1.8
特に考えていない	67	6.2
無回答	20	1.9
全体	1,076	



働けるうちは仕事を続けると回答した割合が最も高く、次いで趣味や旅行など好きなことを楽しむと回答した割合が高くなっています。おおむね半数が、できるだけ働きたいという考えを持っています。

【年齢層別】

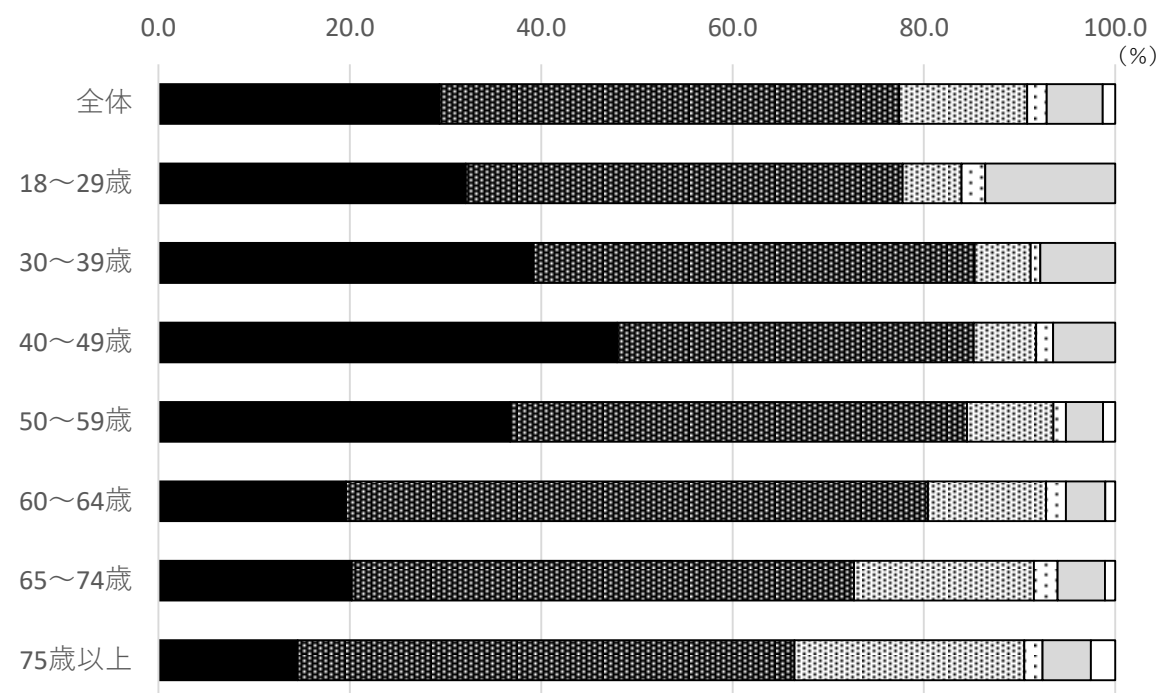
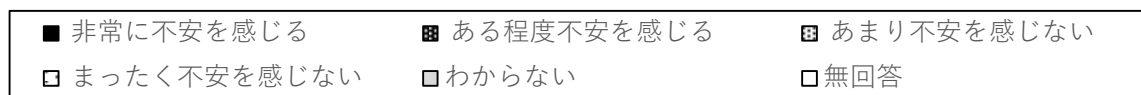
	人数(人)	割合(%)							
		ボランティア活動など 社会的活動に参加する	働けるうちは仕事を 続ける	夫婦二人あるいは一人 で気がねなく暮らす	子どもや孫と一緒に 暮らす	友人や隣人と楽しく 付き合う	趣味や旅行など好きな ことを楽しむ	各種の講座などを利用 するなど教養を高める	自然環境などのよいと ころでのんびり暮らす
全体	1,076	9.0	46.5	31.2	6.5	12.7	43.2	3.8	12.1
18～29 歳	81	9.9	43.2	30.9	8.6	3.7	63.0	1.2	21.0
30～39 歳	102	3.9	55.9	26.5	4.9	12.7	53.9	0.0	21.6
40～49 歳	169	6.5	59.2	29.0	5.9	5.9	44.4	1.8	15.4
50～59 歳	155	6.5	63.9	29.7	1.3	11.0	45.2	3.2	11.6
60～64 歳	97	7.2	51.5	27.8	8.2	9.3	42.3	7.2	7.2
65～74 歳	282	13.1	39.0	35.8	6.0	17.0	37.9	5.0	9.6
75 歳以上	158	8.9	22.8	33.5	10.8	22.2	36.1	6.3	8.2

	人数(人)	割合(%)		
		その他	特に考えていない	無回答
全体	1,076	1.8	6.2	1.9
18～29 歳	81	0.0	3.7	0.0
30～39 歳	102	0.0	2.0	0.0
40～49 歳	169	1.8	6.5	0.6
50～59 歳	155	0.6	3.9	1.3
60～64 歳	97	5.2	5.2	1.0
65～74 歳	282	1.4	7.4	2.1
75 歳以上	158	3.2	10.1	3.8

働けるうちは仕事を続ける、趣味や旅行など好きなことを楽しむと回答した割合が、高齢者のほうが低い割合となっています。

問 22 あなたは、高齢期の生活についてどのように感じますか。次の中から 1 つだけ○で囲んでください。

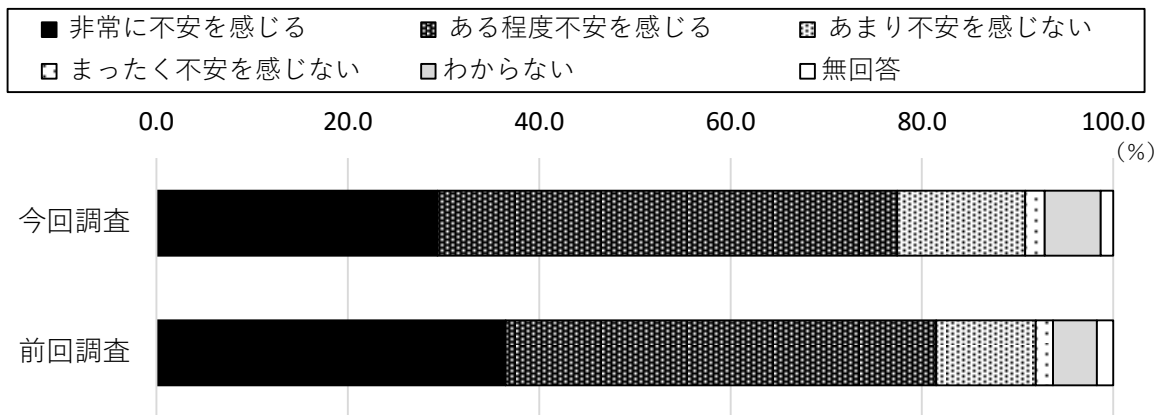
	人数(人)	割合(%)					
		非常に不安を感じる	ある程度不安を感じる	あまり不安を感じない	まったく不安を感じない	わからない	無回答
全体	1,076	29.4	48.0	13.4	2.0	5.9	1.3
18～29 歳	81	32.1	45.7	6.2	2.5	13.6	0.0
30～39 歳	102	39.2	46.1	5.9	1.0	7.8	0.0
40～49 歳	169	47.9	37.3	6.5	1.8	6.5	0.0
50～59 歳	155	36.8	47.7	9.0	1.3	3.9	1.3
60～64 歳	97	19.6	60.8	12.4	2.1	4.1	1.0
65～74 歳	282	20.2	52.5	18.8	2.5	5.0	1.1
75 歳以上	158	14.6	51.9	24.1	1.9	5.1	2.5



年齢層別にみると、高齢期への不安があると回答した割合（「非常に不安を感じる」と「ある程度不安を感じる」の合計）は 30～39 歳、40～49 歳が特に高くなっています。60 歳以上の高齢者よりも、30 歳以上 60 歳未満の現役世代のほうが高齢期への不安を持っていることがわかります。

【経年比較】

	人数(人)	割合(%)					
		非常に不安を感じる	ある程度不安を感じる	あまり不安を感じない	まったく不安を感じない	わからない	無回答
今回調査	1,076	29.4	48.0	13.4	2.0	5.9	1.3
前回調査	1,988	36.5	45.0	10.4	1.8	4.6	1.7

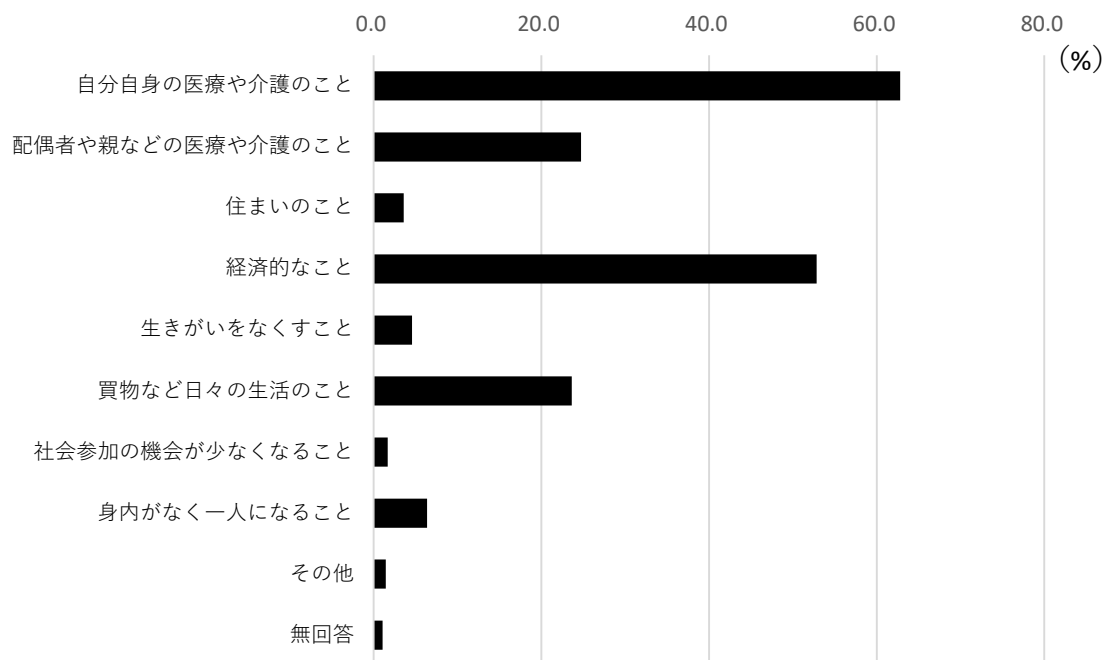


前回調査（H20 調査）と比較すると、全体としては高齢期への不安は低下していることがわかります。

※問 22 で、「1. 非常に不安を感じる」、「2. ある程度不安を感じる」と回答した方にうかがいます。

問 22-1 主にどのようなことが不安ですか。次の中から 2 つ以内を○で囲んでください。

	人数	割合(%)
自分自身の医療や介護のこと	523	62.8
配偶者や親などの医療や介護のこと	206	24.7
住まいのこと	30	3.6
経済的なこと	440	52.8
生きがいをなくすこと	38	4.6
買物など日々の生活のこと	197	23.6
社会参加の機会が少なくなること	14	1.7
身内がなく一人になること	53	6.4
その他	12	1.4
無回答	9	1.1
全体	833	

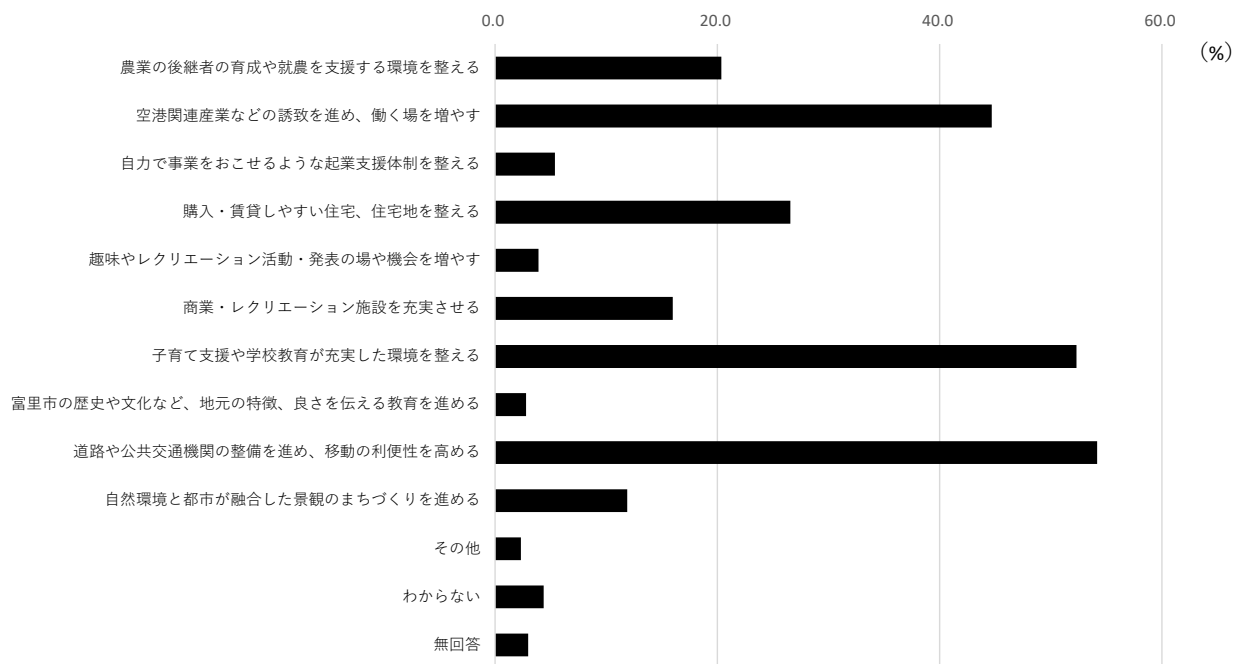


自分自身の医療や介護のことと回答した割合が最も高く、次いで経済的なことと回答した割合が高くなっています。

(9) 若い世代の定住と子育て

問 23 若い世代が市に定住していくためには、何が必要だと思いますか。次の中から3つ以内を○で囲んでください。

	人数	割合(%)
農業の後継者の育成や就農を支援する環境を整える	219	20.4
空港関連産業などの誘致を進め、働く場を増やす	481	44.7
自力で事業をおこせるような起業支援体制を整える	58	5.4
購入・賃貸しやすい住宅、住宅地を整える	286	26.6
趣味やレクリエーション活動・発表の場や機会を増やす	42	3.9
商業・レクリエーション施設を充実させる	172	16.0
子育て支援や学校教育が充実した環境を整える	563	52.3
富里市の歴史や文化など、地元の特徴、良さを伝える教育を進める	30	2.8
道路や公共交通機関の整備を進め、移動の利便性を高める	583	54.2
自然環境と都市が融合した景観のまちづくりを進める	128	11.9
その他	25	2.3
わからない	47	4.4
無回答	32	3.0
全体	1,076	



道路や公共交通機関の整備を回答した割合が最も高く、次いで子育て支援施策を回答した割合が高くなっています。子育て支援の充実よりも、交通網整備が定住には必要という認識が強いことがわかります。

【年齢層別】

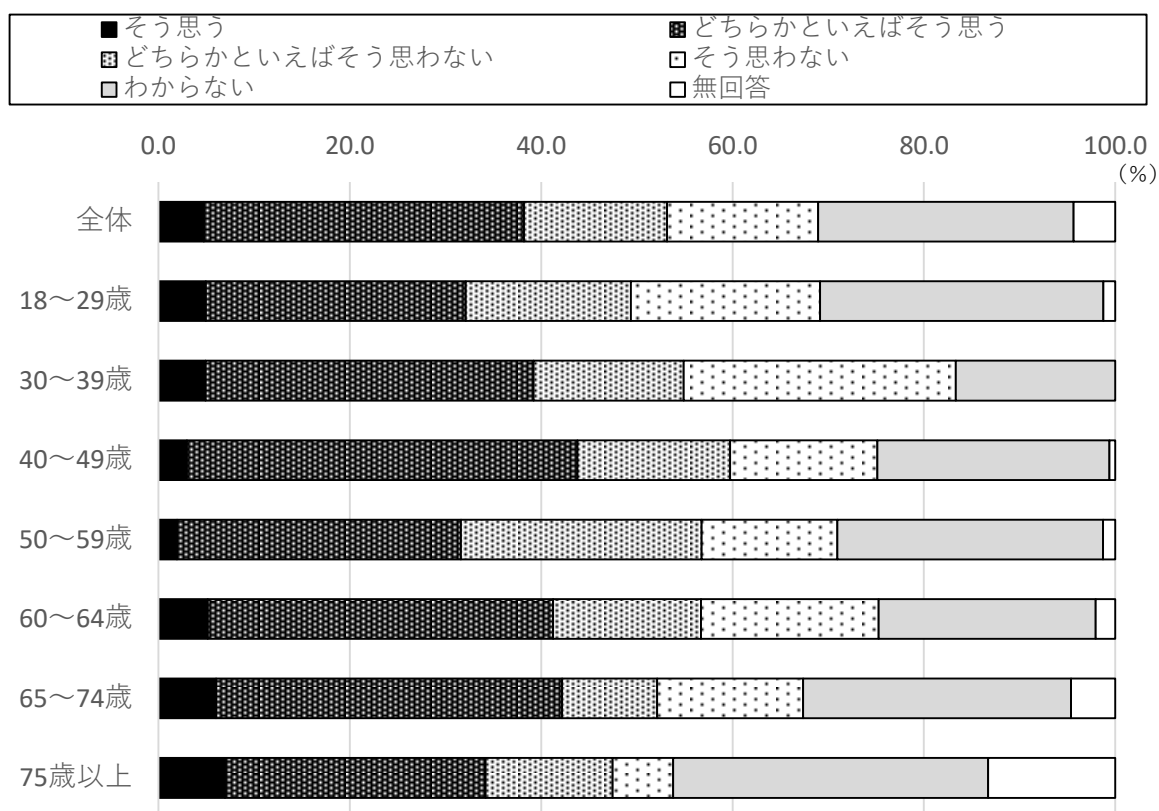
	人数(人)	割合(%)							
		農業の後継者の育成や就農を支援する環境を整える	空港関連産業などの誘致を進め、働く場を増やす	自力で事業をおこせるような起業支援体制を整える	購入・賃貸しやすい住宅、住宅地を整える	趣味やレクリエーション活動・発表の場や機会を増やす	商業・レクリエーション施設を充実させる	子育て支援や学校教育が充実した環境を整える	富里市の歴史や文化など、地元の特徴、良さを伝える教育を進める
全体	1,076	20.4	44.7	5.4	26.6	3.9	16.0	52.3	2.8
18～29 歳	81	12.3	34.6	3.7	32.1	6.2	21.0	65.4	1.2
30～39 歳	102	16.7	43.1	3.9	37.3	4.9	16.7	68.6	1.0
40～49 歳	169	17.2	35.5	7.1	27.2	4.1	23.1	56.2	4.1
50～59 歳	155	17.4	44.5	5.2	29.7	3.2	20.6	49.0	0.6
60～64 歳	97	19.6	56.7	7.2	28.9	1.0	13.4	62.9	1.0
65～74 歳	282	24.5	50.0	4.6	24.5	2.8	11.7	47.9	3.5
75 歳以上	158	27.2	44.9	6.3	17.7	5.7	9.5	36.7	5.7

	人数(人)	割合(%)				
		道路や公共交通機関の利便性を高める	自然環境と都市が融合した景観のまちづくりを進める	その他	わからない	無回答
全体	1,076	54.2	11.9	2.3	4.4	3.0
18～29 歳	81	67.9	7.4	4.9	0.0	0.0
30～39 歳	102	54.9	12.7	6.9	2.0	1.0
40～49 歳	169	56.2	10.7	3.0	6.5	0.6
50～59 歳	155	65.8	14.2	0.0	2.6	0.6
60～64 歳	97	44.3	11.3	1.0	3.1	2.1
65～74 歳	282	52.8	12.4	1.1	6.0	2.8
75 歳以上	158	43.7	13.3	1.9	6.3	8.9

年齢層別にみると、どの年齢層もおおむね同様の傾向がみられますが、40 歳未満の若い世代において他の世代より、購入・賃貸しやすい住宅・住宅地を求める割合が相対的に高くなっています。

問 24 富里市は子育てしやすいまちだと思いますか。次の中から 1 つだけ○で囲んでください。

	人数(人)	割合(%)					
		そう 思う	どちら かとい えば そう 思う	どちら かとい えば そう 思わ ない	そう 思わ ない	わ か ら な い	無 回 答
全体	1,076	4.7	33.5	15.0	15.8	26.7	4.4
18～29 歳	81	4.9	27.2	17.3	19.8	29.6	1.2
30～39 歳	102	4.9	34.3	15.7	28.4	16.7	0.0
40～49 歳	169	3.0	40.8	16.0	15.4	24.3	0.6
50～59 歳	155	1.9	29.7	25.2	14.2	27.7	1.3
60～64 歳	97	5.2	36.1	15.5	18.6	22.7	2.1
65～74 歳	282	6.0	36.2	9.9	15.2	28.0	4.6
75 歳以上	158	7.0	27.2	13.3	6.3	32.9	13.3

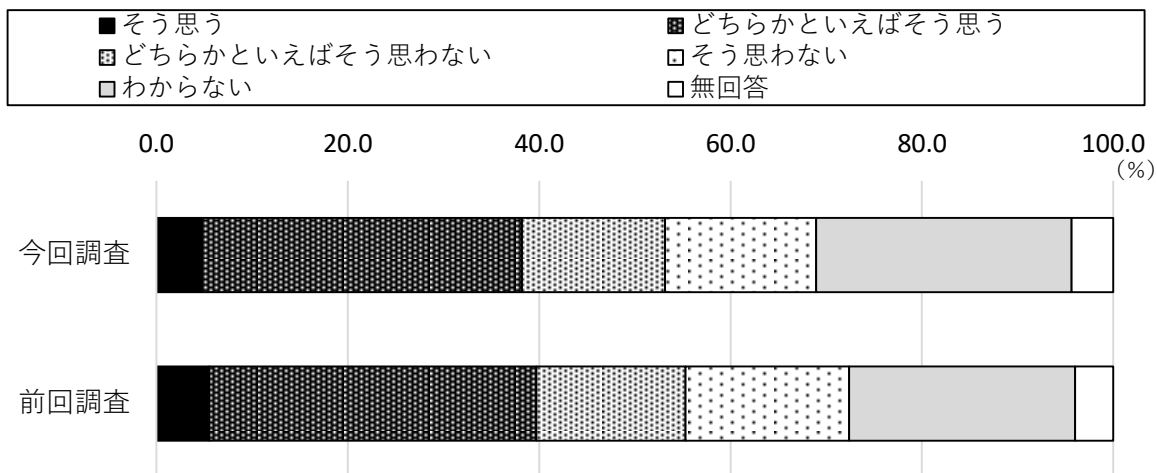


全体としては、子育てしやすいと回答した割合（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は 38.2%となっています。

年齢層別にみると、ある程度子どもが成長していると考えられる 40～49 歳の、子育てしやすいと回答した割合が最も高くなっています。

【経年比較】

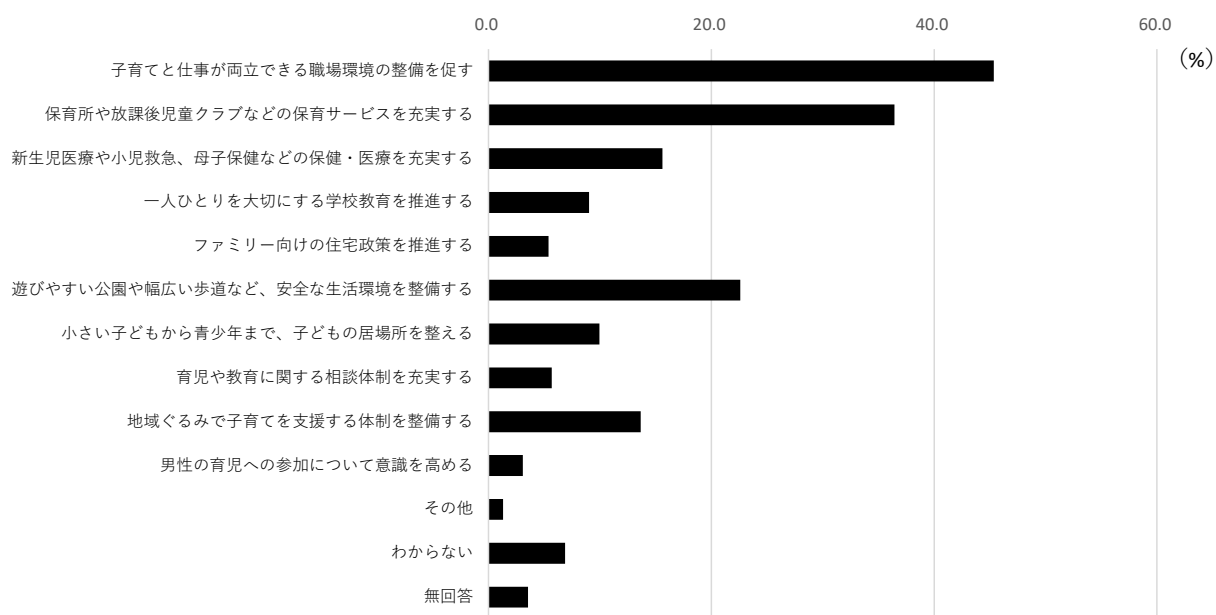
	人数(人)	割合(%)					
		そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	わからない	無回答
今回調査	1,076	4.7	33.5	15.0	15.8	26.7	4.4
前回調査	1,988	5.5	34.2	15.6	17.1	23.6	4.0



前回調査（H20 調査）と比較すると、子育てしやすいと回答した割合が 39.7%から 38.2%へと、わずかに低下しています。

問 25 安心して子育てができる環境づくりのために、どのようなことに優先的に取組むべきだと思いますか。次の中から2つ以内を○で囲んでください。

	人数	割合(%)
子育てと仕事が両立できる職場環境の整備を促す	488	45.4
保育所や放課後児童クラブなどの保育サービスを充実する	392	36.4
新生児医療や小児救急、母子保健などの保健・医療を充実する	168	15.6
一人ひとりを大切にする学校教育を推進する	97	9.0
ファミリー向けの住宅政策を推進する	58	5.4
遊びやすい公園や幅広い歩道など、安全な生活環境を整備する	243	22.6
小さい子どもから青少年まで、子どもの居場所を整える	107	9.9
育児や教育に関する相談体制を充実する	61	5.7
地域ぐるみで子育てを支援する体制を整備する	147	13.7
男性の育児への参加について意識を高める	33	3.1
その他	14	1.3
わからない	74	6.9
無回答	38	3.5
全体	1,076	

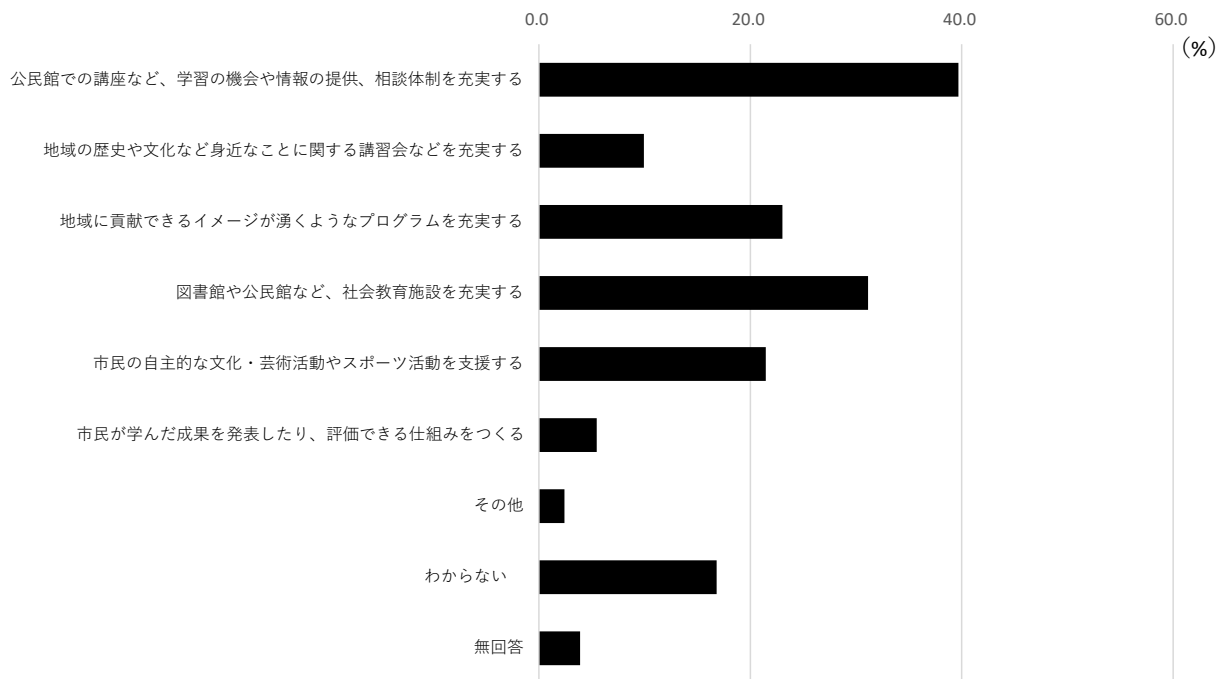


子育てと仕事が両立できる職場環境の整備と回答した割合が最も高く、次いで保育サービスの充実が高くなっています。子育て支援環境の充実よりも、職場の理解が重要という認識が強いことがわかります。

(10) 生涯学習・国際化・男女共同参画

問 26 子どもからお年寄りまで、市民一人ひとりの学習活動を支援するために、どのようなことが重要だと思いますか。次の中から2つ以内を○で囲んでください。

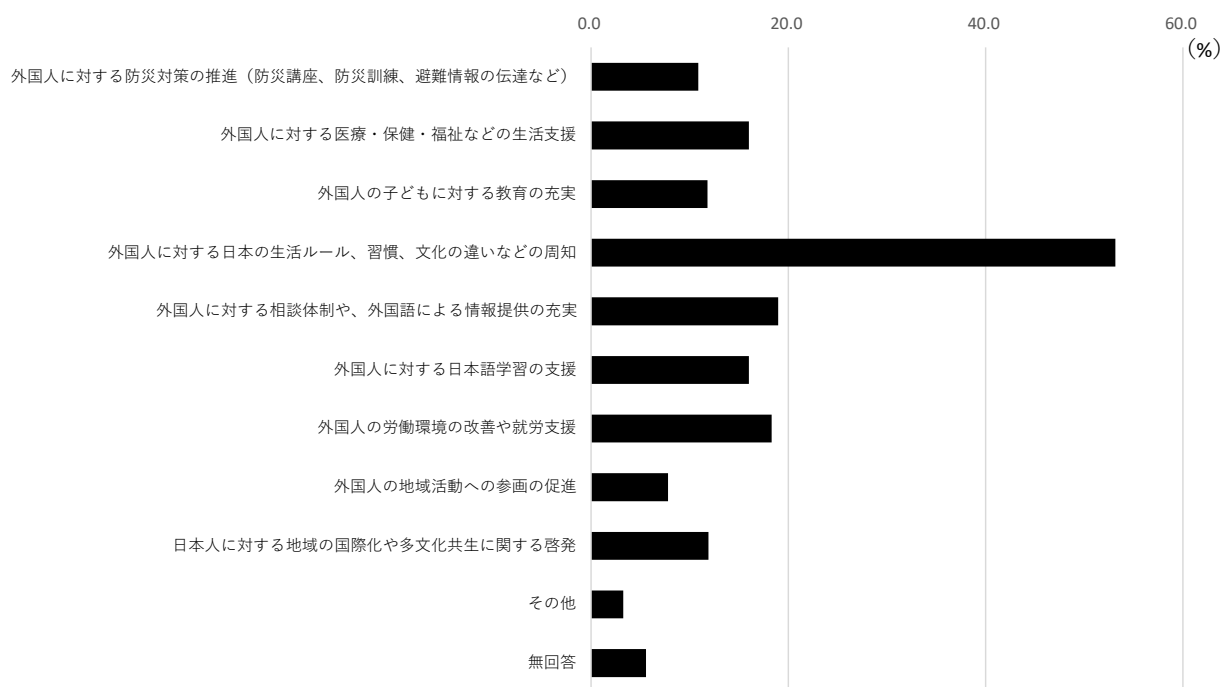
	人数	割合(%)
公民館での講座など、学習の機会や情報の提供、相談体制を充実する	427	39.7
地域の歴史や文化など身近なことに関する講習会などを充実する	107	9.9
地域に貢献できるイメージが湧くようなプログラムを充実する	248	23.0
図書館や公民館など、社会教育施設を充実する	335	31.1
市民の自主的な文化・芸術活動やスポーツ活動を支援する	231	21.5
市民が学んだ成果を発表したり、評価できる仕組みをつくる	59	5.5
その他	26	2.4
わからない	181	16.8
無回答	42	3.9
全体	1,076	



情報提供や相談体制の充実を回答した割合が最も高く、次いで社会教育施設の充実を回答した割合が高くなっています。

問 27 国際化していく社会に対応するためには、どのようなことが重要だと思いますか。次の中から2つ以内を○で囲んでください。

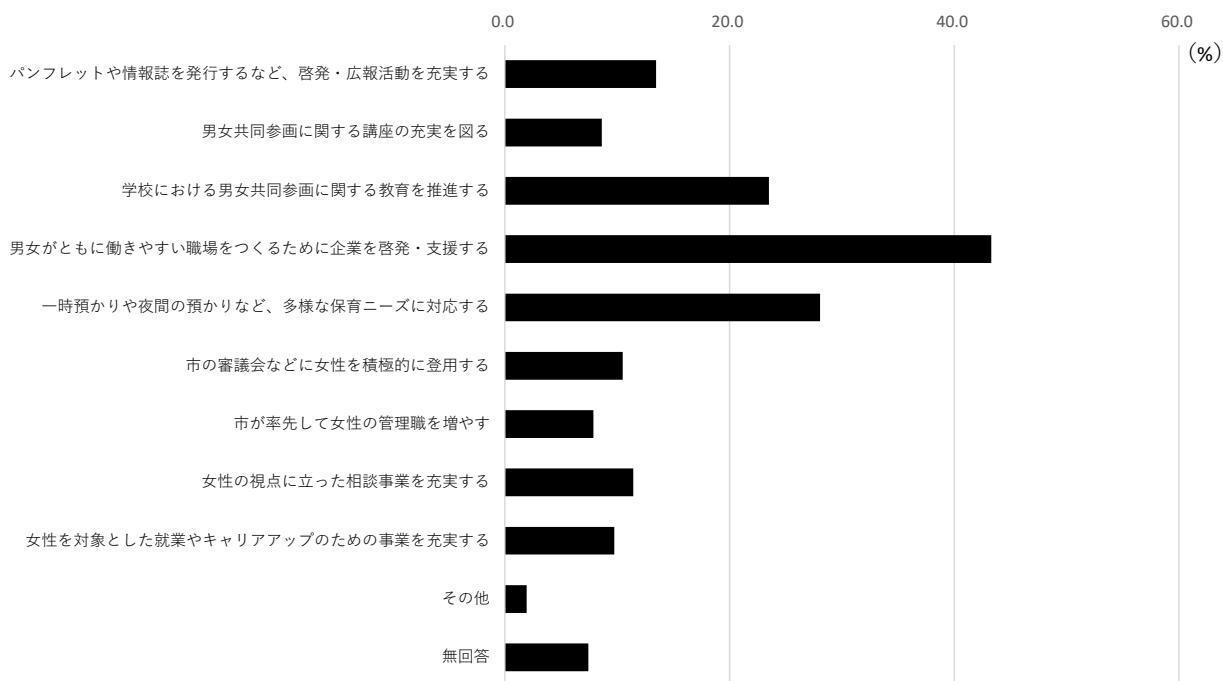
	人数	割合(%)
外国人に対する防災対策の推進(防災講座、防災訓練、避難情報の伝達など)	117	10.9
外国人に対する医療・保健・福祉などの生活支援	172	16.0
外国人の子どもに対する教育の充実	127	11.8
外国人に対する日本の生活ルール、習慣、文化の違いなどの周知	572	53.2
外国人に対する相談体制や、外国語による情報提供の充実	204	19.0
外国人に対する日本語学習の支援	172	16.0
外国人の労働環境の改善や就労支援	197	18.3
外国人の地域活動への参画の促進	84	7.8
日本人に対する地域の国際化や多文化共生に関する啓発	128	11.9
その他	35	3.3
無回答	60	5.6
全体	1,076	



生活ルール、習慣、文化の違いなどの周知を回答した割合が、突出して高くなっています。

問 28 「男女共同参画社会」を築いていくために、どのようなことが重要だと思いますか。次の中から2つ以内を○で囲んでください。

	人数	割合(%)
パンフレットや情報誌を発行するなど、啓発・広報活動を充実する	145	13.5
男女共同参画に関する講座の充実を図る	93	8.6
学校における男女共同参画に関する教育を推進する	253	23.5
男女がともに働きやすい職場をつくるために企業を啓発・支援する	466	43.3
一時預かりや夜間の預かりなど、多様な保育ニーズに対応する	302	28.1
市の審議会などに女性を積極的に登用する	113	10.5
市が率先して女性の管理職を増やす	85	7.9
女性の視点に立った相談事業を充実する	123	11.4
女性を対象とした就業やキャリアアップのための事業を充実する	105	9.8
その他	21	2.0
無回答	80	7.4
全体	1,076	

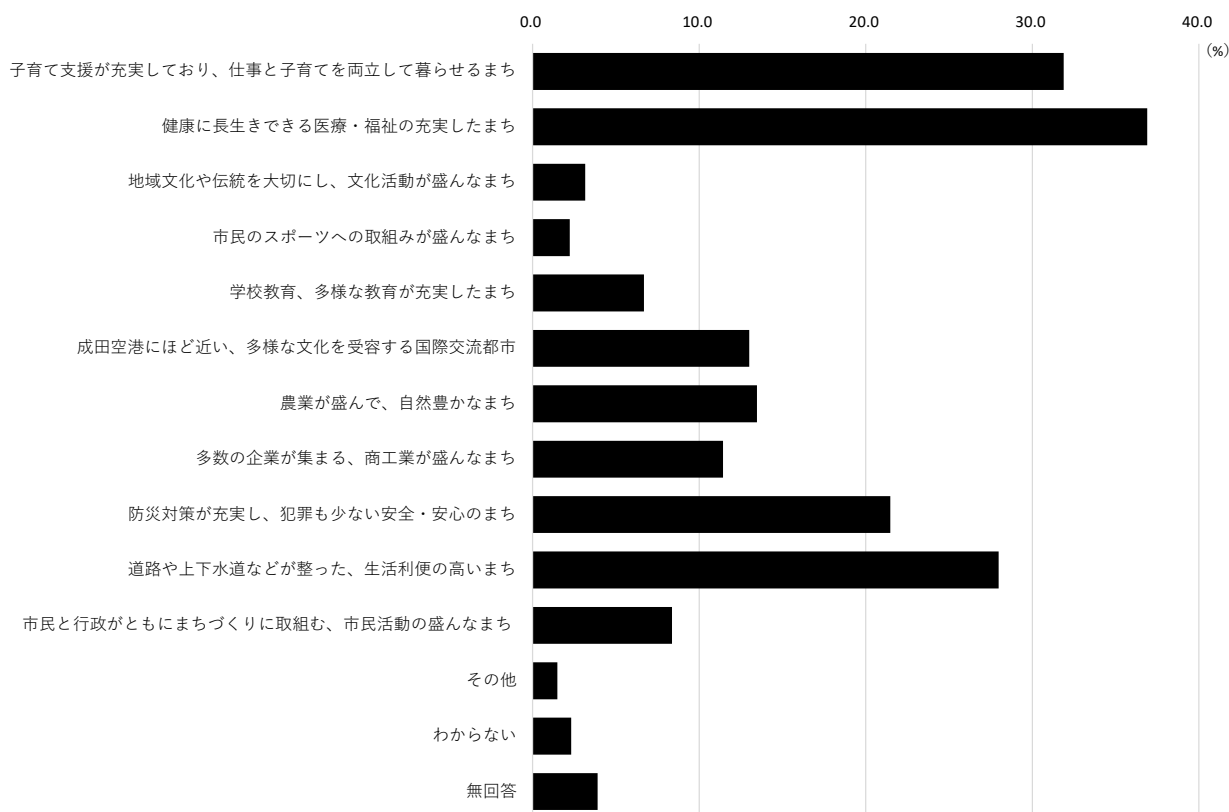


企業への啓発・支援を回答した割合が最も高く、次いで多様な保育ニーズへの対応を回答した割合が高くなっています。

(11) 富里市の発展の方向性

問 29 富里市全体の発展方向について、どのような方向が望ましいとお考えですか。特に望ましいと考えるものを次の中から2つ以内を○で囲んでください。

	人数	割合(%)
子育て支援が充実しており、仕事と子育てを両立して暮らせるまち	343	31.9
健康に長生きできる医療・福祉の充実したまち	397	36.9
地域文化や伝統を大切にし、文化活動が盛んなまち	34	3.2
市民のスポーツへの取組みが盛んなまち	24	2.2
学校教育、多様な教育が充実したまち	72	6.7
成田空港にほど近い、多様な文化を受容する国際交流都市	140	13.0
農業が盛んで、自然豊かなまち	145	13.5
多数の企業が集まる、商工業が盛んなまち	123	11.4
防災対策が充実し、犯罪も少ない安全・安心のまち	231	21.5
道路や上下水道などが整った、生活利便の高いまち	301	28.0
市民と行政がともにまちづくりに取組む、市民活動の盛んなまち	90	8.4
その他	16	1.5
わからない	25	2.3
無回答	42	3.9
全体	1,076	



医療・福祉の充実を回答した割合が最も高く、次いで子育て支援の充実の割合が高くなっています。

【年齢層別】

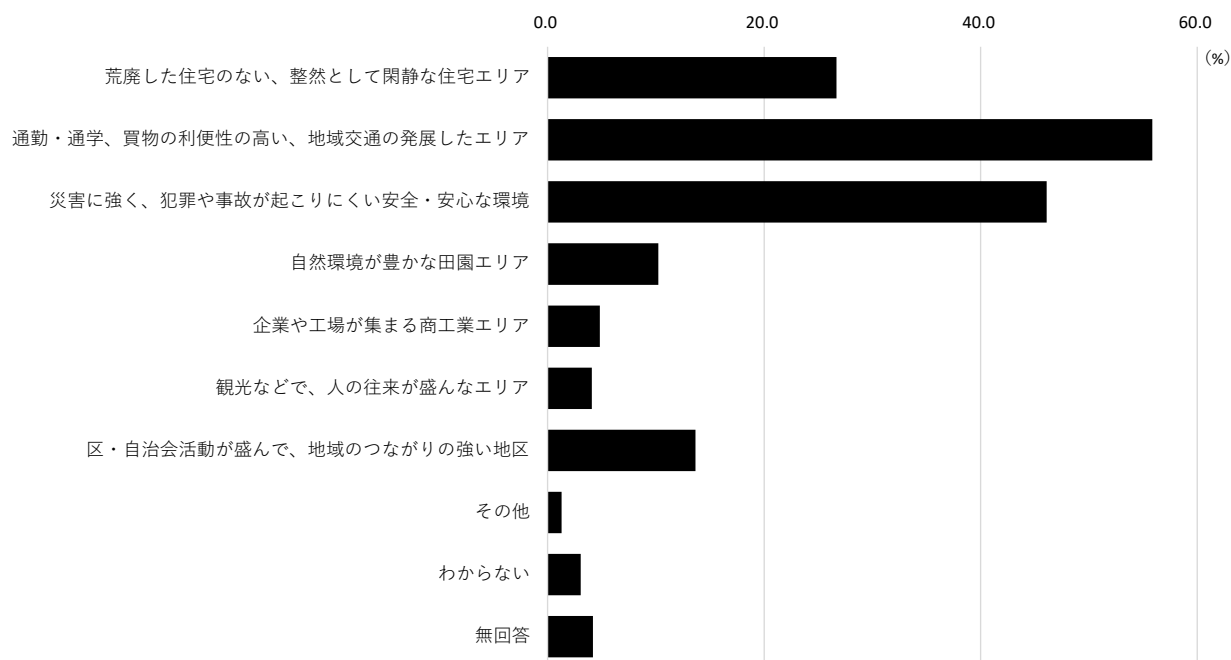
	人数(人)	割合(%)							
		両立して暮らせるまち	子育て支援が充実しており、仕事と子育てを	健康に長生きできる医療・福祉の充実したまち	地域文化や伝統を大切に、文化活動が盛んなまち	市民のスポーツへの取組みが盛んなまち	学校教育、多様な教育が充実したまち	成田空港にほど近い、多様な文化を受容する国際交流都市	農業が盛んで、自然豊かなまち
全体	1,076	31.9	36.9	3.2	2.2	6.7	13.0	13.5	11.4
18～29 歳	81	54.3	28.4	2.5	6.2	13.6	14.8	17.3	6.2
30～39 歳	102	56.9	34.3	2.0	2.0	11.8	13.7	17.6	4.9
40～49 歳	169	33.7	33.7	1.8	2.4	8.9	18.9	13.0	11.8
50～59 歳	155	25.2	38.7	3.2	1.3	3.9	14.8	14.2	12.3
60～64 歳	97	36.1	43.3	3.1	2.1	3.1	11.3	8.2	10.3
65～74 歳	282	26.6	35.8	2.8	1.8	6.4	12.4	13.8	15.2
75 歳以上	158	20.9	49.4	6.3	2.5	4.4	8.2	12.7	13.3

	人数(人)	割合(%)					
		安心のまち 犯罪も少ない安全・ 防災対策が充実し、	高いまち 整った、生活利便の 道路や上下水道などが	市民と行政がともに まちづくりに取組む、 市民活動の盛んなまち	その他	わからない	無回答
全体	1,076	21.5	28.0	8.4	1.5	2.3	3.9
18～29 歳	81	22.2	22.2	1.2	1.2	0.0	0.0
30～39 歳	102	14.7	23.5	6.9	2.0	0.0	0.0
40～49 歳	169	21.9	29.0	4.7	3.0	1.8	0.6
50～59 歳	155	25.2	32.9	9.7	1.3	3.9	0.6
60～64 歳	97	24.7	28.9	7.2	4.1	3.1	1.0
65～74 歳	282	21.6	30.1	12.4	0.4	2.8	2.8
75 歳以上	158	20.9	27.8	10.1	0.6	3.2	3.8

年齢層別にみると、40 歳未満の若い世代が、子育て支援の充実を他の年齢層よりも求めている傾向がみられます。

問 30 現在お住まいの地区の発展方向について、どのような方向が望ましいとお考えですか。特に望ましいと考えるものを次の中から2つ以内を○で囲んでください。

	人数	割合(%)
荒廃した住宅のない、整然として閑静な住宅エリア	287	26.7
通勤・通学、買物の利便性の高い、地域交通の発展したエリア	601	55.9
災害に強く、犯罪や事故が起こりにくい安全・安心な環境	496	46.1
自然環境が豊かな田園エリア	110	10.2
企業や工場が集まる商工業エリア	52	4.8
観光などで、人の往来が盛んなエリア	44	4.1
区・自治会活動が盛んで、地域のつながりの強い地区	147	13.7
その他	14	1.3
わからない	33	3.1
無回答	45	4.2
全体	1,076	



地域交通の発展を回答した割合が最も高く、次いで安全・安心な環境を回答した割合が高くなっています。

【小学校区別】

	人数(人)	割合(%)									
		荒廃した住宅のない、整然として閑静な住宅エリア	通勤・通学、買物の利便性の高い、地域交通の発展したエリア	災害に強く、犯罪や事故が起こりにくい安全・安心な環境	自然環境が豊かな田園エリア	企業や工場が集まる商工業エリア	観光などで、人の往来が盛んなエリア	区・自治会活動が盛んで、地域のつながりの強い地区	その他	わからない	無回答
全体	1,076	26.7	55.9	46.1	10.2	4.8	4.1	13.7	1.3	3.1	4.2
富里小学校区	216	24.5	58.8	50.0	8.3	4.6	5.1	9.7	0.5	4.6	3.2
富里第一小学校	116	31.0	50.9	36.2	11.2	8.6	2.6	17.2	0.9	3.4	6.9
富里南小学校区	196	15.8	62.8	43.4	14.3	7.1	3.1	16.8	1.5	2.0	4.6
浩養小学校区	32	25.0	25.0	37.5	37.5	0.0	6.3	9.4	0.0	6.3	6.3
日吉台小学校区	236	37.7	49.2	55.1	3.8	1.7	4.2	15.7	2.5	2.1	3.4
根木名小学校区	106	28.3	60.4	41.5	14.2	4.7	4.7	9.4	0.0	0.9	6.6
七栄小学校区	116	21.6	62.1	42.2	7.8	5.2	4.3	14.7	1.7	4.3	0.0

小学校区ごとに、以下の傾向がみられました。

富里小学校区 ⇒移動利便や安全・安心なまちづくりを望む

富里第一小学校区⇒特に移動利便の向上を望む

富里南小学校区 ⇒特に移動利便の向上を望む

浩養小学校区 ⇒安全・安心で田園エリアとしての発展を望む

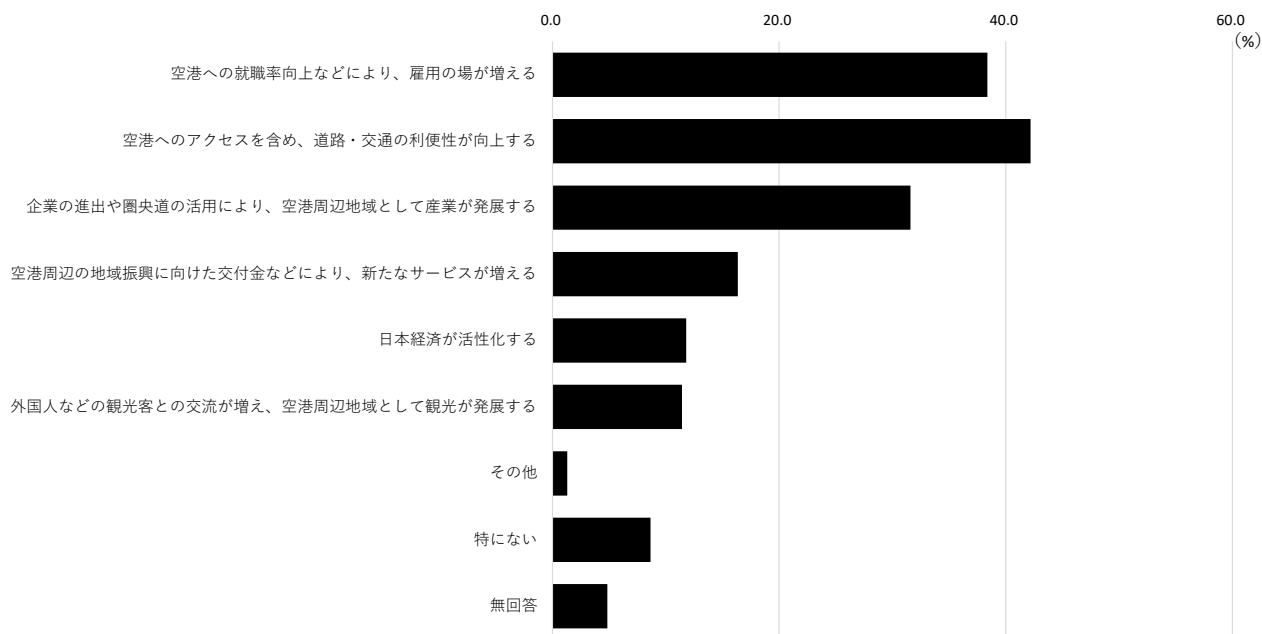
日吉台小学校区 ⇒安全・安心で移動利便の高いまちづくりを望む

根木名小学校区 ⇒特に移動利便の向上を望む

七栄小学校区 ⇒特に移動利便の向上を望む

問 31 現在、成田空港では機能強化を推進していますが、期待することは何ですか。次の中から2つ以内を○で囲んでください。

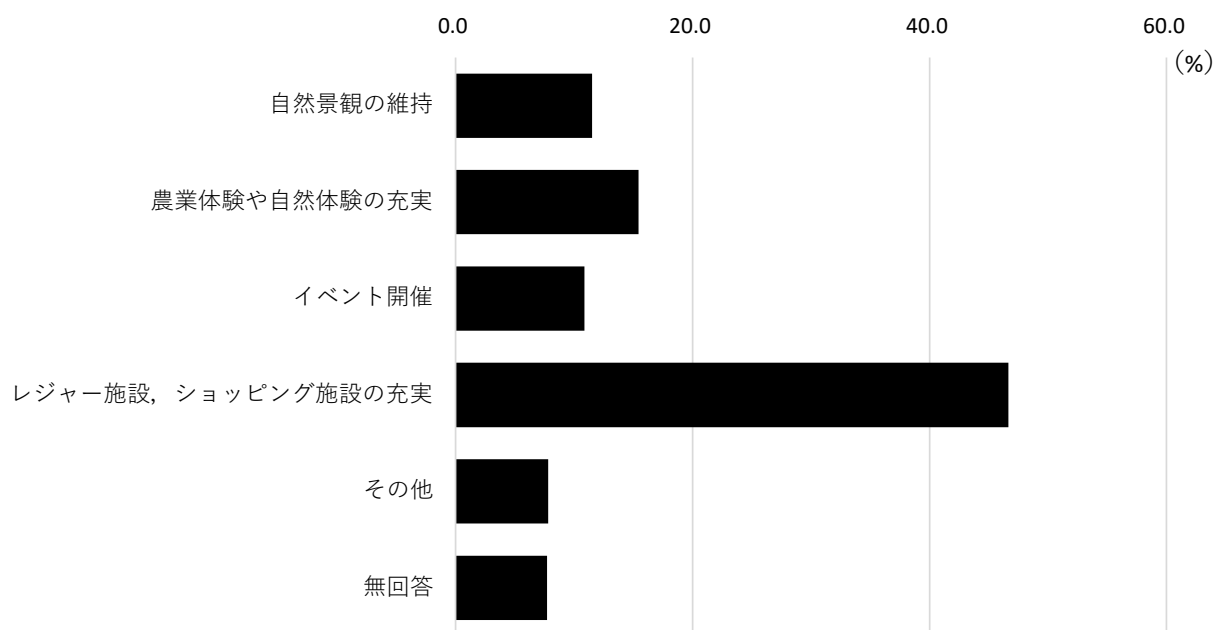
	人数	割合(%)
空港への就職率向上などにより、雇用の場が増える	413	38.4
空港へのアクセスを含め、道路・交通の利便性が向上する	454	42.2
企業の進出や圏央道の活用により、空港周辺地域として産業が発展する	340	31.6
空港周辺の地域振興に向けた交付金などにより、新たなサービスが増える	176	16.4
日本経済が活性化する	127	11.8
外国人などの観光客との交流が増え、空港周辺地域として観光が発展する	123	11.4
その他	14	1.3
特にない	93	8.6
無回答	52	4.8
全体	1,076	



成田空港の機能強化にともない、道路・交通の利便向上を期待すると回答した割合が最も高く、次いで雇用の場の増加を期待すると回答した割合が高くなっています。

問 32 市外からの人の流入・交流人口を増やすための方策として考えられるものは何ですか。次の中から 1 つだけ○で囲んでください。

	人数	割合(%)
自然景観の維持	124	11.5
農業体験や自然体験の充実	166	15.4
イベント開催	117	10.9
レジャー施設、ショッピング施設の充実	502	46.7
その他	84	7.8
無回答	83	7.7
全体	1,076	100.0



レジャー施設、ショッピング施設の充実と回答した割合が、突出して高くなっています。

3. 結果概要

(1) 富里市の住みやすさ

- ・市内の住みやすさの実感や定住意向は、前回調査（10 年前）と大きな変化はありませんでした。
- ・定住意向のない方は、市内の移動利便が低い（通勤・通学、買物が不便）ことを主な理由にあげる傾向があります。

(2) 富里市への思い

- ・地域への愛着は、わずかに減少しています。年齢層別でみると、特に 40～50 歳代の市民の愛着が低い傾向があります。
- ・地域で誇れるものとして、スイカや成田空港に近いことをあげる市民が多い傾向がありました。年齢層別でみると、スイカをあげた方は 40 歳未満の若年層に多い傾向がみられました。

(3) 10 年間の施策への実感

- ・子育て支援、雇用、防犯は重要改善項目（重要性が高く、満足度が低い施策）からはずれており、前回よりも市民が施策を評価していると考えられます。
- ・障害者福祉、企業誘致・支援、買物利便、市街地整備、幹線道路整備、排水対策、行財政運営が、新たに重要改善項目に該当しており、市民の課題感があがっていると考えられます。
- ・高齢者福祉、医療、社会保障（健康保険や年金）、生活道路整備、公共交通は、前回同様に重要改善項目に該当しており、市民の課題感の高さがあまり変わっていないと考えられます。

(4) 協働への意識

- ・まちづくりへ参加するとしたら、自分の意見が反映されることを期待する市民の割合が高く、市民の意見を吸い上げて施策に反映する仕組みを検討する必要があります。
- ・まちづくり活動への参加の状況としては、多くの活動で 60 歳以上の割合が高くなっており、高齢者が主体となっている傾向がみられます。

(5) 行政情報

- ・60 歳以上の市民への情報発信は、広報誌と回覧板で 90%以上に届きますが、30 歳未満の市民には半数にも届かないことがわかります。年齢層による情報源の違いを意識して、発信手法を検討する必要があります。

（６）生活圏と移動手段

- ・市民の生活の実態としては、日用品は市内で求め、衣料品や家電製品等は成田市で求める傾向がみられました。小学校区別でみると、浩養小学校区は、他地区よりも八街市を利用する傾向がみられます。
- ・日常的な移動手段としては、主に自動車を利用している傾向がありますが、小学校区別でみると、日吉台小学校区のみ、徒歩や路線バスの割合も高く、交通手段や生活利便が比較的高いことがうかがえます。

（７）高齢期の生活

- ・全体としては、働けるうちは働く意向や趣味や旅行を楽しみたい意向が高くなっています。しかし、年齢層別にみると、65 歳を超えると上記の意向は低下傾向にあり、定年前に思い浮かべていたほどにはアクティブに活動しない実態がうかがえます。
- ・全体として、高齢期への生活への不安は低下しています。年齢層別にみると、高齢者よりも30～60 歳未満が高齢期への不安が強いことがわかります。

（８）若い世代の定住と子育て

- ・若い世代の定住のためには、地域の移動利便や子育て支援が重要という回答が多くみられました。
- ・安心して子育てできる環境づくりのためには、保育サービス等の整備よりも、仕事と子育てしやすい職場環境づくりと回答する傾向がみられます。

（９）富里市の発展の方向性

- ・全体としては、医療・福祉の充実と子育て支援の割合が高くなっていますが、40 歳未満の若い世代においては特に子育て支援を求める割合が高くなっています。
- ・地区の発展の方向性として、移動利便の向上と安全・安心を求める割合が高くなっていますが、浩養小学校区においては田園エリアとしての発展を望む割合も高くなっています。

●全体として

- ・地域の住みよさや愛着は、わずかに減少傾向があるものの、大きな変化ではなく、10 年前と市民のまちの印象はそこまでは変化していないことがうかがえます。
- ・全体的な道路整備や公共交通など、移動の利便への不満が多くみられました。高齢化が進行する中、必要な施策を検討する必要があります。
- ・地区により望む発展の方向性に違いがあり、地域性を考慮した都市計画が求められています。（本アンケートは、2019 年の台風被害以前に調査を実施したものであり、安全・安心に対する課題感は大きく変化している可能性があります。）

4. 関連調査

(1) 調査の概要

今後のまちづくりに生かすご意見を広く求める観点から、市民意識調査では対象としなかった18歳未満の方の意識を調査するために、富里高校の生徒を対象に意識調査を実施しました。市内出身者の今後の富里市との関わり方や、市外出身者の富里市への印象などを把握することを主なねらいとしています。

(2) 調査の設計

調査対象	富里高校在校の2年生
調査方法	直接配布・回収
調査期間	令和2年1月
回答対象者数	242名(令和元年12月1日時点)
有効回収数	232票
有効回収率	95.9%

(3) 調査の結果

問1 あなたの性別を教えてください。【1つに〇】

	人数(人)	割合(%)
1. 男性	126	54.3
2. 女性	104	44.8
無回答	2	0.9
全体	232	100.0

回答いただいた高校生の皆様は、男性の割合が高くなっています。

問2 あなたの出身地を教えてください。(複数ある場合は、小学校にあがるまでに最も長い期間すごしたところをお答えください) 【1つに〇】

	人数(人)	割合(%)
1. 富里市	90	38.8
2. 千葉県内(富里市以外)	127	54.7
3. 千葉県外	14	6.0
無回答	1	0.4
全体	232	100.0

問3 あなたが現在住んでいるところを教えてください。【1つに〇】

	人数(人)	割合(%)
1. 富里市	104	44.8
2. 千葉県内(富里市以外)	124	53.4
3. 千葉県外	0	0.0
無回答	4	1.7
全体	232	100.0

回答いただいた高校生の皆様のうち、半数以上が市外出身者となっています。
また、現住所も市外の方が半数を超えています。



◆出身地と在住地の関連

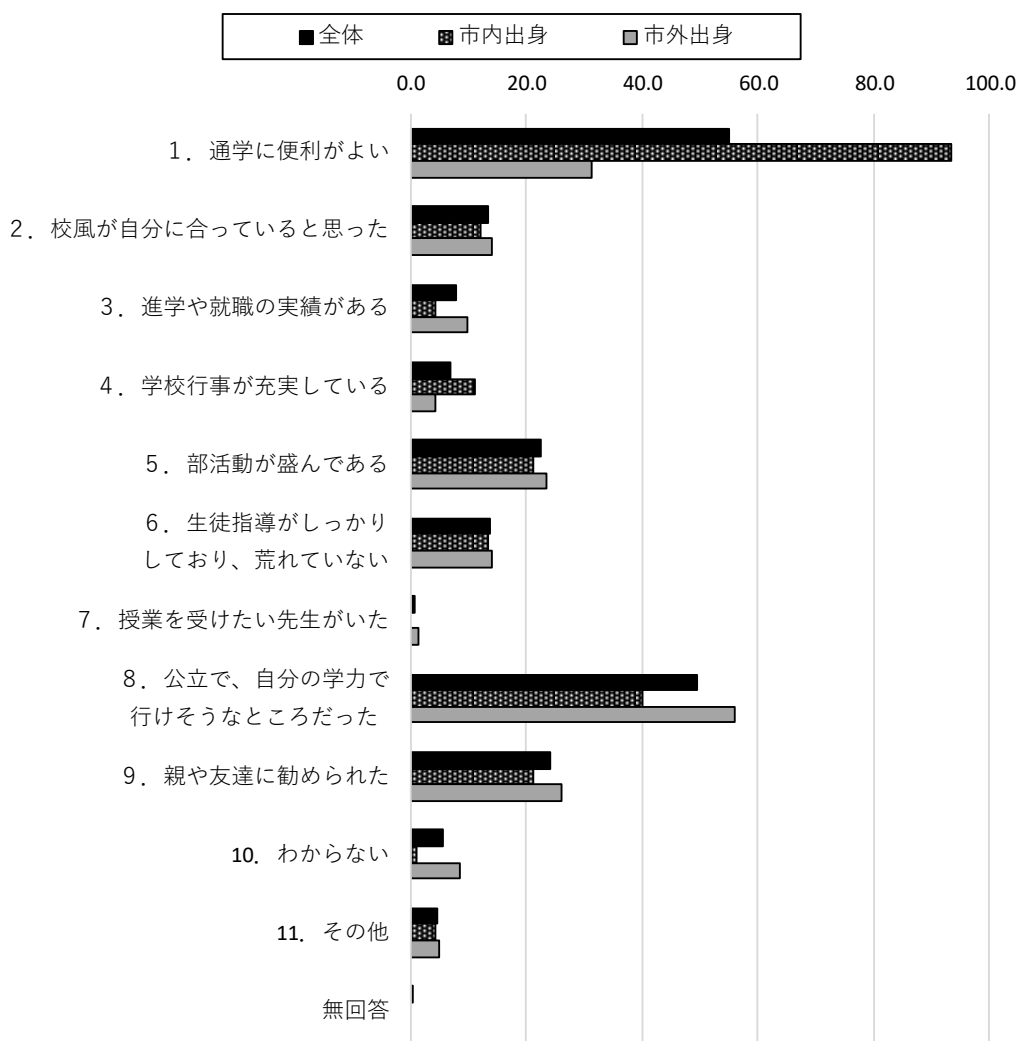
	人数(人)	割合(%)
市内出身市内在住	88	37.9
市内出身市外在住	2	0.9
市外出身市内在住	16	6.9
市外出身市外在住	122	52.6
無回答	4	1.7
全体	232	100.0

回答いただいた高校生の皆様のうち、出身地と在住地が異なる方は、全体の7.8%となっています。
出身地と在住地が同じ方が多いことから、以下では出身地(市内外)を基準として分析を行います。

問4 富里高校に進学した理由は何ですか。【あてはまるものすべてに○】

	割合(%)		
	全体	市内出身	市外出身
1. 通学に便利がよい	55.2	93.3	31.2
2. 校風が自分に合っていると思った	13.4	12.2	14.2
3. 進学や就職の実績がある	7.8	4.4	9.9
4. 学校行事が充実している	6.9	11.1	4.3
5. 部活動が盛んである	22.4	21.1	23.4
6. 生徒指導がしっかりしており、荒れていない	13.8	13.3	14.2
7. 授業を受けたい先生がいた	0.9	0.0	1.4
8. 公立で、自分の学力で行けそうなところだった	49.6	40.0	56.0
9. 親や友達に勧められた	24.1	21.1	26.2
10. わからない	5.6	1.1	8.5
11. その他	4.7	4.4	5.0
無回答	0.4	0.0	0.0

市内出身者のほぼすべてが、通学利便を理由として回答しています。市外出身者は、学力が見合ったことを理由として回答した割合が最も高くなっています。

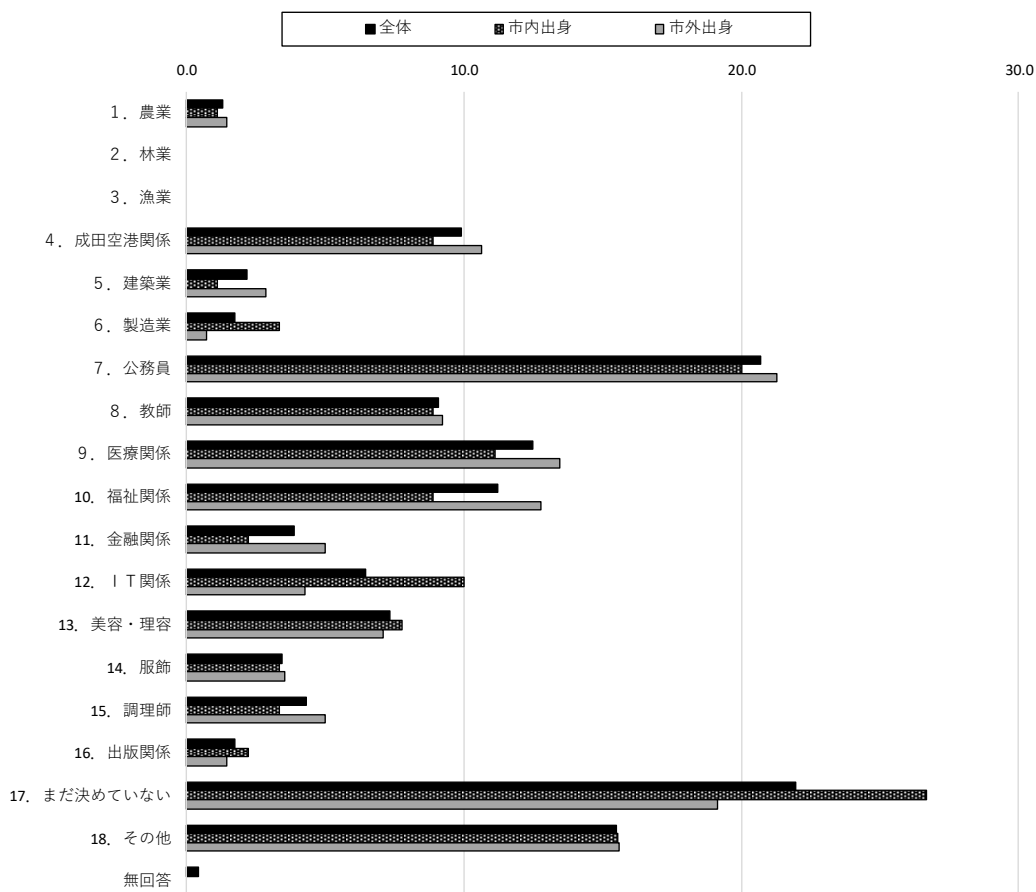


問5 あなたは将来どのような仕事につきたいと考えていますか。【あてはまるものすべてに○】

	割合(%)		
	全体	市内出身	市外出身
1. 農業	1.3	1.1	1.4
2. 林業	0.0	0.0	0.0
3. 漁業	0.0	0.0	0.0
4. 成田空港関係	9.9	8.9	10.6
5. 建築業	2.2	1.1	2.8
6. 製造業	1.7	3.3	0.7
7. 公務員	20.7	20.0	21.3
8. 教師	9.1	8.9	9.2
9. 医療関係	12.5	11.1	13.5
10. 福祉関係	11.2	8.9	12.8
11. 金融関係	3.9	2.2	5.0
12. IT関係	6.5	10.0	4.3
13. 美容・理容	7.3	7.8	7.1
14. 服飾	3.4	3.3	3.5
15. 調理師	4.3	3.3	5.0
16. 出版関係	1.7	2.2	1.4
17. まだ決めていない	22.0	26.7	19.1
18. その他	15.5	15.6	15.6
無回答	0.4	0.0	0.0

全体として、まだ決めていない方の割合が最も高くなっていますが、決めている方の中では、公務員と回答した方の割合が最も高くなっています。

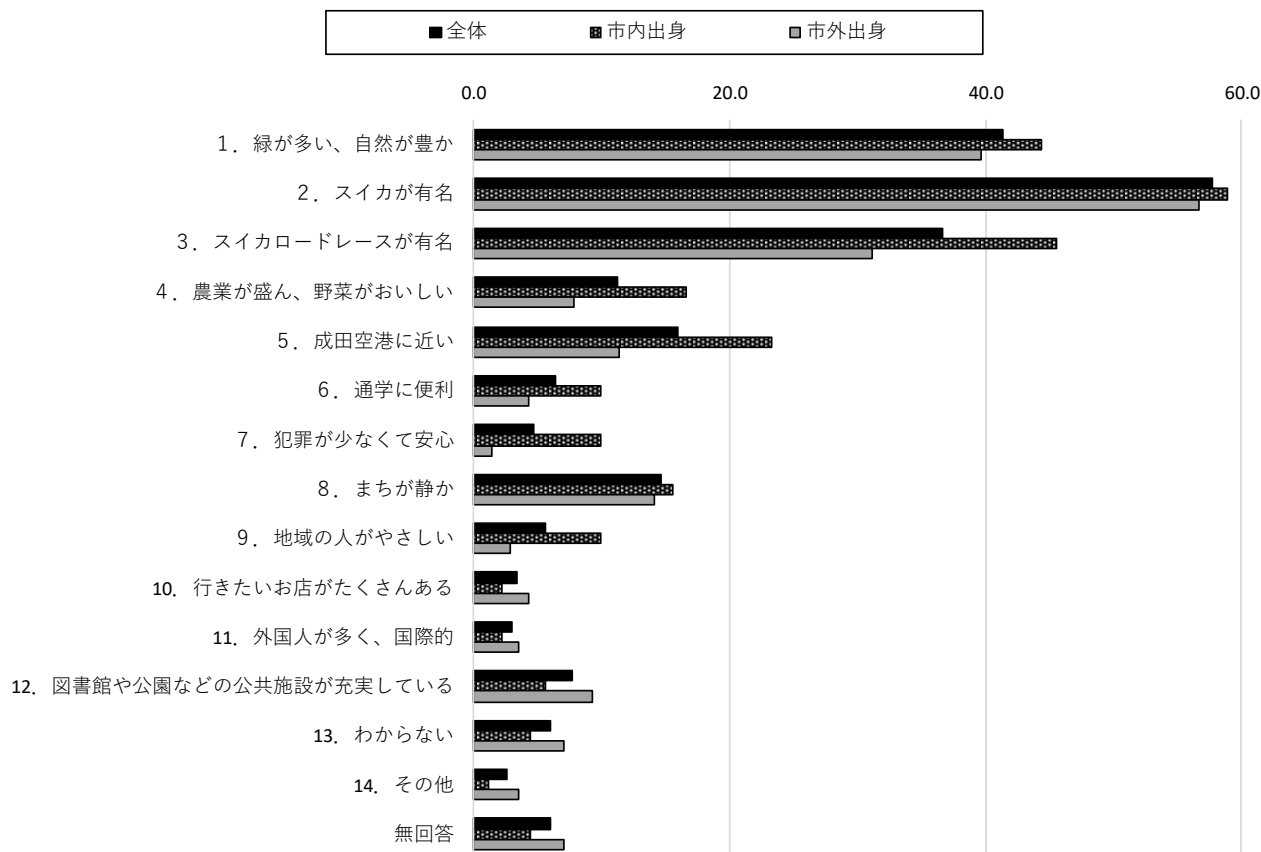
また、富里市の地域特性として、成田空港関係と回答した方が9.9%となっています。



問6 富里市をどのようなところだと思いますか。 【3つ以内を選んで○】

	割合(%)		
	全体	市内出身	市外出身
1. 緑が多い、自然が豊か	41.4	44.4	39.7
2. スイカが有名	57.8	58.9	56.7
3. スイカロードレースが有名	36.6	45.6	31.2
4. 農業が盛ん、野菜がおいしい	11.2	16.7	7.8
5. 成田空港に近い	15.9	23.3	11.3
6. 通学に便利	6.5	10.0	4.3
7. 犯罪が少なくて安心	4.7	10.0	1.4
8. まちが静か	14.7	15.6	14.2
9. 地域の人やさしい	5.6	10.0	2.8
10. 行きたいお店がたくさんある	3.4	2.2	4.3
11. 外国人が多く、国際的	3.0	2.2	3.5
12. 図書館や公園などの公共施設が充実している	7.8	5.6	9.2
13. わからない	6.0	4.4	7.1
14. その他	2.6	1.1	3.5
無回答	6.0	4.4	7.1

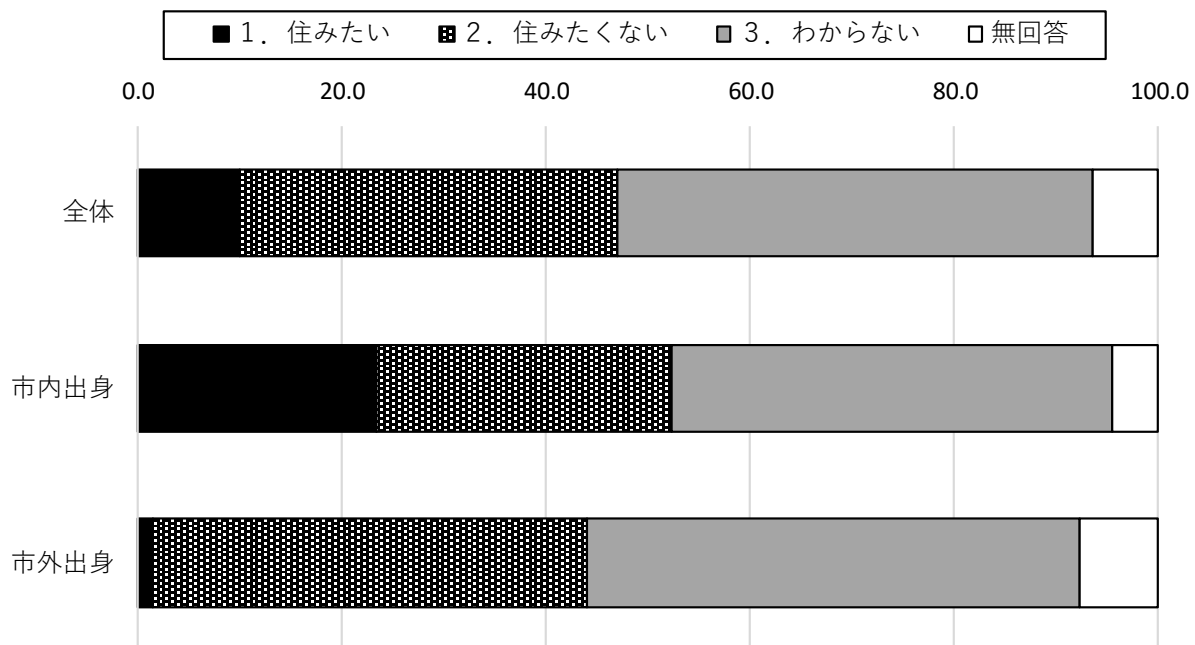
全体として、スイカが有名なことや自然豊かなことを回答する割合が高くなっています。
スイカロードレースが有名であることや成田空港に近いことについて、出身地により 10
ポイント以上の違いがみられました。



問7 将来、富里市に住みたいと思いますか。 【1つに○】

	割合(%)		
	全体	市内出身	市外出身
1. 住みたい	9.9	23.3	1.4
2. 住みたくない	37.1	28.9	42.6
3. わからない	46.6	43.3	48.2
無回答	6.5	4.4	7.8
全体	100.0	100.0	100.0

市内出身者の定住意向は 23.3% となっていますが、市外出身者においては 1.4% となっています。市外出身者については、住みたくないと回答した方が 42.6% となっています。

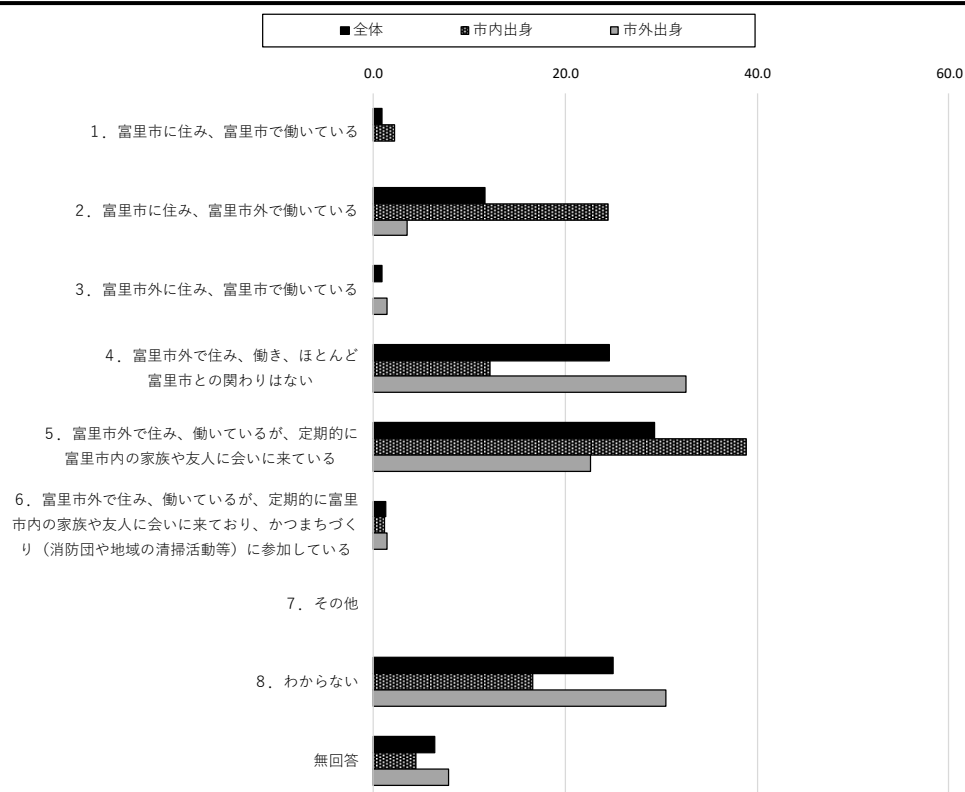


問8 将来の富里市との関わり方について、以下の中から、イメージに近いものをお答えください。

【1つに〇】

	割合(%)		
	全体	市内出身	市外出身
1. 富里市に住み、富里市で働いている	0.9	2.2	0.0
2. 富里市に住み、富里市外で働いている	11.6	24.4	3.5
3. 富里市外に住み、富里市で働いている	0.9	0.0	1.4
4. 富里市外で住み、働き、ほとんど富里市との関わりはない	24.6	12.2	32.6
5. 富里市外で住み、働いているが、定期的に富里市内の家族や友人に会いに来ている	29.3	38.9	22.7
6. 富里市外で住み、働いているが、定期的に富里市内の家族や友人に会いに来ており、かつまちづくり(消防団や地域の清掃活動等)に参加している	1.3	1.1	1.4
7. その他	0.0	0.0	0.0
8. わからない	25.0	16.7	30.5
無回答	6.5	4.4	7.8
全体	100.0	100.0	100.0

将来的に、富里市と関係する意向（居住、就労、市民とのつながり、のいずれかの希望）を持っている割合は、市内出身者は 66.6%、市外出身者は 29.0%となっています。



問9 富里市が魅力あるまちになるために、アイデアがあれば、以下の空欄に自由に記入してください。

56 の自由意見をいただきましたが、そのうち 40 が「鉄道の整備」を趣旨とするご意見でした。

富里市市民意識調査結果報告書

令和2年3月

発行：富里市企画課